

100

衆議

2603

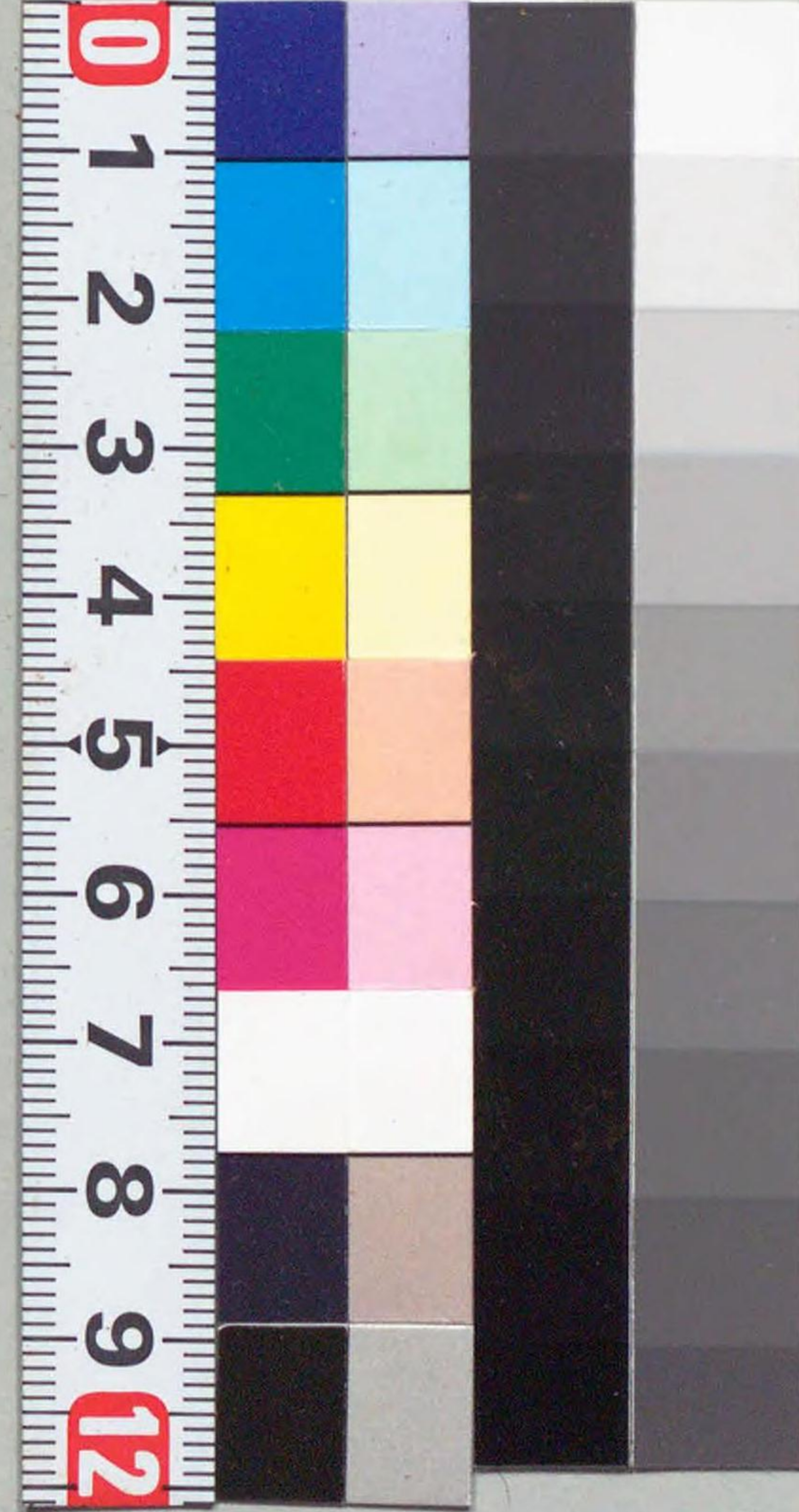
受入番號

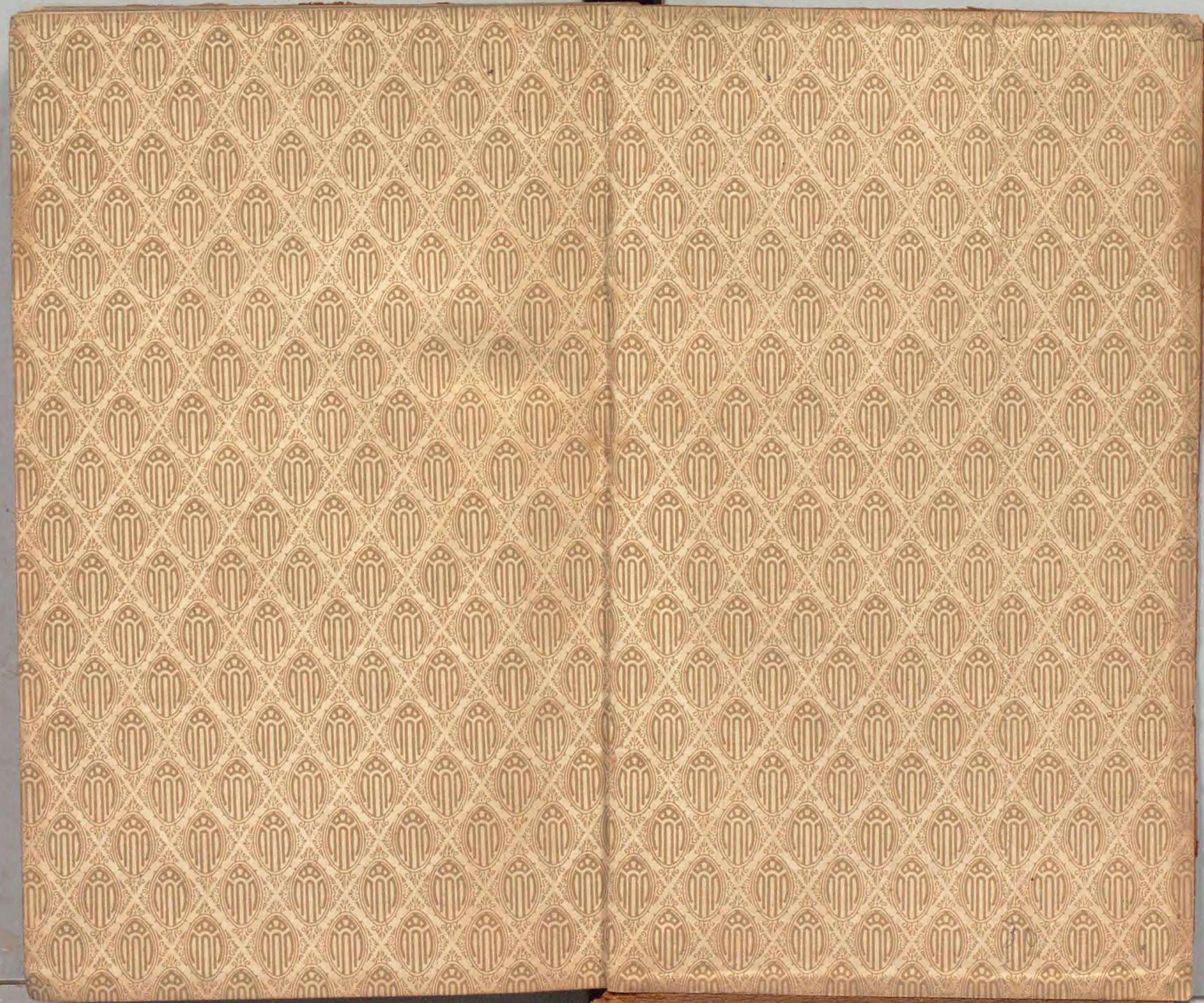
部 門

9

部 門
配置番號

衆議院要覽





大正七年十二月

衆議院要覽

下卷

衆議院事務局

3083

衆議院事務局

衆議院要覽

大正七年十二月

凡例

- 一 本書ハ議員氏名及異動、現在議員ノ履歴、其他事務局、議事堂ニ關スル事項ヲ輯録ス
- 一 履歴ハ大正七年十二月二十日現在ノ議員ニ限リ之ヲ掲ク、其事項ハ學事、職務ノ概要ニ止メタリ

大正七年十二月

衆議院事務局

大正十三年十二月
學務部 總務課 課長 田中 義典
一 關於大正十三年十二月二十日更迭之議員之調查及其事實之
之調査及び報告書
一 本書は、前記の調査結果を、更迭議員の調査、其の事實、調査の
凡 例

衆議院要覽 下卷

目次

第一編 議員

- 議員氏名及異動……………一 丁
- 附議會及內閣一覽表……………九十三丁
- 議會ノ召集及開閉一覽表……………九十五丁
- 現在議員ノ履歷 附書記官長、書記官履歷……………九十七丁
- 議員異動類別……………二百九十三丁
- 每會期議員在職回數人員別……………二百九十五丁
- 議員身分職業年齡別……………二百九十七丁

目次

第三編 事務局及經費

衆議院事務局職員……………二百九十九丁
 衆議院經費……………三百丁

第四編 議院

議事堂……………三百三丁
 廣島臨時議事堂……………三百五丁
 官舎……………三百六丁
 衆議院階上階下各室略圖
 議場略圖

第二編 議員

○議員氏名及異動

○議員氏名 (其一)

選 舉	府 縣	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
第一 (明治三十三年)	第一	楠本正隆	黒田綱彦	末吉忠晴	山田忠兵衛	竹内 綱	安川繁成
第二 (明治三十五年)	第二	渡邊洪基	中澤彦吉	榎山鐵三郎	山田忠兵衛	星 松三郎	〃
第三 (明治三十七年)	第三	中澤彦吉	稲田政吉	山田忠兵衛	山田忠兵衛	山田喜之助	〃
第四 (明治三十七年)	第四	〃	楠本正隆	〃	中島又五郎	山田喜之助	〃
第五 (明治三十一年)	第五	奥三郎兵衛	伴 直之助	須藤時一郎	利光鶴松	高梨哲四郎	〃
第六 (明治三十一年)	第六	〃	〃	〃	〃	〃	〃
第七	第七	大谷木備一郎	角田眞平	〃	〃	松田秀雄	〃
東	東	藤田茂吉	〃	〃	〃	〃	〃
京	京	太田 實	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	高梨哲四郎	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

第二編 議員氏名(第一乃至第六選舉)

選 舉	府 縣	東 京	京
第一 (明治三 十三年)	氏 名	八 津田眞道	一 濱岡光哲
第二 (明治二 十五年)	氏 名	九 芳野世經	二 中村榮助
第三 (明治二 十七年)	氏 名	十 森時之助	三 松野新九郎
第四 (明治二 十七年)	氏 名	十一 淺香克孝	四 伊藤熊夫
第五 (明治三 十一年)	氏 名	十二 高木正年	五 瀨戸岡爲一郎
第六 (明治三 十一年)	氏 名	十三 石坂昌孝	六 神鞭知常
	氏 名	八 津田眞道	五 田中源太郎
	氏 名	九 芳野世經	石原半右衛門
	氏 名	十 森時之助	浮田桂造
	氏 名	十一 淺香克孝	中江篤介
	氏 名	十二 高木正年	佐々木政行
	氏 名	十三 石坂昌孝	菊池侃二
	氏 名	濱岡光哲	侯野景孝
	氏 名	坂本則美	東尾平太郎
	氏 名	竹村藤兵衛	横山勝三郎
	氏 名	安田益太郎	佐々木政行
	氏 名	田宮 勇	菊池侃二
	氏 名	喜多川孝經	高井幸三
	氏 名	奥 繁三郎	植田重太郎
	氏 名	中村榮助	南野道親
	氏 名	小松喜平治	中野廣太郎
	氏 名	喜多川孝經	深尾龍三
	氏 名	中村榮助	出水彌太郎
	氏 名	中村榮助	北田豐三郎
	氏 名	中村榮助	中 辰之助

選 舉	府 縣	東 京	京
第一 (明治三 十三年)	氏 名	八 津田眞道	一 濱岡光哲
第二 (明治二 十五年)	氏 名	九 芳野世經	二 中村榮助
第三 (明治二 十七年)	氏 名	十 森時之助	三 松野新九郎
第四 (明治二 十七年)	氏 名	十一 淺香克孝	四 伊藤熊夫
第五 (明治三 十一年)	氏 名	十二 高木正年	五 瀨戸岡爲一郎
第六 (明治三 十一年)	氏 名	十三 石坂昌孝	六 神鞭知常
	氏 名	八 津田眞道	五 田中源太郎
	氏 名	九 芳野世經	石原半右衛門
	氏 名	十 森時之助	浮田桂造
	氏 名	十一 淺香克孝	中江篤介
	氏 名	十二 高木正年	佐々木政行
	氏 名	十三 石坂昌孝	菊池侃二
	氏 名	濱岡光哲	侯野景孝
	氏 名	坂本則美	東尾平太郎
	氏 名	竹村藤兵衛	横山勝三郎
	氏 名	安田益太郎	佐々木政行
	氏 名	田宮 勇	菊池侃二
	氏 名	喜多川孝經	高井幸三
	氏 名	奥 繁三郎	植田重太郎
	氏 名	中村榮助	南野道親
	氏 名	小松喜平治	中野廣太郎
	氏 名	喜多川孝經	深尾龍三
	氏 名	中村榮助	出水彌太郎
	氏 名	中村榮助	北田豐三郎
	氏 名	中村榮助	中 辰之助

神奈川						府縣	選舉
一	二	三	四	五	六	區	氏名
島田三郎	山田泰造	山田東次	中島信行	山口左七郎	高瀬藤次郎	第一	(明治三十三年)
"	"	"	山田嘉毅	福井直吉	"	第二	(明治三十五年)
"	"	"	"	"	西村眞太郎	第三	(明治三十七年)
"	"	"	德増源太郎	水島保太郎	"	第四	(明治三十七年)
"	"	"	"	梶野敬三	"	第五	(明治四十一年)
"	"	"	"	安藤龜太郎	"	第六	(明治四十一年)
大塚成吉	"	"	"	梶野敬三	"		
"	"	"	"	本城安次郎	"		
"	"	"	"	山本繁造	"		
"	"	"	"	團野記平治	"		
"	"	"	"	吉田吉十郎	"		
"	"	"	"	平岡萬次郎	"		
"	"	"	"	河野岩吉	"		
"	"	"	"	西村眞太郎	"		

長崎						庫					
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
富永隼太	家永芳彦	朝長慎三	牧朴眞	立石寛司	宮崎榮治	内藤利八	改野耕三	柴原政太郎	佐藤文兵衛	青木匡	佐野助作
松田源五郎	稻田又左衛門	"	"	"	大坪利晋	"	後藤敬	改野耕三	岡精逸	佐藤文兵衛	"
家永芳彦	富永隼太	山口新一	志波三九郎	草刈武八郎	宮崎榮治	名倉次	肥塚龍	"	佐藤文兵衛	岡精逸	"
"	"	芦塚省三	"	"	"	"	"	"	岡精逸	櫻井勉	濱田儀一郎
富永隼太	小川虎一	今村千代太	"	"	"	岡本松太郎	"	"	富田仙助	淺田貞次郎	高津雅雄
"	淺田次郎	"	"	"	"	"	"	"	西村淳藏	富田仙助	"
"	"	"	"	"	"	"	"	"	高川定次郎	堀豐彦	"
"	"	"	"	"	"	"	"	"	白井哲夫	"	"

第二編 議員氏名(第一乃至第六選舉)

選 舉	府 縣	新 潟										
		一	二	三	四	五	六	七	八			
第一 (明治三十三年)	氏 名	山際七司	丹後直平	加藤勝彌	高岡忠郷	西潟爲藏	小林雄七郎	長谷川 泰	松村文次郎	關谷孫左衛門	本山健治	室 孝次郎
第二 (明治三十五年)	氏 名	小柳卯三郎	〃	〃	佐々木松坪	〃	長谷川 泰	波多野傳三郎	〃	本山健治	目黒徳松	〃
第三 (明治三十七年)	氏 名	萩野左門	〃	佐藤力作	佐藤定七	大竹貫一	高橋九郎	長谷川 泰	内藤久寛	岡村 貢	久保田右作	〃
第四 (明治三十七年)	氏 名	小柳卯三郎	市島謙吉	田邊久藏	佐々木松坪	〃	小金井權三郎	波多野傳三郎	〃	久保田右作	岡村 貢	〃
第五 (明治四十一年)	氏 名	萩野左門	〃	佐藤伊助	高岡忠郷	〃	波多野傳三郎	三輪潤太郎	牧口義方	丸山嵯峨一郎	岡田龍松	大瀧傳十郎
第六 (明治四十一年)	氏 名	齋藤和平太	〃	〃	〃	佐藤宗彌	三輪潤太郎	高橋九郎	〃	〃	〃	〃

選 舉	府 縣	馬 群											
		一	二	三	四	五	一	二	三	四	五		
第一 (明治三十三年)	氏 名	鈴木昌司	天野三郎	高田早苗	清水宗徳	眞中忠直	間中進之	堀越寛介	湯本義憲	山中隣之助	新井 毫	竹井懿貞	高津仲次郎
第二 (明治三十五年)	氏 名	〃	加藤政之助	〃	福田久松	野口 斐	新井啓一郎	齋藤珪次	〃	原 善三郎	竹内鼎三	金井 貢	中島祐八
第三 (明治三十七年)	氏 名	太田孫次右衛門	〃	福田久松	高田早苗	新井啓一郎	野口 斐	湯本義憲	齋藤珪次	〃	新井 毫	〃	〃
第四 (明治三十七年)	氏 名	〃	高橋安爾	〃	〃	〃	〃	齋藤珪次	堀越寛介	〃	〃	荒井啓五郎	〃
第五 (明治四十一年)	氏 名	笠原克太郎	加藤政之助	粕谷義三	片岡勇三郎	長瀬清一郎	新井啓一郎	小澤愛次郎	齋藤安雄	持田 直	久米民之助	荒川高三郎	高津仲次郎
第六 (明治四十一年)	氏 名	室 孝次郎	〃	〃	福田久松	新井啓一郎	長瀬清一郎	齋藤安雄	堀越寛介	〃	〃	金井 貢	中島祐八

選舉		府縣	馬群	千								葉	
區	氏名	氏名	氏名	一	二	三	四	五	六	七	八	一	二
第一(明治三)	木暮武太夫	湯淺治郎	千華禎太郎	濱野昇	成島巍一郎	大須賀庸之助	西村甚右衛門	板倉中	松倉胤臣	重城保	安田勳	渡邊治	松延玳
第二(明治二)	矢島八郎	清水永三郎	真下珂十郎	小倉良則	狩野揆一郎	板倉中	板倉中	高梨正助	高橋喜惣治	鈴木清三	安田勳	關信之介	關戶覺藏
第三(明治二)	木暮武太夫	真下珂十郎	萩原鐮太郎	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	關信之介	關戶覺藏
第四(明治二)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
第五(明治三)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
第六(明治三)	鹽谷五十足	齋藤壽雄	佐久間元三郎	四宮有信	大塚常次郎	櫻井直藏	鈴木儀左衛門	布施甚七	東條彰	永井謙藏	秋山源兵衛	桑原政	關信之介

選舉		府縣	馬群	茨								木	
區	氏名	氏名	氏名	一	二	三	四	五	六	一	二	三	四
第一(明治三)	木暮武太夫	湯淺治郎	千華禎太郎	濱野昇	成島巍一郎	大須賀庸之助	西村甚右衛門	板倉中	松倉胤臣	重城保	安田勳	渡邊治	松延玳
第二(明治二)	矢島八郎	清水永三郎	真下珂十郎	小倉良則	狩野揆一郎	板倉中	板倉中	高梨正助	高橋喜惣治	鈴木清三	安田勳	關信之介	關戶覺藏
第三(明治二)	木暮武太夫	真下珂十郎	萩原鐮太郎	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
第四(明治二)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
第五(明治三)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
第六(明治三)	鹽谷五十足	齋藤壽雄	佐久間元三郎	四宮有信	大塚常次郎	櫻井直藏	鈴木儀左衛門	布施甚七	東條彰	永井謙藏	秋山源兵衛	桑原政	關信之介

第二編 議員氏名(第一乃至第六選舉)

選 舉	區	氏 名	府 縣																						
			滋	梨 山	岡	靜	岡	靜	滋																
第一 (明治三)		岡山兼吉	三	岡田良一郎	四	西尾傳藏	五	近藤準平	六	依田佐二平	七	江原素六	八	八卷九萬	一	田邊有榮	二	古屋專藏	三	杉浦重剛	一	山崎友親	二		
第二 (明治五)		廣住久道	丸尾文六	足立孫六	松島廉作	江原素六	田中鳥雄	淺尾長慶	藥袋義一	加賀美嘉兵衛	川島宇一郎	林田騰九郎	岡田逸治郎	中田長茂	谷澤龍藏	大原重右衛門	片岡久一郎	望月長夫	秋山元藏	藥袋義一	河口善之助	小林七朗	齋藤卯八	永井嘉六郎	大村和吉郎
第三 (明治七)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
第四 (明治七)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
第五 (明治三)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
第六 (明治三)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

選 舉	區	氏 名	府 縣																							
			野 長	阜			岐			賀			野 長	野 長	野 長											
第一 (明治三)		大東義徹	三	伊庭貞剛	四	相馬永胤	一	天野若圓	二	清水榮藏	三	吉田耕平	四	矢野才治郎	五	長尾四郎右衛門	六	林 小一郎	七	中村信夫	一	小坂善之助	二	島津忠貞	三	堀内賢郎
第二 (明治五)		中小路興平治	大東義徹	江龍清雄	大野龜三郎	小原 迪	原 亮三郎	高木郁助	高木貞正	岸 小三郎	細井金四郎	野口代治	井深 幹	井上源衛	武藤互三	前島丈之助	飯島正治	山田理兵衛	山田莊左衛門	龍野周一郎	堀内賢郎	小坂善之助	島津忠貞	丸山名政	佐藤八郎右衛門	堀内賢郎
第三 (明治七)		大東義徹	中小路興平治	脇坂行三	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
第四 (明治七)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
第五 (明治三)		西川重威	大東義徹	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
第六 (明治三)		藤野辰次郎	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

選 舉	府 縣	長 野 縣						
		區	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
第一 (明治二)	氏 名	小里頼永	江橋 厚	箕輪 鼎	中村彌六	伊藤大八	增田繁幸	武者傳二郎
第二 (明治三)	氏 名	窪田畔夫	金井清志	立川雲平	"	"	村松龜一郎	"
第三 (明治七)	氏 名	川上源一	森本省一郎	木内 信	"	"	草刈親明	"
第四 (明治二)	氏 名	森本省一郎	江橋 厚	石塚重平	"	北原信綱	"	"
第五 (明治三)	氏 名	降旗元太郎	上條謹一郎	早川權彌	"	皆川四郎	藤澤幾之輔	菅原 傳
第六 (明治三)	氏 名	"	"	小山久之助	"	渡邊猶人	"	"
							佐藤忠望	芳賀宇之吉
							遠藤 温	菅野善右衛門
							熱海孫十郎	菅野善右衛門
							十文字信介	菅野善右衛門
							遠藤 温	菅野善右衛門
							佐藤忠望	菅野善右衛門

選 舉	府 縣	福 島 縣												
		區	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名			
第一 (明治二)	氏 名	安部井磐根	河野廣中	鈴木萬次郎	山口千代作	三浦信六	白井遠平	谷河尙忠	伊東圭介	佐藤昌藏	下飯坂權三郎	大江 卓	奈須川光寶	工藤行幹
第二 (明治三)	氏 名	"	"	"	柴 四朗	山口千代作	愛澤寧堅	上田農夫	阿部 浩	"	大内貞太郎	達谷窟信敬	工藤卓爾	"
第三 (明治七)	氏 名	平島松尾	"	吉田正雄	山口千代作	柴 四朗	"	谷河尙忠	小笠原定一	"	下飯坂權三郎	平田 箴	源 晟	"
第四 (明治二)	氏 名	"	"	"	佐治幸平	"	"	"	阿部 浩	伊東圭介	"	"	"	白鳥慶一
第五 (明治三)	氏 名	安部井磐根	"	白石義郎	"	"	門馬尙經	大隈英麿	小田爲綱	名須川良平	猪狩八郎	鈴木文三郎	德差藤兵衛	奈須川光寶
第六 (明治三)	氏 名	"	"	鈴木萬次郎	柴 四朗	佐治幸平	"	"	"	"	下飯坂權三郎	"	奈須川光寶	德差藤兵衛

選舉		府縣		森青		山		形		秋	
第一	第二	第三	第四	第五	第六	一	二	三	四	一	二
(明治三十三年)	(明治三十五年)	(明治三十七年)	(明治三十七年)	(明治四十一年)	(明治四十一年)	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
神喜洋芽	菊池九郎	宮城浩藏	佐藤里治	佐藤里治	工藤行幹	白田省吾	佐藤里治	佐藤里治	白田省吾	佐藤里治	佐藤里治
二田是儀	丸山督	五十嵐力助	駒林廣運	駒林廣運	齋藤良輔	本間光義	齋藤良輔	齋藤良輔	本間光義	齋藤良輔	齋藤良輔
成田直衛	荒谷桂吉	目黒貞治	重野謙次郎	秋保親兼	小磯進	北島傳四郎	小磯進	北島傳四郎	重野謙次郎	秋保親兼	秋保親兼
佐藤敏郎	野出鈞三郎	橫山勇喜	成田直衛	須藤善一郎	須藤善一郎	須藤善一郎	須藤善一郎	須藤善一郎	須藤善一郎	須藤善一郎	須藤善一郎
齋藤勘七	坂本理一郎	沼田宇源太	武石敬治	武石敬治	伊藤直純	伊藤直純	伊藤直純	伊藤直純	伊藤直純	伊藤直純	伊藤直純

選舉		府縣		川		石		井		福		田	
第一	第二	第三	第四	一	二	三	四	一	二	三	四	一	二
(明治三十三年)	(明治三十五年)	(明治三十七年)	(明治三十七年)	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
關野善次郎	岩城隆常	關野善次郎	金岡又左衛門	內山松世	橋元 昂	淺野順平	淺野順平	淺野順平	淺野順平	淺野順平	淺野順平	淺野順平	淺野順平
小間 肅	百萬梅治	小間 肅	百萬梅治	漢寄鐵五郎	橋元 昂	橋本次六	淺野順平	淺野順平	淺野順平	淺野順平	淺野順平	淺野順平	淺野順平
神野 良	橋本次六	淺野順平	眞館貞造	久世嘉左衛門	余田平五郎	由雄與三平	眞館貞造	眞館貞造	眞館貞造	眞館貞造	眞館貞造	眞館貞造	眞館貞造
相川久太郎	新田甚左衛門	梅田五月	杉村寬正	中田彌平	赤土 亮	遠藤秀景	神保小太郎	吉本榮吉	吉本榮吉	吉本榮吉	吉本榮吉	吉本榮吉	吉本榮吉
松田吉三郎	大垣兵次	松田吉三郎	小畑岩次郎	西野久右衛門	山口定省	藤由孫平	岡 研磨	黒田道珍	久保九兵衛	久保九兵衛	久保九兵衛	久保九兵衛	久保九兵衛
永田定右衛門	岡 研磨	黒田道珍	小畑岩次郎	西野久右衛門	山口定省	三田村甚三郎	三田村甚三郎	三田村甚三郎	三田村甚三郎	三田村甚三郎	三田村甚三郎	三田村甚三郎	三田村甚三郎
青山庄兵衛	加藤與次兵衛	竹尾 茂	坪田仁兵衛	杉田定一	林 彦一	杉田定一	杉田定一	杉田定一	杉田定一	杉田定一	杉田定一	杉田定一	杉田定一
武石敬治	坂本理一郎	沼田宇源太	武石敬治	武石敬治	伊藤直純	武石敬治	武石敬治	武石敬治	武石敬治	武石敬治	武石敬治	武石敬治	武石敬治

選 舉	府 縣	富 山				鳥 取		島 田	
		區	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
第一 (明治三十三年)		磯部四郎	原弘三			岡崎運兵衛	松南宏雅	岡崎平内	鳥田孝之
第二 (明治三十五年)		谷順平	野村修造				渡邊芳造	若原觀瑞	武部其文
第三 (明治三十七年)						園山 勇		田江彌三郎	石谷董九郎
第四 (明治三十七年)		内山正治	漆間民夫					門脇重雄	
第五 (明治四十一年)		金山從革	西田收三					野坂茂三郎	西谷金藏
第六 (明治四十一年)		金岡又左衛門				星野甚右衛門		門脇重雄	石谷董九郎

選 舉	府 縣	岡 山						根 川	
		區	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
第一 (明治三十三年)		磯部四郎	原弘三					佐々田 懋	吉岡倭文磨
第二 (明治三十五年)		谷順平	野村修造						
第三 (明治三十七年)									
第四 (明治三十七年)		内山正治	漆間民夫						
第五 (明治四十一年)		金山從革	西田收三						
第六 (明治四十一年)		金岡又左衛門							

選舉	府縣	廣島																			
		區	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名											
第一 (明治三十二年)		三	大岡育造	二	井上正一	一	末松三郎	九	三浦義建	八	倉田準五郎	七	佐竹義和	六	田邊三五郎	五	脇榮太郎	四	赤川靈巖	三	金尾稜嚴
第二 (明治三十五年)			"		堅田少輔		木梨信一		井上角五郎		"		長井松太郎		松浦唯次郎		黒川修三		和田彦次郎		前田篤之助
第三 (明治三十七年)			"		西村禮作		吉富簡一		"		"		長壽彦		秋山忠夫		脇榮太郎		"		野平穰
第四 (明治三十七年)			"		"		河北勘七		吉富簡一		永井顯雄		和氣清太郎		"		頼俊直		"		金尾稜嚴
第五 (明治三十一年)			大久保弁太郎		"		"		川眞田市太郎		"		松井將壯		山蔭靜夫		脇榮太郎		"		"
第六 (明治三十一年)			阿部興人		"		武市彰一		國重政亮		山内吉郎兵衛		花井卓藏		望月圭介		内藤守三		"		"

選舉	府縣	和歌山																			
		區	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名										
第一 (明治三十二年)		五	吉川務	四	堀江芳介	一	陸奥宗光	二	兒玉仲兒	三	松本鼎	一	井上高格	二	守野爲五郎	三	川眞田德三郎	四	橋本久太郎	五	阿部興人
第二 (明治三十五年)			水落簡		曾禰荒助		岡崎邦輔		"		鹽路彦右衛門		椎野傳治郎		"		"		"		曾我部道夫
第三 (明治三十七年)			河上逸		磯部十藏		千田軍之助		望月右内		山本隆太郎		湯淺貞太郎		"		武市彰一		"		阿部興人
第四 (明治三十七年)			小田伴輔		阪田昌熾		大田信一		"		"		"		板東勘五郎		"		"		"
第五 (明治三十一年)			熊代謙三郎		三輪傳七		岡崎邦輔		上野勘助		山口熊野		石田眞二		"		川眞田市太郎		"		大久保弁太郎
第六 (明治三十一年)			"		武弘宜路		關直彦		千田軍之助		"		新開貢		"		武市彰一		"		阿部興人

選 舉		府 縣		香 川		愛 媛	
區	氏 名	區	氏 名	一	二	三	四
第一 (明治三十三年)	中野武營	第一 (明治三十五年)	中野武營	藤野政高	長屋忠明	石原信樹	有友正親
第二 (明治三十七年)	小西甚之助	第二 (明治三十七年)	小西甚之助	伊藤一郎	三崎龜之助	綾井武夫	三崎龜之助
第三 (明治三十七年)	林 喬	第三 (明治三十七年)	林 喬	石井定彦	森 輝見	綾井武夫	綾井武夫
第四 (明治三十七年)	小西甚之助	第四 (明治三十七年)	小西甚之助	森 輝見	森 輝見	鎌田勝太郎	鎌田勝太郎
第五 (明治三十一年)	林 喬	第五 (明治三十一年)	林 喬	宮内治三郎	宮内治三郎	宮井茂九郎	宮井茂九郎
第六 (明治三十一年)	中野武營	第六 (明治三十一年)	中野武營	高橋松齋	高橋松齋	堀家虎造	堀家虎造
				武市庫太	武市庫太	鹽田忠左衛門	鹽田忠左衛門
				高須賀 穰	高須賀 穰		
				野間豐五郎	野間豐五郎		
				合田福太郎	合田福太郎		
				清水靜十郎	清水靜十郎		
				鈴木重遠	鈴木重遠		

選 舉		府 縣		高 知		福 岡	
區	氏 名	區	氏 名	一	二	一	二
第一 (明治三十三年)	末廣重恭	第一 (明治三十三年)	末廣重恭	津田守彦	小野隆助	香月恕經	權藤貫一
第二 (明治三十五年)	堀部彦次郎	第二 (明治三十五年)	堀部彦次郎	武市安哉	片岡直溫	安岡雄吉	植木枝盛
第三 (明治三十七年)	玉井安藏	第三 (明治三十七年)	玉井安藏	小松三省	林 有造	片岡健吉	植木枝盛
第四 (明治三十七年)	末廣重恭	第四 (明治三十七年)	末廣重恭	權藤貫一	藤 金作	多田作兵衛	多田作兵衛
第五 (明治三十一年)	兒島惟謙	第五 (明治三十一年)	兒島惟謙	平岡浩太郎	小野隆助	多田作兵衛	多田作兵衛
第六 (明治三十一年)	山本幸彦	第六 (明治三十一年)	山本幸彦	片岡健吉	西原清東	土居平左衛門	片岡健吉
				片岡健吉	片岡健吉	土居平左衛門	片岡健吉
				山本幸彦	山本幸彦	山本幸彦	山本幸彦
				西原清東	西原清東	西原清東	西原清東
				土居平左衛門	土居平左衛門	土居平左衛門	土居平左衛門
				片岡健吉	片岡健吉	片岡健吉	片岡健吉
				山本幸彦	山本幸彦	山本幸彦	山本幸彦
				西原清東	西原清東	西原清東	西原清東
				土居平左衛門	土居平左衛門	土居平左衛門	土居平左衛門
				片岡健吉	片岡健吉	片岡健吉	片岡健吉

第二編 議員氏名(第一乃至第六選舉)

選 舉		鹿 兒 島						
區	氏 名	三	四	五	六	七	氏 名	
第一 (明治三十二年)	長谷場純孝	宇都宮平一	河島 醇	蒲生 仙	基 俊良			
第二 (明治三十五年)	柏田盛文	篠田政龍	大島 信					
第三 (明治三十七年)		蒲生 仙						
第四 (明治三十七年)								
第五 (明治四十一年)		有村 連	佐藤通代	麓 純義				
第六 (明治四十一年)		和泉邦彦		林 元俊				

○議員氏名 (其二)

選 舉	府 縣	區	氏 名
第七 (明治三十五年)			鳩山和夫
第八 (明治三十六年)			秋山定輔
第九 (明治三十七年)			鳩山和夫
第十 (明治四十一年)			藏原惟郭
第十一 (明治四十五年)			
第十二 (大正四年)			賴母木桂吉

東 京 府		東 京 市										
部	郡	市										
堀田連太郎	比留間邦之助	關根柳介	村野常右衛門	田口卯吉	朝倉外茂鐵	中鉢美明	栗塚省吾	磯部四郎	大石熊吉	秋山定輔	角田眞平	仁 杉 英
	關根柳介	漆 昌巖		高梨哲四郎	栗塚省吾	磯部四郎	角田眞平	丸山名政	鳩山和夫	三輪信次郎	江原素六	田口卯吉
關根柳介	漆 昌巖	村野常右衛門	森久保作藏	福地源一郎	高梨哲四郎	栗塚省吾	江原素六	角田眞平	田口卯吉	關 直 彦	秋山定輔	三輪信次郎
森久保作藏	岡崎邦輔	漆 昌巖	高木正年	渡邊勘十郎	關 直 彦	三輪信次郎	松下軍治	山根正次	稻茂登三郎	江間俊一	中野武營	鳩山和夫
漆 昌巖	望月右内	森久保作藏		松下軍治	稻茂登三郎	古島一雄	三輪信次郎	關 直 彦	黑須龍太郎	星野 錫	中島行孝	鈴木梅四郎
森久保作藏	秋本喜七	守屋此助		黑須龍太郎	鈴木萬次郎	鈴木梅四郎	秋山定輔	江間俊一	鳩山一郎	關 直 彦	高木益太郎	今井喜八

第二編 議員氏名(第七乃至第十二選舉)

選舉	府縣區	東京府										
		郡部	市	都	都	郡	部					
第七 (明治三十五年)	氏名	漆昌巖	片山正中	奥野市次郎	丹羽圭介	奥繁三郎	羽室嘉右衛門	田中祐四郎	上野彌一郎	山口俊一	澤田佐助	龜岡德太郎
第八 (明治三十六年)	氏名	淺香克孝	能川登	兩森菊太郎	奥野市次郎	神鞭知常	奥繁三郎	田中數之助	田中祐四郎	上野彌一郎	龜岡德太郎	澤田佐助
第九 (明治三十七年)	氏名	堀田連太郎	内貴甚三郎	奥野市次郎	片山正中	井上與一郎	神鞭知常	奥繁三郎	河原林義雄	蘆田鹿之助	奥村善右衛門	
第十 (明治四十一年)	氏名	村野常右衛門	西村治兵衛	木村省吾	中安信三郎	木村良	岡田泰藏		岩田信	川崎安之助	岩下清周	石橋爲之助
第十一 (明治四十五年)	氏名		中安信三郎	濱岡光哲	平井熊三郎	奥繁三郎	田中數之助	木村良	岡田泰藏	清水仁三郎		七里清介
第十二 (大正四年)	氏名		加藤小太郎	森田茂	渡邊昭	片岡直温	川崎安之助	山口俊一	津原武	野尻岩次郎	加藤彭廉	谷口武兵衛

選舉	府縣區	大阪府											
		市	市	郡	郡	部	堺市	市	市	市	市		
第七 (明治三十五年)	氏名	吉田顯三	横田虎彦	尾形兵太郎	北村左吉	植場平	秋岡義一	本出保太郎	佐々木政久	東尾平太郎	中林友信	島田三郎	平沼專藏
第八 (明治三十六年)	氏名	小泉清左衛門		尾形兵太郎	吉田顯三	森秀次	東尾平太郎	秋岡義一	川井爲巳	植場平			加藤高明
第九 (明治三十七年)	氏名	七里清介		山下重威		西村專太郎	植場平	中林友信	本出保太郎	東尾平太郎	森秀次		堀谷左治郎
第十 (明治四十一年)	氏名	天川三藏	澤田佐助	菊池侃二	有本國藏	植場平	本出保太郎	井坂光暉	秋岡義一	藤澤元造			
第十一 (明治四十五年)	氏名	紫安新九郎	三谷軌秀	中橋德五郎		岩崎安次郎	中辰之助	井坂光暉	本出保太郎	植場平	秋岡義一		若尾幾造
第十二 (大正四年)	氏名		金澤仁作	金澤種次郎	石橋爲之助	井原百介	中谷德恭	川井爲巳	植場平	岩崎幸治郎	西田爲之	平沼亮三	島田三郎

第二編 議員氏名(第七乃至第十二選舉)

選		府縣		神奈川縣		兵	
舉	區	氏名	氏名	郡	部	神戶市	市郷路
第七 (明治十五年)	永島龜代司	永島龜代司	永島龜代司	長谷川豐吉	安藤龜太郎	內山敬三郎	添田知義
第八 (明治十六年)	栗原宣太郎	伊達時	永島龜代司	添田知義	井上八重吉	內山敬三郎	井上八重吉
第九 (明治十七年)	神藤才一	高橋勝七	長谷川豐吉	永島龜代司	天野藤三	栗原宣太郎	天野藤三
第十 (明治十四年)	梅原良	小泉又次郎	福井準造	田中龜之助	長谷川豐吉	中村舜次郎	長谷川豐吉
第十一 (明治十五年)	石渡秀吉	山宮藤吉	安村竹松	井上篤太郎	小泉又次郎	長谷川豐吉	小泉又次郎
第十二 (大正四年)	戶井嘉作	小泉又次郎	山宮藤吉	川井考策	佐藤政五郎	杉山四五郎	佐藤政五郎
						藤田松太郎	藤田松太郎
						鹿島秀磨	鹿島秀磨
						砂川雄峻	砂川雄峻
						西村眞太郎	西村眞太郎
						田健治郎	田健治郎

選		府縣		長崎縣		庫	
舉	區	氏名	氏名	郡	部	市	部
第七 (明治十五年)	川口木七郎	大西善太郎	內藤利八	水野正巳	丸尾光春	小寺謙吉	川口木七郎
第八 (明治十六年)	西村眞太郎	改野耕三	肥塚龍	伊藤英一	川口木七郎	小寺謙吉	西村眞太郎
第九 (明治十七年)	森本莊三郎	松本剛吉	內藤利八	改野耕三	中川幸太郎	肥塚龍	森本莊三郎
第十 (明治十四年)	川口木七郎	安藤新太郎	竹田文吉	高鍋篤郎	肥塚龍	堀豐彦	川口木七郎
第十一 (明治十五年)	野上嘉平	櫻井駿	改野耕三	橫田孝史	堀豐彦	齋藤隆夫	野上嘉平
第十二 (大正四年)	櫻井駿	內藤利八	田寺敬信	小寺謙吉	齋藤隆夫	橫田孝史	櫻井駿
	改野耕三	奧野小四郎	野上嘉平	安藤新太郎	橫田孝史	鹿島秀磨	改野耕三
	團野記平治	野上嘉平	石田貫之助	平野龜之助	鹿島秀磨	廣岡宇一郎	團野記平治
	伊賀保太郎	改野耕三	鞍谷清慎	齋藤隆夫	廣岡宇一郎	岡部政太郎	伊賀保太郎
	高見松太郎	橋本雄造	永見寬二	永見寬二	岡部政太郎	岡部政太郎	高見松太郎
	中倉万次郎	白井哲夫	倉光藤太	中倉万次郎	岡部政太郎	岡部政太郎	中倉万次郎
	植木元太郎	宮崎榮治	橫山寅一郎	中倉万次郎	岡部政太郎	岡部政太郎	植木元太郎
	鳥津良知	中倉万次郎	橫山寅一郎	帆足隼太郎	岡部政太郎	岡部政太郎	鳥津良知

選 舉		府 縣		長 崎 縣		新 潟 縣		瀧 縣	
區	氏 名	區	氏 名	對馬	郡	新 潟	郡	郡	
第七 (明治三十五年)	西村規矩	西村規矩	古川黃一	梅野初實	久須美秀三郎	鈴木長藏	坂口仁一郎	桑原重正	
第八 (明治三十六年)	古川黃一	古川黃一	帆足隼太郎	"	"	"	"	丹後直平	
第九 (明治三十七年)	中倉万次郎	中倉万次郎	白井哲夫	"	山口達太郎	白勢春三	山口達太郎	"	
第十 (明治四十一年)	白井哲夫	白井哲夫	田川大吉郎	古森 泰	竹越與三郎	齋藤巳三郎	竹越與三郎	高橋光威	
第十一 (明治四十五年)	則元由庸	則元由庸	本田恆之	早川鐵治	川合直次	若杉喜三郎	川合直次	坂口仁一郎	
第十二 (大正四年)	橫山寅一郎	橫山寅一郎	白井哲夫	大池忠助	大竹貫一	齋藤喜十郎	大竹貫一	鳥居錦次郎	

選 舉		府 縣		長 崎 縣		新 潟 縣		瀧 縣	
區	氏 名	區	氏 名	對馬	郡	新 潟	郡	郡	
第七 (明治三十五年)	西村規矩	西村規矩	古川黃一	梅野初實	久須美秀三郎	鈴木長藏	坂口仁一郎	桑原重正	
第八 (明治三十六年)	古川黃一	古川黃一	帆足隼太郎	"	"	"	"	丹後直平	
第九 (明治三十七年)	中倉万次郎	中倉万次郎	白井哲夫	"	山口達太郎	白勢春三	山口達太郎	"	
第十 (明治四十一年)	白井哲夫	白井哲夫	田川大吉郎	古森 泰	竹越與三郎	齋藤巳三郎	竹越與三郎	高橋光威	
第十一 (明治四十五年)	則元由庸	則元由庸	本田恆之	早川鐵治	川合直次	若杉喜三郎	川合直次	坂口仁一郎	
第十二 (大正四年)	橫山寅一郎	橫山寅一郎	白井哲夫	大池忠助	大竹貫一	齋藤喜十郎	大竹貫一	鳥居錦次郎	

第二編 議員氏名(第七乃至第十二選舉)

選 舉	府 縣	三 重 縣			愛 知 縣						
		郡	部	市 屋 古 名	郡	部					
第七 (明治三十五年)	氏 名	平田力之助	尾崎行雄	海野謙次郎	服部小十郎	志水 直	橫井甚四郎	早川龍介	志賀重昂	加藤六藏	鈴木倉次郎
第八 (明治三十六年)	氏 名	速水熊太郎	海野次謙郎	森本確也	鈴木總兵衛	鈴木總兵衛	村松愛藏	太田善四郎	大池鎌次郎	橫井甚四郎	志賀重昂
第九 (明治三十七年)	氏 名	森 茂生	辻 寬	栗原亮一	濱田國松	鈴木總兵衛	竹田千代足	後藤文一郎	林 小參	鈴木友治郎	鈴木友治郎
第十 (明治四十一年)	氏 名	濱田國松	大井卜新	中村豐次郎	森 茂生	安東敏之	清水市太郎	橫井甚四郎	鈴木仙太郎	築山和一	村松愛藏
第十一 (明治四十五年)	氏 名	岡 八	辻 寬	森 茂生	川村 曄	石 黑 磐	三輪市太郎	大口喜六	森田小六郎	德倉六兵衛	鈴木倉次郎
第十二 (大正四年)	氏 名	濱田國松	川崎 克	加賀卯之吉	辻 寬	小山松壽	田中善立	大岩勇夫	小林仲次	織田 了	大島久滿次

靜 岡 縣			縣									
部	郡	市 靜 岡	部									
松 下 牧 男	河 井 重 藏	澤 田 寧	伊 藤 市 平	松 浦 五 兵 衛	福 島 勝 太 郎	星 野 鐵 太 郎	大 道 寺 忠 七	清 水 松 三 郎	福 岡 精 一	林 小 參	川 島 松 次 郎	太 田 善 四 郎
青 地 雄 太 郎	湯 山 壽 介	鈴 木 藤 三 郎	福 島 勝 太 郎	森 田 勇 次 郎	大 野 久 次	松 本 君 平	福 岡 精 一	大 道 寺 忠 七	鈴 置 倉 次 郎	青 樹 英 二	林 小 參	早 川 龍 介
福 島 勝 太 郎	鈴 木 藤 三 郎	湯 山 壽 介	青 地 雄 太 郎	澤 田 寧	松 浦 五 兵 衛	秋 山 一 裕	村 松 愛 藏	村 松 愛 藏	小 林 仲 次	福 岡 精 一	築 山 和 一	清 水 松 三 郎
鈴 木 辰 次 郎	森 田 勇 次 郎	大 橋 賴 摸	澤 田 寧	清 峯 太 郎	秋 山 一 裕	尾 崎 元 次 郎	後 藤 文 一 郎	後 藤 文 一 郎	內 藤 魯 一	鈴 木 友 治 郎	春 田 祐 清	早 川 龍 介
松 城 兵 作	岩 崎 勳	清 峯 太 郎	伊 東 要 藏	伊 東 要 藏	尾 崎 元 次 郎	早 川 龍 介	早 川 龍 介	早 川 龍 介	春 田 祐 清	吉 原 祐 太 郎	河 村 寬 裕	清 水 市 太 郎
大 村 和 吉 郎	增 田 次 郎	岩 崎 彦 雄	杉 山 東 太 郎	加 藤 定 吉	村 上 太 三 郎	清 水 市 太 郎	清 水 市 太 郎	清 水 市 太 郎	森 田 小 六 郎	三 輪 市 太 郎	鈴 置 倉 次 郎	早 川 龍 介

第二編 議員氏名(第七乃至第十二選舉)

選 舉		府 縣		縣 梨 山		縣 岡 靜		賀 滋	
區	氏 名	郡	部	市 府	郡	部	市 府	郡	市 府
第七 (明治三十五年)	江間俊一	廣瀨久政	藥袋義一	望月小太郎	望月長夫	谷澤龍藏	望月長夫	井上敬之助	望月長夫
第八 (明治三十六年)	松島廉作	青地雄太郎	富永發叔	佐竹作太郎	廣瀨久政	藥袋義一	望月小太郎	望月長夫	伊夫伎資彌
第九 (明治三十七年)	川島瀧藏	河井重藏	大野久次	大野久次	根津嘉一郎	森 國造	根津嘉一郎	望月長夫	望月長夫
第十 (明治四十一年)	高柳覺太郎	大野久次	八東可海	八東可海	森 國造	根津嘉一郎	根津嘉一郎	武田貞之助	高橋政右衛門
第十一 (明治四十五年)	松浦五兵衛	高柳覺太郎	鈴木辰次郎	鈴木辰次郎	根津嘉一郎	市川文藏	堀内啓治	人見米次郎	柴田源左衛門
第十二 (大正四年)	高柳覺太郎	松浦五兵衛	小泉策太郎	大木喬命	望月小太郎	望月小太郎	根津嘉一郎	藤井善助	西田庄助

選 舉		縣		縣 岐 阜		縣 長 野	
區	氏 名	郡	部	市 府	郡	部	市 府
第七 (明治三十五年)	澤田耕治郎	澤田耕治郎	望月長夫	望月長夫	谷澤龍藏	望月長夫	望月長夫
第八 (明治三十六年)	淺見竹太郎	井上敬之助	岡井藤之丞	大野龜三郎	古井由之	藤掛文平	大野龜三郎
第九 (明治三十七年)	澤田耕治郎	鶴飼退藏	林 小一郎	兼松 熙	古井由之	古井由之	大野龜三郎
第十 (明治四十一年)	吉田虎之助	島田保之助	千早正次郎	古井由之	花村覺三郎	大野龜三郎	佐々木文一
第十一 (明治四十五年)	中小路興平治	森川源吾	原 眞澄	岡崎久次郎	高橋義信	牧野彦太郎	佐々木文一
第十二 (大正四年)	望月長夫	井上敬之助	河崎助太郎	長尾元太郎	坂口拙三	岡崎久次郎	古屋慶隆

第二編 議員氏名(第七乃至第十二選舉)

選 舉	府 縣	長 野 縣										區
		郡					部					
第七 <small>(明治三十五年)</small>	氏名	宮下一清	降旗元太郎	久保田與四郎	中村彌六	牧野元	石塚重平	龍野周一郎	兩角彦六	藤澤幾之輔	菅原傳	澤來太郎
第八 <small>(明治三十六年)</small>	氏名	橫澤本衛	久保田與四郎	小出八郎右衛門	兩角彦六	木内信	降旗元太郎	菅原傳	遠藤庸治	鎌田三之助	澤來太郎	
第九 <small>(明治三十七年)</small>	氏名	降旗元太郎	工藤善助	小川平吉	牧野元	石塚重平	久保田與四郎	立川雲平	菅原傳	南條文五郎	澤來太郎	
第十 <small>(明治四十一年)</small>	氏名	安川保次郎	渡邊千冬	久保田與四郎	翠川鐵三	立川雲平	中村彌六	伊藤大八	菅原傳	村松龜一郎	菅原傳	
第十一 <small>(明治四十五年)</small>	氏名	矢島浦太郎	伊藤大八	小山完吾	岡部次郎	岩岡伊代治	翠川鐵三	小坂順造	岩崎總十郎	澤來太郎	遠藤良吉	
第十二 <small>(大正四年)</small>	氏名	小坂順造	樋口秀雄	矢島浦太郎	小川平吉	翠川鐵三	玉井權右衛門	岡部次郎	鹽川幸太	村松山壽	藤澤幾之輔	
										村松龜一郎	互理胤正	

福 島 縣										城 縣				
郡					部					部				
八島成正	室原重福	佐瀬熊鐵	平島松尾	柴四郎	白井貞藏	河野廣中	日下義雄	渡部鼎	村松龜一郎	鎌田三之助	首藤陸三	南條文五郎	澤來太郎	菅原傳
愛澤寧堅	赤坂龜次郎	室原重福	佐治幸平	河野廣中	堀江覺治	野木善三郎	平島松尾	柴四郎	菅原傳	村松龜一郎	高野孟矩	首藤陸三	澤來太郎	菅原傳
	安島重三郎	平島松尾	松本孫右衛門	唐橋左源次	朝倉鐵藏	佐治幸平	河野廣中	柴四郎	遠藤良吉	澤來太郎	首藤陸三	菅原傳	澤來太郎	菅原傳
堀江覺治	平島松尾	佐治幸平	柏原左源太	星一	佐々木鐵太郎	河野廣中	鈴木寅彦	日下義雄	澤來太郎	首藤陸三	齋藤二郎	菅原傳	遠藤良吉	菅原傳
河野廣中	松本孫右衛門	井深彦三郎	鈴木寅彦	半谷清壽	鈴木萬次郎	吉田定之助	堀切善兵衛	日下義雄	村松龜一郎	藤澤幾之輔	菅原傳	菅原傳	遠藤良吉	菅原傳
大芝惣吉	堀切善兵衛	白井遠平			市原又次郎	河野廣中	長澤倉吉	柴四郎	小山東助	首藤陸三			互理胤正	

第二編 議員氏名(第七乃至第十二選舉)

選 舉		府 縣		縣 手 巖		縣 森 青	
區	氏 名	區	氏 名	郡	部	郡	部
第七 (明治三十五年)	原 敬	第一 (明治三十四年)	田中藤次郎	郡	工藤行幹	郡	寺井純司
第八 (明治三十六年)	松本與右衛門	第二 (明治三十五年)	加藤宇兵衛	郡	田中藤次郎	郡	加藤宇兵衛
第九 (明治三十七年)	小田文行	第三 (明治三十四年)	田中藤次郎	郡	關 春茂	郡	關 春茂
第十 (明治四十一年)	柵瀬軍之佐	第四 (明治三十四年)	加藤宇兵衛	郡	市川兵七	郡	市川兵七
第十一 (明治四十五年)	福田善三郎	第五 (明治三十四年)	寺井純司	郡	津島源右衛門	郡	伊藤祐一
第十二 (大正四年)	平井六右衛門	第六 (明治三十四年)	竹內清明	郡	高杉金作	郡	野村治三郎

選 舉		府 縣		縣 山 形		縣 秋 田	
區	氏 名	區	氏 名	郡	部	郡	部
第七 (明治三十五年)	加藤宇兵衛	第一 (明治三十四年)	加藤宇兵衛	郡	重野謙次郎	郡	成田直衛
第八 (明治三十六年)	工藤行幹	第二 (明治三十五年)	加藤宇兵衛	郡	雄倉茂次郎	郡	三浦盛德
第九 (明治三十七年)	田中藤次郎	第三 (明治三十四年)	加藤宇兵衛	郡	鳥海哲四郎	郡	齋藤宇一郎
第十 (明治四十一年)	阿部政太郎	第四 (明治三十四年)	齋藤宇一郎	郡	戶狩權之助	郡	添田飛雄太郎
第十一 (明治四十五年)	廣澤辨二	第五 (明治三十四年)	齋藤宇一郎	郡	長 晴登	郡	齋藤宇一郎
第十二 (大正四年)	加藤宇兵衛	第六 (明治三十四年)	齋藤宇一郎	郡	伊東知也	郡	伊藤恭之助

第二編 議員氏名(第七乃至第十二選舉)

選 舉		府 縣		秋 田 縣		福 井 縣			石 川 縣			
區	氏 名	郡	部	郡	部	郡	部	郡	部	郡		
第七 (明治三十五年)	氏 名	山田猪太郎	沼田宇源太	目黒貞治	牧野逸馬	杉田定一	丹尾頼馬	伊藤 淳	福島宜三	山森 隆	松田吉三郎	田中喜太郎
第八 (明治三十六年)	氏 名	成田直衛	武石敬治	山田猪太郎	〃	〃	〃	伊藤 淳	水登勇太郎	藻寄鐵五郎	松田吉三郎	淺野順平
第九 (明治三十七年)	氏 名	石井 信	近江谷榮次	三浦盛德	〃	〃	〃	丹尾頼馬	福島宜三	山森 隆	淺野順平	橋本次六
第十 (明治四十一年)	氏 名	齋藤宇一郎	三浦盛德	近江谷榮次	鷺田土三郎	〃	〃	笠川繼孝	萩野芳藏	丹尾頼馬	戸水寛人	駒田小次郎
第十一 (明治四十五年)	氏 名	添田飛雄太郎	田中隆三	三浦盛德	八田裕二郎	大橋松二郎	吉田圓助	熊谷五右衛門	高島茂平	〃	山本七郎	米田 穰
第十二 (大正四年)	氏 名	〃	榑田清兵衛	中村千代松	〃	今村七平	山口嘉七	大橋松二郎	名村忠治	横山 章	室木彌次郎	關戸寅松

選 舉		富 山 縣		鳥 取 縣							
區	氏 名	郡	部	郡	部						
第七 (明治三十五年)	氏 名	關野善次郎	鳥山敬二郎	大橋十右衛門	上埜安太郎	田村惟昌	金岡又左衛門	大矢四郎兵衛	平井致道	西谷金藏	田江泰造
第八 (明治三十六年)	氏 名	牧野平五郎	安藤謙介	米澤紋三郎	大矢四郎兵衛	上埜安太郎	安念次左衛門	田村惟昌	奥田義人	石谷傳四郎	西谷金藏
第九 (明治三十七年)	氏 名	關野善次郎	鳥山敬二郎	〃	金岡又左衛門	〃	田村惟昌	安念次左衛門	〃	〃	國谷 亨
第十 (明治四十一年)	氏 名	牧野平五郎	筏井甚吉	岡崎佐次郎	西能源四郎	〃	神保東作	伊東祐賢	木下義之	西谷金藏	奥田柳藏
第十一 (明治四十五年)	氏 名	岩田大中	木津太郎平	森丘覺平	武部其文	〃	廣瀬鎮之	野村嘉六	濱本義顯	法橋善作	西谷金藏
第十二 (大正四年)	氏 名	關野善次郎	〃	山田正年	野村嘉六	森丘覺平	谷 欽太郎	上埜安太郎	白田久内	奥田柳藏	〃

選 舉		府 縣		廣 島 縣		山 口 縣	
區		區		郡		郡	
第七 (明治三十五年)	氏 名	田部香藏	森田卓爾	山科禮藏	富島暢夫	松井將壯	松尾寅三
第八 (明治三十六年)	氏 名	麥田宰三郎	小田貫一	小田貫一	望月圭介	小田 亮	三井忠藏
第九 (明治三十七年)	氏 名	松本大吉	小田貫一	麥田宰三郎	森田卓爾	脇 榮太郎	岡田治衛武
第十 (明治四十一年)	氏 名	世良靜一	金尾稜嚴	森田俊左久	富島暢夫	望月圭介	松尾寅三
第十一 (明治四十五年)	氏 名	桑原伊十郎	早速整爾	有田溫三	金尾稜嚴	森田俊左久	土井重吉
第十二 (大正四年)	氏 名	宮原幸三郎	龍口了信	望月圭介	湯淺凡平	林 平四郎	山根正次
							大岡育造
							西村禮作
							碓 俊聰
							小河源一
							上田 實

選 舉		和 歌 山 縣		德 島 縣	
部		郡		郡	
林 仙輔	豐永長吉	三輪傳七	大岡育造	金子圭介	三隅哲雄
山根正次	上田 實	小河源一	佐々木安五郎	久保通猷	雜賀信三郎
阪本彌一郎	森 懋	濱口 擔	阪本彌一郎	大堀 孝	
山本隆太郎	望月右内	山口熊野	山口熊野	小山谷藏	木村平右衛門
神前修三	吉村英徵	中西光三郎	神前修三	兒玉亮太郎	前川虎造
山口熊野	神前修三	望月右内	中村啓次郎	岡崎邦輔	小山谷藏
千田軍之助	山口熊野	望月右内	望月右内	西風重遠	兒玉亮太郎
望月右内	山本隆太郎	神前修三	千田軍之助	中村啓次郎	岡崎邦輔
岩本晴之	〃	〃	〃	一坂俊太郎	青木磐雄
板東勘五郎	〃	〃	〃	秋田 清	三木與吉郎
橋本久太郎	須見千次郎	橋本久太郎	川真田德三郎	板東勘五郎	板東勘五郎
須見千次郎	大久保兼太郎	須見千次郎	大久保兼太郎	中川虎之助	川真田德三郎
川真田德三郎	〃	〃	〃	須見千次郎	須見千次郎

第二編 議員氏名(第七乃至第十二選舉)

選舉	府縣區	氏名	香川縣		愛
			郡	部	
第七 (明治三)	新開	貢	郡	部	郡
第八 (明治三)	橋本	久太郎	郡	部	郡
第九 (明治三)	大久保	幸太郎	郡	部	郡
第十 (明治四)	中川	虎之助	郡	部	郡
第十一 (明治四)	大久保	幸太郎	郡	部	郡
第十二 (大正四)	田中	定吉	郡	部	郡

福岡縣		高知縣				媛縣						
市	郡	郡		市	部			部				
松村雄之進	平岡浩太郎	楠目玄	加藤高明	田中遜	島田糺	林有造	片岡健吉	渡邊修	武内作平	大久保雅彦	重岡薰五郎	合田福太郎
內藤新吾	淺野陽吉	林有造	島田糺	竹内綱	片岡健吉	大石正己	岡崎賢次	武市庫太	伊達武四郎	武内作平	合田福太郎	重岡薰五郎
太田清藏	鶴原定吉	町田且龍	細川義昌	和田尊義	富田幸次郎	大石正己	仙石貢	村松恆一郎	才賀藤吉	長谷部倉藏	森肇	西山彰
有馬秀雄	淺野陽吉	岡田榮	大石正己	富田幸次郎	白石直治	片岡直溫	光森德治	武市庫太	渡邊修	重岡薰五郎	森肇	西山彰
奧村七郎	白石直治	竹内明太郎	石本貫太郎	濱口雄幸	仙石貢	渡邊修	政尾藤吉	才賀藤吉	今西林三郎	伊達武四郎	渡邊修	武内作平

第二編 議員氏名(第七乃至第十二選舉)

選 舉		府 縣		福 岡 縣	
區	氏 名	市 區	郡	部	市 小 倉
第七 (明治三十五年)	毛里保太郎	青柳四郎	野田卯太郎	由布惟義	征矢野半彌
第八 (明治三十六年)	菊池武德	〃	征矢野半彌	多田作兵衛	堤 猷久
第九 (明治三十七年)	毛里保太郎	古賀庸藏	藤 金作	野田卯太郎	多田作兵衛
第十 (明治四十一年)	石田平吉	〃	藏內次郎作	古野孫太郎	熊本壽人
第十一 (明治四十五年)	土方千種	友枝梅次郎	樋口典常	野田卯太郎	藏內次郎作
第十二 (大正四年)	石田平吉	飯森辰次郎	吉田磯吉	吉原正隆	山內範造
					堀 三太郎
					藏內次郎作
					永江純一
					大原義剛
					的野半介

選 舉		府 縣		大 分 縣		佐 賀 縣	
區	氏 名	郡	部	郡	部	郡	部
第七 (明治三十五年)	藤 金作	箕浦勝人	木下謙次郎	上原鹿造	元田 肇	水之江文二郎	宮村三多
第八 (明治三十六年)	木下學而	木下謙次郎	箕浦勝人	元田 肇	宮村三多	中川久知	水之江文二郎
第九 (明治三十七年)	武內美代吉	佐藤庫喜	元田 肇	箕浦勝人	木下謙次郎	野尻邦基	是永歲太郎
第十 (明治四十一年)	富安保太郎	木下謙次郎	三浦覺一	〃	松田源治	元田 肇	佐藤庫喜
第十一 (明治四十五年)	大原義剛	元田 肇	木下謙次郎	津末良介	箕浦勝人	松田源治	秋本豐之進
第十二 (大正四年)	安部熊之輔	木下謙次郎	箕浦勝人	森 環	津末良介	元田 肇	成清博愛
							豐增龍次郎
							江副靖臣
							武富時敏
							川原茂輔
							狩野雄一
							南里琢一
							八坂甚八
							武富時敏
							井原喜代太郎
							松田正久
							神崎東藏
							武富時敏
							神崎東藏
							武富時敏
							兼松 照
							松田正久
							川原茂輔
							松田正久
							川原茂輔
							神崎東藏
							武富時敏
							關 清英

第二編 議員氏名(第七乃至第十二選舉)

選 舉	府 縣	熊 本 縣										
		市 熊 本	郡			部				郡		
第七 (明治三十五年)	氏名	岡崎唯雄	出田信記	佐々友房	安達謙藏	山田珠一	池松豐記	大淵龍太郎	高田露	江藤茂	坂元英俊	高山眞平
第八 (明治三十六年)	氏名	〃	高田露	池松豐記	松村時次	佐々友房	安達謙藏	益田陽一	中西新作	小山雄太郎	城重雄	坂元英俊
第九 (明治三十七年)	氏名	大畑純次	大淵龍太郎	安達謙藏	佐々友房	中西新作	藤井牧太	江藤哲藏	渡邊敬昌	池松豐記	石川清	靱木卿太郎
第十 (明治四十一年)	氏名	山田球一	守山又三	内野延	紫垣一雄	安達謙藏	木村義賢	高田露	高森新	原田十郎	水間此農夫	肥田景之
第十一 (明治四十五年)	氏名	〃	井手三郎	守山又三	松村時次	〃	高田露	渡邊國重	原田十郎	江藤哲藏	塚本常彌	〃
第十二 (大正四年)	氏名	〃	原田十衛	宗像政	井手三郎	江藤哲藏	三津家傳之	岡辰喜	尾越辰雄	安達謙藏	小森雄介	高山眞平

第二編 議員氏名(第七乃至第十二選舉)

選 舉	府 縣	鹿 兒 島 縣										
		鹿 島 市	郡			部				大 島		
第七 (明治三十五年)	氏名	岩元信兵衛	柚木慶二	武滿義雄	長谷場純孝	池田惟貞	平田二郎	鮫島相政	和泉邦彦	岡元直熊	森源三	平出喜三郎
第八 (明治三十六年)	氏名	〃	〃	和泉邦彦	上村精之助	〃	長谷場純孝	平田二郎	武滿義雄	嶺山時善	對馬嘉三郎	内山吉太
第九 (明治三十七年)	氏名	〃	長谷場純孝	山崎良純	武滿義雄	〃	東一左右	柚木慶二	福島美之助	〃	淺羽靖	〃
第十 (明治四十一年)	氏名	山岡國吉	〃	武滿義雄	奧田榮之進	柚木慶二	鮫島慶彦	肥後幸盛	高原篤行	坂本元明	〃	小橋榮太郎
第十一 (明治四十五年)	氏名	飛岡卯一郎	〃	柚木慶二	平田禎	〃	肥後靜雄	志々目藤彦	武滿義雄	麓純義	〃	平出喜三郎
第十二 (大正四年)	氏名	河野庄太郎	床次竹二郎	武滿義雄	柚木慶二	兒玉好熊	奧田榮之進	〃	平田禎	田中省三	〃	中西六三郎

○議員氏名 (其三)

府縣	選舉區	氏名	北海道		沖繩縣	
			小樽區	札樽區	國頭郡	島尻郡
府	選舉第七(明治三十五年)	氏名	高橋直治			
府	選舉第八(明治三十六年)	氏名	高野源之助			
府	選舉第九(明治三十七年)	氏名	金子元三郎	中西六三郎		
府	選舉第十(明治四十二年)	氏名	渡邊兵四郎	東武		
府	選舉第十一(明治四十五年)	氏名	高橋直治			
府	選舉第十二(明治四十四年)	氏名	金子元三郎			
府	選舉第十三(大正六年)	氏名	高嶺朝教	岸本賀昌		
府	選舉第十三(大正六年)	氏名	護得久朝惟			
府	選舉第十三(大正六年)	氏名	柳田藤吉	松井源内		
府	選舉第十三(大正六年)	氏名	白石義郎	横田虎彦		
府	選舉第十三(大正六年)	氏名	木下成太郎	内山吉太		
府	選舉第十三(大正六年)	氏名	小池仁郎	佐藤榮右衛門		

東		京		東	
郡	市	郡	市	郡	市
秋本喜七	高木正年	古鳥一雄	賴母木桂吉	三木武吉	磯部尙
横山一郎	鈴木梅四郎	高木益太郎	黒須龍太郎	金杉英五郎	關直彦
前田米藏	村野常右衛門	漆昌巖	渡邊昭	小川郷太郎	森田茂
紫安新九郎	金澤仁作	今井嘉幸	河野徹志	北田豐三郎	高松正道
小泉又次郎	戸井嘉作	赤尾彦作	松本剛吉	中川隣之輔	野添宗三
小籓八郎右衛門	小泉又次郎	戸井嘉作	赤尾彦作	松本剛吉	野添宗三
堀田十郎	大森與三	土井權大	下岡忠治	川口木七郎	中川幸太郎
坪田十郎	大森與三	土井權大	下岡忠治	川口木七郎	中川幸太郎
野添宗三	大森與三	土井權大	下岡忠治	川口木七郎	中川幸太郎
堀田十郎	大森與三	土井權大	下岡忠治	川口木七郎	中川幸太郎
堀田十郎	大森與三	土井權大	下岡忠治	川口木七郎	中川幸太郎

第二編 議員氏名(第十三選舉)

長		縣							府縣	選舉	
郡	長崎市	部							區	第十三(大正六年)	
中倉万次郎	牧山耕藏	橋本喜造	小川寅六	松本誠之	正木照藏	唐端清太郎	小寺謙吉	齋藤隆夫	廣岡宇一郎	橫田孝史	氏名
新				縣			府縣	選舉			
郡				新潟市	對馬			區	第十三(大正六年)		
野口孝治	高鳥順作	丸山豐治郎	高橋光威	田邊熊一	久須美東馬	關矢儀八郎	秋田寅之介	白井哲夫	本田恆之	則元由庸	氏名
埼		縣					府縣	選舉			
郡		佐渡	部					區	第十三(大正六年)		
齋藤安雄	加藤政之助	秦豐助	指田義雄	山本悌二郎	丸山巖藏一郎	坂口仁一郎	竹村良貞	牧口義矩	櫻井庄平	大竹貫一	氏名
馬		縣			府縣	選舉					
郡		高崎市	前橋市	部			區	第十三(大正六年)			
今井今助	齋藤壽雄	田島達策	武藤金吉	土谷全次	平田健太郎	長島律太郎	福田辰五郎	高木利平	粕谷義三	齋藤珪次	氏名

縣		葉							千		縣	
水戸市		部							郡		部	
小山田信藏	土屋清三郎	加瀬禧逸	磯部敬	柏原文太郎	鷗澤宇八	津田毅一	關和知	木村政次郎	吉植庄一郎	鷗澤總明	兒玉右二	本間三郎
木		縣			城			茨				
郡		市都宮	部			郡			部			
渡邊陳平	戸叶薰雄	橫田千之助	上野松次郎	川村惇	原脩次郎	河野正義	鈴木錠藏	尾見濱五郎	宮本逸三	小久保喜七	大津淳一郎	根本正
重		三		縣			奈		縣			
郡		市四日市	津市	部			奈島市	部				
濱田國松	尾崎行雄	天春文衛	井島茂作	越山太刀三郎	上島長久	今村勤三	中山梅治郎	八木逸郎	上村耕作	石川玄三	高田耕平	田村順之助
知		愛			縣							
郡		屋市			名古		部					
日比野寬	奧村三樹之助	大口喜六	小山溫	三輪市太郎	清水市太郎	瀧正雄	磯貝浩	小山松壽	川崎克	堀川美哉	佃安之丞	小林嘉平治

選 舉		府 縣	縣		岡 靜	
第十三(大正六年)		氏 名	部		郡	
田中善立		田中善立	尾崎元次郎		北井波治目	
堀尾茂助		堀尾茂助	鈴置倉次郎		岩崎 勳	
大島久滿次		大島久滿次	清 釜太郎		小泉策太郎	
氣賀勘重		氣賀勘重	松浦五兵衛		氣賀勘重	
選 舉		府 縣	縣		賀 滋	
第十三(大正六年)		氏 名	部		郡	
杉山東太郎		杉山東太郎	若尾璋八		望月小太郎	
鈴木富士彌		鈴木富士彌	加藤定吉		河西豐太郎	
加藤定吉		加藤定吉	牛田唯一		生原忠右衛門	
藤井善助		藤井善助	吉村鐵之助		吉田羊治郎	
吉田羊治郎		吉田羊治郎	藤井善助		藤井善助	
選 舉		府 縣	縣		岐 阜	
第十三(大正六年)		氏 名	部		郡	
中村喜平		中村喜平	望月長夫		井上敬之助	
望月長夫		望月長夫	河崎助太郎		古屋慶隆	
井上敬之助		井上敬之助	佐々木文一		牧野鐵九郎	
松岡勝太郎		松岡勝太郎	永田吉右衛門		匹田銳吉	
長尾元太郎		長尾元太郎	松岡勝太郎		長尾元太郎	
選 舉		府 縣	縣		長 野	
第十三(大正六年)		氏 名	部		郡	
小川平吉		小川平吉	南澤宇忠治		小田切磐太郎	
小川平吉		小川平吉	百瀬清治		隆旗元太郎	
南澤宇忠治		南澤宇忠治	工藤善助		岡部次郎	
小田切磐太郎		小田切磐太郎	植原悅二郎		樋口秀雄	
岩崎總十郎		岩崎總十郎	岩崎總十郎		岩崎總十郎	

選 舉		府 縣	縣		宮 城	
第十三(大正六年)		氏 名	部		郡	
小山東助		小山東助	齊藤二郎		澤 來太郎	
齊藤二郎		齊藤二郎	互理胤正		藤澤幾之輔	
遠藤良吉		遠藤良吉	白井新太郎		河野廣中	
堀切善兵衛		堀切善兵衛	八田宗吉		近藤達兒	
八田宗吉		八田宗吉	半谷清壽		高岡唯一郎	
高岡唯一郎		高岡唯一郎	高岡唯一郎		高岡唯一郎	
選 舉		府 縣	縣		青 森	
第十三(大正六年)		氏 名	部		郡	
石射文五郎		石射文五郎	平島松尾		原 敬	
高橋嘉太郎		高橋嘉太郎	工藤吉次		棚瀬軍之佐	
阿部德三郎		阿部德三郎	川村精之		伊東 重	
伊東 重		伊東 重	工藤卓爾		鳴海文四郎	
野村治三郎		野村治三郎	野村治三郎		野村治三郎	
菊池良一		菊池良一	菊池良一		菊池良一	
選 舉		府 縣	縣		山 形	
第十三(大正六年)		氏 名	部		郡	
阿部武智雄		阿部武智雄	戶狩權之助		小林源藏	
高橋辰二		高橋辰二	熊谷直太		齋藤紀一	
伊東知也		伊東知也	大石五郎		關原彌里	
關原彌里		關原彌里	田中隆三		池田龜治	
池田龜治		池田龜治	神田清兵衛		齋藤宇一郎	
齋藤宇一郎		齋藤宇一郎	齋藤宇一郎		齋藤宇一郎	
選 舉		府 縣	縣		福 井	
第十三(大正六年)		氏 名	部		郡	
町田忠治		町田忠治	高橋本吉		松井文太郎	
高橋本吉		高橋本吉	柳原九兵衛		熊谷五右衛門	
柳原九兵衛		柳原九兵衛	橫井藤四郎		今村七平	
今村七平		今村七平	中橋德五郎		櫻井兵五郎	
櫻井兵五郎		櫻井兵五郎	米田 穰		淺野順平	
淺野順平		淺野順平	戶水寬人		戶水寬人	

島 德		縣 山 歌 和					縣					
郡	德島市	部		郡	和歌山市	部						
生田和平	松島 肇	武市彰一	前川虎造	兒玉亮太郎	岡崎邦輔	隅田豐吉	中村啓次郎	大堀 孝	三隅哲雄	美禰龍彦	飯田精一	
愛		縣 川 香					縣					
郡	松山市	部		郡	丸龜市	高松市	部					
河上哲太	村松恆一郎	尾崎敬義	林 毅陸	松田三德	大林森次郎	小西 和	三土忠造	加治壽衛吉	井戸文四郎	川真田德三郎	板東勘五郎	秋田 清
福		縣 知 高					縣 媛					
市	久米市	部		郡	高知市	部						
大藪房次郎	松永安左衛門	石本鑽太郎	富田幸次郎	仙石 貢	白石直治	竹内明太郎	中野寅次郎	押川方義	藤野正年	政尾藤吉	古谷久綱	成田榮信
縣		縣 岡					縣					
部		郡		郡			小倉市	門司市	部			
元田 肇	山口恆太郎	森田正路	佐々木正藏	河波荒次郎	吉原正隆	野田卯太郎	山内範造	藏内次郎作	大内暢三	赤間嘉之吉	友枝梅次郎	毛里保太郎

縣 取 鳥		縣 山 富					府 縣		選 舉	
部	鳥取市	部		郡	高岡市	富山市	區	氏 名	第十三(六年)	
奧田龜造	頭本元貞	白田久内	森丘覺平	野村嘉六	山田正年	上埜安太郎	廣瀬鎮之	菅野傳右衛門	高見之通	西村正則
岡		縣 根 島					府 縣		選 舉	
郡	岡山市	隱岐	部		郡	松江市	區	氏 名	第十三(六年)	
犬飼源太郎	犬養 毅	有森新吉	古川 清	石田孝吉	島田俊雄	小川藏次郎	高橋久次郎	恆松隆慶	岡崎運兵衛	奧田柳藏
廣		縣 山					府 縣		選 舉	
郡	尾道市	廣島市	部			部		區	氏 名	第十三(六年)
森本是一郎	花井卓藏	荒川五郎	橋本太吉	早速整爾	坂本金彌	福井三郎	小橋藻三衛	石黒涵一郎	西村丹治郎	高戸郁三
口 山		縣 島					府 縣		選 舉	
郡		下關市	部			部		區	氏 名	第十三(六年)
渡邊祐策	山根正次	大岡育造	林 平四郎	富島暢夫	湯淺凡平	横山金太郎	山道襄一	吉田 中	望月圭介	井上角五郎

會期	府縣	舊議員	異動事由	異動月日	補缺當選議員	補缺當選月日
第一回	三重	北川 矩一	辭職	明治二四、三、一九	角 利助	明治二四、七、一五
第一回	新潟	小林 雄七郎	死去	二四、四、四	波多野 傳三郎	二四、五、四
第一回	山口	井上 正一	判事ニ在セラル	二四、五、二	堅 田 少 輔	二四、七、二
第一回	新潟	山際 七司	死去	二四、六、九	小柳 卯三郎	二四、七、二
第一回	愛知	宮田 慎一郎	辭職	二四、六、八	松 山 義 根	二四、七、一六
第一回	石川	相川 久太郎	當選無效	二四、六、八	杉 村 寬 正	二四、六、二五
第一回	滋賀	伊庭 貞剛	辭職	二四、七、六	中小路 與平治	二四、七、三〇
第一回	熊本	松 山 專 善	當選無效	二四、七、六	小 崎 義 明	二四、七、二七
第一回	鳥取	岡崎 平内	辭職	二四、七、二	木 下 莊 平	二四、八、三
第一回	同	松 南 宏 雅	辭職	二四、七、二	門 脇 重 雄	二四、八、三
第一回	山口	野村 恒造	辭職	二四、八、九	矢 島 作 郎	二四、九、三
第一回	和歌山	陸 奥 宗 光	辭職	二四、九、三	岡崎 邦 輔	二四、九、二四

第二回總選舉後異動

會期	府縣	舊議員	異動事由	異動月日	補缺當選議員	補缺當選月日
第三回 召集前	大阪	是 恒 眞 揖	死去	明治二五、三、二三	元 田 肇	明治二五、四、二六
第三回	廣島	長井 松太郎	死去	二五、八、一〇	前 田 莞 爾	二五、九、一八
第三回	東京	藤 田 茂 吉	死去	二五、八、九	楠 本 正 隆	二五、九、一七
第三回	愛知	加 藤 政 一	辭職	二五、九、一	加 藤 喜 右 衛 門	二五、九、二五
第三回	廣島	平 山 靖 彦	辭職	二五、九、一	藤 田 高 之	二五、九、二二
第三回	石川	新田 甚左衛門	辭職	二五、九、二九	杉 村 寬 正	二五、一〇、一〇
第三回	巖手	上 田 農 夫	當選無效	二五、一〇、四	谷 河 尙 忠	二五、一〇、一五
第三回	群馬	湯 淺 治 郎	辭職	二五、一〇、三	宮 口 二 郎	二五、一〇、一八
第三回	廣島	八 田 謹 二 郎	辭職	二五、一一、二八	小 田 貫 一	二五、一一、二九

會期	第 四 回	第 三 回	第 二 回	第 一 回	會 閉	會 期
府縣	兵庫	山形	熊本	千葉	三重	高知
舊 議 員	渡邊 徹	宮城 浩藏	山田 武甫	狩野 揆一郎	伊藤 謙吉	武市 安哉
異動事由	辭職	死	死	死	辭職	辭職
異動月日	明治三三、三、二	三六、二、四	三六、二、五	三六、三、五	三六、三、四	三六、五、一
補缺當選議員	奧野 小四郎	重野 謙次郎	嘉悅 氏房	秋元 三左衛門	栗原 亮一	小松 三省
補缺當選月日	明治三五、三、二六	三六、三、二	三六、三、五	三六、四、三	三六、四、六	三六、五、三
府縣	會我部 道夫	德島	會我部 道夫	德島	會我部 道夫	德島
舊 議 員	會我部 道夫	會我部 道夫	會我部 道夫	會我部 道夫	會我部 道夫	會我部 道夫
異動事由	辭職	辭職	辭職	辭職	辭職	辭職
異動月日	三六、七、三	三六、七、三	三六、六、九	三六、六、九	三六、五、一	三六、五、一
補缺當選議員	阿部 興人	坂本 理一郎	林 有造	片岡 健吉	蒲 生 仙	鳥 田 孝之
補缺當選月日	三六、八、一四	三六、八、五	三六、八、五	三六、八、七	三六、七、六	三六、六、四

第四回總選舉後異動

後	第 五 回
山口	山形
會根 荒助	松澤 光憲
辭職	辭職
三六、八、三	三六、二、二
小倉 甚吉	小磯 忠之輔
三六、九、三〇	三六、二、三

會期	第 八 回	第 七 回	第 六 回	第 五 回	第 四 回	第 三 回	第 二 回	第 一 回
府縣	長崎	長崎	長崎	長崎	長崎	長崎	長崎	長崎
舊 議 員	家永 芳彦	伊藤 圭介	和 田 方正	和 田 方正	和 田 方正	和 田 方正	和 田 方正	和 田 方正
異動事由	辭職	死	死	死	死	死	死	死
異動月日	明治三七、三、二〇	三六、三、五	三六、五、二	三六、五、二	三六、五、八	三六、六、二	三六、六、二	三六、六、二
補缺當選議員	小川 虎一	佐藤 昌藏	藤 田 吉亨	藤 田 吉亨	西谷 金藏	森本 莊三郎	森本 莊三郎	森本 莊三郎
補缺當選月日	明治三七、三、二七	三六、三、二	三六、五、二	三六、五、二	三六、六、六	三六、七、五	三六、七、五	三六、七、五

會期	府縣	舊議員	異動事由	異動月日	補缺當選議員	補缺當選月日
回九第	山口	小田伴輔	辭職	三、八、三	山本六彦	三、九、一八
後會閉回	熊本	古莊嘉門	辭職	三、一〇、三	內藤正義	三、一、二一
	大阪	粟谷品三	死	三、一、二〇	田中市兵衛	三、一、二九
	熊本	紫垣伴三	貴族院議員二任セラル	三、一、一九	藤岡常彦	三、二、二八
回九第	愛媛	戸田熊彦	死	三、二、五	村上一郎	三、二、二七
	東京	末廣重恭	死	三、二、五	今西幹一郎	三、二、二七
	石川	角田眞平	辭職	三、二、五	松田秀雄	三、二、二七
	靜岡	丸尾文六	死	三、三、九	竹内虎松	三、三、二七
回九第	東京	楠本正隆	華族ニ列セラル	三、五、一	岡田良一郎	三、五、三三
	福井	坪田仁兵衛	死	三、六、八	濱口吉右衛門	三、七、四
	香川	謙田勝太郎	辭職	三、七、二	大針徳兵衛	三、九、三
				三、七、四	綾井武夫	三、九、二

後會閉	回十第	後會閉	回十第	後會閉	回十第	後會閉	回十第	後會閉	回十第	後會閉	回十第
大阪	豐田文三郎	死	去	三、八、七	松本重太郎	三、九、一九		千葉	高橋與市	當選無效	
東京	石坂昌孝	辭職		三、九、三	武井惣左衛門	三、一〇、一九		熊本	澁江公寧	死	去
香川	三崎龜之助	辭職		三、九、六	森久保作藏	三、一〇、一六		栃木	星亨	辭職	
愛知	山本三太郎	死	去	三、一、一〇	佐伯誠一郎	三、一〇、二四		熊本	紫藤寛治	死	去
鹿兒島	河島醇	辭職		三、一、二、七	景山甚右衛門	三、一、二、三		同	野口葵	辭職	
同	原善三郎	貴族院議員二任セラル		三、一、八	中山丹治郎	三、一、二、四		新潟	後藤五郎治	死	去
後會閉				三、一、二、四	小林仲次	三、一、二、四					
				三、二、二	武藤一忠	三、一、二、三					
				三、六、五	有村連	三、一、二、五					
				三、六、五	長瀬清一郎	三、一、二、五					
				三、九、三	萩野六郎	三、一、二、七					
				三、九、三	市橋藤藏	三、一、二、七					
				三、一〇、九		三、一、二、四					

第六回總選舉後異動

會期	府縣	舊	議	員	異動事由	異動月日	補缺當選議員	補缺當選月日
第三十回	熊本	古莊嘉門	辭	職	明治三、六、三	犬飼眞平	明治三、六、二九	
後會	福岡	許斐鷹助	辭	職	三、六、七	麻生太吉	三、七、三	
閉	神奈川	德增源太郎	死	去	三、八、五	鈴木忠兵衛	三、九、三	
同	長崎	淺田次郎	死	去	三、一、五	松尾己代治	三、二、九	
第四十回	新潟	牧口義方	死	去	三、三、〇	山口順一	三、一、七	
第	福岡	山本貴三郎	死	去	三、三、三	青柳四郎	三、一、二	
十	巖手	名須川良平	死	去	三、三、三	佐藤昌藏	三、二、三	
第	茨城	岡野寬	死	去	三、二、九	吉田源八	三、三、八	
回	神奈川	梶野敬三	死	去	三、二、七	神藤才一	三、四、七	
同	岐阜	大野龜三郎	當選無效	去	三、四、一	天野若圓	三、四、一七	
第	三重	片野篤二	死	去	三、六、七	金森吉次郎	三、七、四	
十	和波	久十郎	處	刑	三、九、四	平田力之助	三、一、二八	

會期	府縣	舊	議	員	異動事由	異動月日	補缺當選議員	補缺當選月日
後會	岐阜	前島丈之助	辭	職	三、九、七	市岡政香	三、一〇、三	
閉	山形	小倉信近	辭	職	三、一、二	山下千代雄	三、一、二八	
同	和歌山	濱口吉右衛門	辭	職	三、一、二五	兒玉仲兒	三、一、二五	
第	巖手	小田爲綱	死	去	三、四、五	篠民三	三、五、二	
十	大分	朝倉親爲	死	去	三、五、九	首藤邦基	三、七、五	
回	栃木	星亨	死	去	三、六、二	持田若佐	三、八、一〇	
五	大阪	中辰之助	辭	職	三、六、五	佐々木政父	三、七、一七	
十	兵庫	植木致一	辭	職	三、七、三	田健治郎	三、八、三	
回	熊本	松尾又雄	死	去	三、八、九	出田信記	三、九、二	
閉	奈良	磯田和藏	死	去	三、八、三	伊東四郎	三、九、二	
同	長野	小山久之助	死	去	三、一〇、三	石塚重平	三、一〇、三〇	
會	栃木	山田武	死	去	三、一〇、六	福島一造	三、一〇、三〇	
第	同	田中正造	辭	職	三、一〇、三	蓼沼丈吉	三、一、二四	

會期	府縣	舊議員	異動事由	異動月日	補缺當選議員	補缺當選月日
第十六回 後會閉	府縣	靜岡 伊達文三	死	明治 三、一〇、二五	西ヶ谷 可吉	明治 三、一、二六
	京都	喜多川 孝經	辭職	三、一〇、二六	奧 繁三郎	三、一、二七
	兵庫	本城 安太郎	死	三、一、三	鹿島 秀麿	三、一、三〇
	巖手	篠 民三	當選無效	三、一、三	山崎 庸哉	三、一、三
	東京	橫山 富次郎	處刑	三、三、二六		
	同	利光 鶴松	處刑	三、三、二六		
	大阪	前川 楨造	死	三、七、二二	補缺請求セズ	
	宮崎	津野 常	死	三、七、一八		
	富山	稻垣 示	死	三、八、九		
	府縣	舊議員	異動事由	異動月日	補缺當選議員	補缺當選月日
府縣	舊議員	異動事由	異動月日	補缺當選議員	補缺當選月日	

第七回總選舉後異動

第十七回 秋田 目黒 貞治 選舉法違反 三、二、四 石井 信 三、一、三

第八回總選舉後異動

會期	府縣	舊議員	異動事由	異動月日	補缺當選議員	補缺當選月日
第十八回 前召集	府縣	長崎 西村 規矩	死	明治 三、三〇	島津 良知	明治 三、四、二五
	福井	伊藤 藤 淳	死	三、五、二九	福島 宣三	三、六、五
	島根	高橋 慶太郎	處刑	三、一〇、九	岡崎 運兵衛	三、一〇、三
	岡山	阪本 義夫	當選無效	三、一〇、九	竹内 正志	三、一〇、二五
	高知	片岡 健吉	死	三、一〇、三	山本 幸彦	三、一、二〇
	府縣	舊議員	異動事由	異動月日	補缺當選議員	補缺當選月日
	府縣	舊議員	異動事由	異動月日	補缺當選議員	補缺當選月日

第九回總選舉後異動

第二十回 東京 秋山 定輔 辭職 明治 三、三、二九 磯部 四郎 明治 三、四、三

會期	第二十二回閉會後	第二十一回閉會後	第二十回閉會後	第十九回閉會後	第十八回閉會後	第十七回閉會後	第十六回閉會後	第十五回閉會後	第十四回閉會後	第十三回閉會後	第十二回閉會後	第十一回閉會後	第十回閉會後	第九回閉會後	第八回閉會後	第七回閉會後	第六回閉會後	第五回閉會後	第四回閉會後	第三回閉會後	第二回閉會後	第一回閉會後	
府縣	青森	福井	三重	同	新潟	福島	宮城	東京	京都	香川	愛知	千葉											
舊議員	工藤行幹	時岡又左衛門	長井氏克	速水熊太郎	白勢春三	唐橋左源次	南條文五郎	田口卯吉	神鞭知常	井上甚太郎	清水松三郎	伊藤德太郎											
異動事由	死	死	死	死	當選無效	死	死	死	死	死	死	死	去	去	去	去	去	去	去	去	去	去	去
異動月日	明治三、四、二	三、九、三	三、一〇、九	三、一〇、三	三、三、四	三、一、二	三、四、四	三、四、三	三、六、三	三、八、三	三、一〇、八	三、二、九											
補缺當選議員	市田兵七	荻野芳藏	松本恒之助	海野謙次郎	丸山嗟峨一郎	野木善三郎	星松三郎	林謙三	上野彌一郎	久保彦太郎	內藤魯一	安田勳											
補缺當選月日	明治三、五、二	三、一〇、四	三、二、二	三、二、四	三、三、三	三、一、八	三、五、三	三、五、一	三、七、七	三、九、三〇	三、一、三	三、二、七											

會期	第二十二回閉會後	第二十三回閉會後	第二十四回閉會後	第二十五回閉會後	第二十六回閉會後	第二十七回閉會後	第二十八回閉會後	第二十九回閉會後	第三十回閉會後	第三十一回閉會後	第三十二回閉會後	第三十三回閉會後	第三十四回閉會後	第三十五回閉會後	第三十六回閉會後	第三十七回閉會後	第三十八回閉會後	第三十九回閉會後	第四十回閉會後	第四十一回閉會後	第四十二回閉會後	第四十三回閉會後	第四十四回閉會後
府縣	東京	宮城	愛媛	熊本	栃木	福岡	高知	香川	新潟	長野	香川	京都	群馬										
舊議員	星松三郎	重岡薰五郎	佐々友房	新井章吾	平岡浩太郎	中澤楠彌太	宮井茂九郎	波多野傳三郎	石塚重平	遠山正和	井上與一郎	武藤金吉	群馬										
異動事由	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	去	去	去	去	去	去	去	去	去	去
異動月日	三、一、四	三、四、八	三、六、二	三、九、八	三、一〇、六	三、一〇、二	三、一、七	三、二、七	三、二、三	三、八、二	三、一、三	三、一、〇											
補缺當選議員	江間俊一	遠藤庸治	山村豐次郎	紫垣一雄	江原節	進藤喜平太	西山志澄	中西孫太郎	山田又七	小林萬次郎	三善清之	西田作次郎	補缺選舉ニ至ラス										
補缺當選月日	三、一、六	三、四、二	三、七、二	三、一、二	三、一、〇	三、一、二	三、一、二	三、一、二	三、一、二	三、一、二	三、一、二	三、一、二											

第十回總選舉後異動

會期	第廿	五回	第	二	十
府縣	愛媛	宮城	長崎	岡山	三重
舊議員	田坂初太郎	高野孟矩	白井哲夫	橫井時雄	栗原亮一
異動事由	辭職	四 <small>選舉法第十一條</small>	辭職	辭職	辭職
異動月日	明治四三、三、三	四三、二、三	四三、四、六	四三、五、六	四三、五、一〇
補缺當選議員	森肇	遠藤良吉	辻川與一右衛門	川島龜夫	川村曄
補當缺選月日	明治四三、三、五	四三、三、二	四三、五、一〇	四三、五、一四	四三、五、二五
府縣	愛媛	宮城	長崎	岡山	三重
舊議員	後藤文一郎	小澤愛次郎	森本駿	青木新治郎	秋山一裕
異動事由	辭職	辭職	辭職	辭職	辭職
異動月日	四三、五、三	四三、五、三	四三、五、三	四三、五、二	四三、五、二
補缺當選議員	鈴木倉次郎	粕谷義三	安藤新太郎	久保伊一郎	松本君平
補當缺選月日	四三、五、二五	四三、五、二五	四三、五、二七	四三、六、二	四三、五、二五

會	閉	回	五
石川	函館	福井	神奈川
上出長次郎	橫田虎彦	荻野芳藏	長谷川豐吉
選舉法違反	辭職	辭職	四 <small>選舉法第十一條</small>
四三、六、二	四三、六、六	四三、七、一	四三、七、三
藻寄鐵五郎	遠藤吉平	一名村忠治	土屋大次郎
四三、七、一	四三、七、二六	四三、七、二八	四三、七、三〇
兵庫	群馬	千葉	栃木
西村眞太郎	佐藤虎次郎	安田勳	木村半兵衛
同上	同上	同上	同上
四三、七、三	四三、七、三	四三、七、三	四三、七、三
鹿島秀磨	中島祐八	千葉禎太郎	關田嘉七郎
四三、七、二七	四三、七、二九	四三、七、二九	四三、七、二六
靜岡	同	佐賀	廣島
松浦五兵衛	澤田寧	神崎東藏	串本康三
同上	同上	同上	當選無效
四三、七、三五	四三、七、三五	四三、七、三	四三、七、五
伊東要藏	河井重藏	永野靜雄	早速整爾
四三、七、三五	四三、七、三五	四三、七、二九	四三、七、二八
長野	立川雲平	辭職	四三、八、九
上柳喜右衛門			
四三、九、四			

會期	府縣	舊議員	異動事由	異動月日	補缺當選議員	補缺當選月日
後	愛知	橫井甚四郎	死 去	明治四、八、二六	三浦逸平	明治四、九、二一
後	大阪	中林友信	死 去	四、二〇、二三	乾龜松	四、二一、一九
後	千葉	鈴木久次郎	死 去	四、一〇、二三	關和知	四、二一、二四
後	北海道	渡邊兵四郎	當選無效	四、二二、一〇	高橋直治	四、二二、二九
後	神奈川	土屋大次郎	死 去	四、二五、二三	神藤才一	四、二六、一
後	兵庫	櫻井一久	死 去	四、二六、二八	野添宗三	四、二七、二三
後	大阪	天川三藏	死 去	四、二八、八	日野國明	四、二九、五
後	京都	岩田信	死 去	四、二九、四	木戶豐吉	四、三〇、三
後	高知	和田尊義	死 去	四、三〇、七	藤崎朋之	四、三一、二四
後	神奈川	中村舜次郎	辭職	四、二一、〇	黃金井爲造	四、三一、二四
後	京都	西村治兵衛	死 去	四、二二、四	濱岡光哲	四、三一、二四
後	大阪	藤澤元造	辭職	四、二二、六	森秀次	四、三一、七

第廿七回	第廿八回	第廿九回	第三十回	第三十一回	第三十二回	第三十三回	第三十四回	第三十五回	第三十六回	第三十七回	第三十八回	第三十九回	第四十回
千葉	東條良平	死 去	四、二五、八	五十嵐敬止	四、二六、一								
石川	藻寄鐵五郎	處刑	四、二六、八	小池靖一	四、二七、四								
愛知	內藤魯一	死 去	四、二六、九	高濱與七	四、二八、五								
大阪	澤田佐助	死 去	四、二七、三	三谷軌秀	四、二七、八								
山形	池田藤八郎	死 去	四、二七、七	齋藤三郎右衛門	四、二八、三								
群馬	關口安太郎	死 去	四、二七、二	笹治元	四、二八、八								
東京	鳩山和夫	死 去	四、二〇、四	古島一雄	四、二〇、七								
青森	小山内鐵彌	死 去	四、二一、三	寺井純司	四、二二、三								
岐阜	大熊三之助	處刑	四、二二、四	高橋義信	四、二三、二九								
奈良	久保伊一郎	處刑	四、二三、二										
福井	杉田定一	死 去	四、二四、二										
新潟	關矢橋太郎	死 去	四、二四、一〇										
山形	丸山孝一郎	死 去	四、二五、二										

補缺請求セス

會期	回	第卅一回	第卅二回	第卅三回	第卅四回	第卅五回	第卅六回	第卅七回	第卅八回	第卅九回	第四十回	第四十一回	第四十二回	第四十三回	第四十四回	第四十五回				
府縣	北海道	岐阜	東京	熊本	岡山	沖繩	埼玉	北海道	福岡	山梨	新潟	府縣	舊	議員	異動事由	異動月日	補缺當選議員	補缺當選月日		
內山吉太	大野龜三郎	中島行孝	守山又三	坂本金彌	高嶺朝教	田中左司馬	淺羽靖	鶴原定吉	手塚正次	增田義一	辭職	辭職	辭職	辭職	辭職	辭職	大正 三、三、六	園田實德	大正 三、四、二七	
辭職	死	死	死	辭職	辭職	死	死	辭職	辭職	辭職	辭職	辭職	辭職	辭職	辭職	辭職	大正 三、四、七	坂口拙三	三、五、五	
異動事由	去	去	去	職	職	去	去	職	職	職	職	職	職	職	職	職	三、五、一	片桐酉次郎	三、五、三	
異動月日	大正 三、三、六	三、四、七	三、五、一	三、五、三〇	三、六、六	三、八、一	三、一〇、六	三、一〇、三	三、一〇、三	三、一〇、三	三、一〇、三	三、一〇、三	三、一〇、三	三、一〇、三	三、一〇、三	三、一〇、三	三、六、一	平山岩彦	三、六、一六	
補缺當選議員	園田實德	坂口拙三	片桐酉次郎	平山岩彦	犬飼源太郎	護得久朝惟	長島隆二	松田學	安川敬一郎	宇佐美一寶	補缺選舉ニ至ラス	池田猪三次	成田榮信	松田源治	山道襄一	清 峯太郎	清 峯太郎	清 峯太郎	清 峯太郎	
補缺當選月日	大正 三、四、二七	三、五、五	三、五、三	三、六、一六	三、七、二〇	三、八、一〇	三、一〇、一四	三、一〇、一三	三、一〇、一三	三、一〇、一三	三、一〇、一三	大正 四、四、二五	四、七、九	四、二、三	四、三、三	四、三、二	四、三、二〇	四、三、二〇	四、三、二〇	四、三、二〇

第十二回總選舉後異動

會期	第卅六回	第卅七回	第卅八回	第卅九回	第四十回	第四十一回	第四十二回	第四十三回	第四十四回	第四十五回
府縣	靜岡	愛媛	大分	廣島	靜岡	千葉	長崎	香川	新潟	鹿兒島
舊	村上太三郎	才賀藤吉	成清博愛	井上角五郎	大村和吉郎	板倉中	大池忠助	白川友一	川合直次	柚木慶二
議員	死	死	辭職	選舉法違反	死	選舉法違反	當選無效	選舉法違反	選舉法違反	死
異動事由	去	去	職	職	去	職	職	職	職	去
異動月日	大正 四、四、二五	四、七、九	四、二、三	四、三、三	四、三、二	四、三、二〇	四、三、二六	五、一、九	五、一、六	五、三、二
補缺當選議員	池田猪三次	成田榮信	松田源治	山道襄一	清 峯太郎	鶴澤總明	浦瀨濟之	加治壽衛吉	中野貫一	木尾虎之助
補缺當選月日	大正 四、四、二六	四、八、一六	四、二、二九	四、三、二五	四、三、二〇	四、三、二九	五、一、二七	五、一、二九	五、二、四	五、二、九

會期	第	七	回	閉	會
府縣	栃木	大阪	鳥取	長野	鳥根
舊	阿由葉鎗三郎	中谷德恭	白田久内	翠川鐵三	三浦倫吉
議員	選舉法違反	選舉法違反	選舉法違反	死	死
異動事由	大正 五、三、一〇	五、三、一四	五、三、二六	五、八、七	五、九、三
異動月日	田村順之助	田中萬逸	濱本義顯	風間禮助	遠藤嘉右衛門
補缺當選議員	大正 五、三、三〇	五、三、三〇	五、四、五	五、四、三三	五、九、三
補缺當選月日	同	同	同	同	同
會期	石川	長崎	岡山	同	同
議員	櫻井兵五郎	倉光藤太	萬代嘉平治	關戶寅松	田中喜太郎
異動事由	辭職	當選無效	處刑	全縣下選舉無效	全縣下選舉無效
異動月日	五、二、二七	五、一〇、二三	五、九、三	五、二、二七	五、二、二七
補缺當選議員	田中喜太郎	則元由庸	山谷虎三	淺野順平	櫻井兵五郎
補缺當選月日	同	五、二、二七	五、一〇、四	同	同

後	第	八
石川	山口	北海道
櫻井兵五郎	小河源一	佐藤榮右衛門
辭職	選舉法違反	死
異動月日	五、二、二七	五、二、二七
補缺當選議員	西野謙四郎	瀧口吉良
補缺當選月日	五、二、二八	六、一、三

第十三回總選舉後異動

會期	第	會期
府縣	大阪	府縣
舊	本出保太郎	齋藤二郎
議員	死	死
異動事由	大正 六、七、六	六、七、三
異動月日	井坂光暉	村松龜一郎
補缺當選議員	大正 六、七、三	六、八、六
補缺當選月日	同	同
會期	北海道	岡山
議員	金子元三郎	石黒涌一郎
異動事由	選舉法違反	死
異動月日	六、一〇、三	六、一〇、三
補缺當選議員	寺田省歸	赤木龜一
補缺當選月日	六、一〇、二八	六、一〇、八

會期																				
府縣																				
舊議員																				
異動事由																				
異動月日																				
補缺當選議員																				
補缺當選月日																				
加瀨	磯野	柏原文太郎	鶴澤宇八	津田毅一	關和知	木村政次郎	吉植庄一郎	鶴澤總明	白井新太郎	森丘覺平	高木利平	高木利平	高木利平	高木利平	高木利平	高木利平	高木利平	高木利平	高木利平	高木利平
當選取消																				
六、三、八																				
土屋清三郎	鈴木久次郎	磯野敬	鶴澤宇八	柏原文太郎	關和知	木村政次郎	吉植庄一郎	鶴澤總明	柴四郎	石原正太郎	綾部惣兵衛	綾部惣兵衛	綾部惣兵衛	綾部惣兵衛	綾部惣兵衛	綾部惣兵衛	綾部惣兵衛	綾部惣兵衛	綾部惣兵衛	綾部惣兵衛
六、三、三																				

會期																				
府縣																				
舊議員																				
異動事由																				
異動月日																				
補缺當選議員																				
補缺當選月日																				
山梨	福島	埼玉	北海道	奈良	巖手	愛知	熊本	德島	岐阜	滋賀	高知	土屋清三郎	土屋清三郎	土屋清三郎	土屋清三郎	土屋清三郎	土屋清三郎	土屋清三郎	土屋清三郎	土屋清三郎
牛田唯一	柴四郎	福田辰五郎	吉田三郎右衛門	上島長久	阿部德三郎	大島久滿次	岡辰喜	板東勘五郎	永田吉右衛門	吉村鐵之助	石本鑽太郎	當選無效	當選無效	當選無效	當選無效	當選無效	當選無效	當選無效	當選無效	當選無效
七、二、二	七、九、〇	七、八、八	七、五、七	七、五、八	七、五、四	七、四、七	七、四、一	七、三、三	七、三、六	七、三、三	七、二、七	七、二、七	七、二、七	七、二、七	七、二、七	七、二、七	七、二、七	七、二、七	七、二、七	七、二、七
穴水要七	柴四郎	長島隆二	前田卯之助	福本寅松	佐藤喜八	內藤傳祿	大谷高寬	高島兵吉	武藤嘉門	西川太治郎	岡田榮	岡田榮	岡田榮	岡田榮	岡田榮	岡田榮	岡田榮	岡田榮	岡田榮	岡田榮
七、三、七	七、一〇、三	七、九、三	七、六、六	七、六、七	七、六、八	七、五、八	七、四、九	七、四、五	七、三、六	七、二、八	七、二、三	七、二、三	七、二、三	七、二、三	七、二、三	七、二、三	七、二、三	七、二、三	七、二、三	七、二、三

德島 川真田德三郎 死去 廿二三 缺 員

[Faint, illegible text in the left column of the manuscript page]

[Faint, illegible text in the right column of the manuscript page]

表覽一閣內及會議

Table with columns for session type (e.g., 第一(通常), 第二(臨時)), session number, and names of members. It lists various officials and their roles across different sessions.

總選舉

議會回數

衆議院

議長

副議長

全體委員長

豫算委員長

決算委員長

請願委員長

懲罰委員長

書記官長

院

內閣總理大臣

外務大臣

內務大臣

大藏大臣

陸軍大臣

海軍大臣

伯山縣有朋

子青木周藏

伯西郷從道

子高島駒之助

德島

川真田德三郎

○ 雜會、呂宋或開國一覽

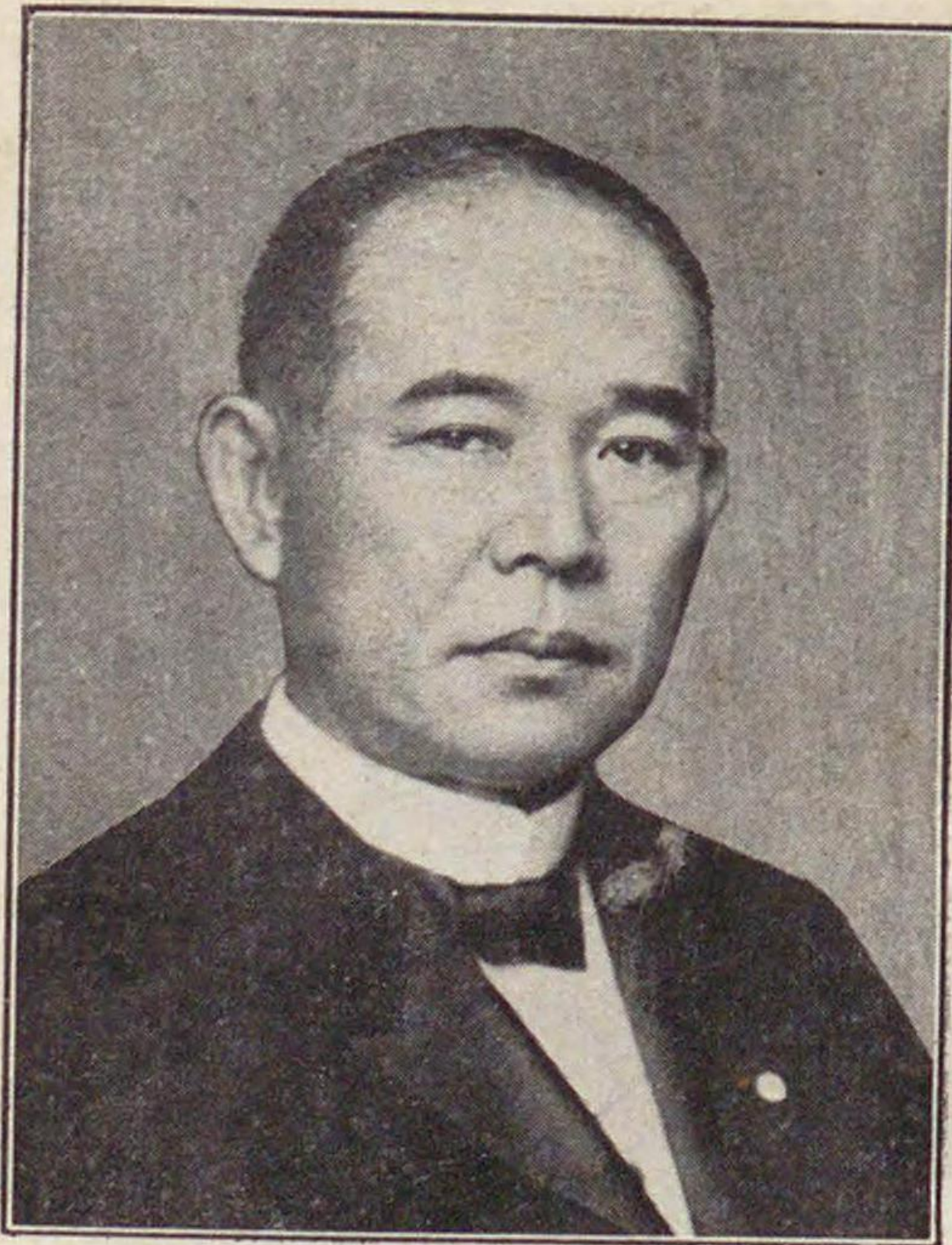
本會於明治二十二年三月三日成立。其宗旨在促進南洋華僑之福利。並與各埠華僑團體聯絡。以期共同發展。本會自成立以來。承蒙各界人士之贊助。業務日見發達。茲將本會之組織及活動情形。列表如下。以供參考。

日期	事項	出席人數	地點	備註
三月三日	本會成立大會
三月十日
三月二十日
三月三十日
四月十日
四月二十日
四月三十日
五月十日
五月二十日
五月三十日
六月十日
六月二十日
六月三十日
七月十日
七月二十日
七月三十日
八月十日
八月二十日
八月三十日
九月十日
九月二十日
九月三十日
十月十日
十月二十日
十月三十日
十一月十日
十一月二十日
十一月三十日
十二月十日
十二月二十日
十二月三十日

○議長、副議長、議員ノ履歴

議長 大岡 育造

山口縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、正四位勳三等



第二編 現在議員ノ履歴(議長)

安政三年六月長門國豐浦郡小串村ニ生ル、
司法省法律學校ニ學フ○辯護士タリ、東京
府會議員、東京市會議員、同參事會員、同
議長ニ舉ケラル、南滿洲鐵道株式會社創立
委員、法典調査會委員、日本大博覽會評
議員、生産調査會委員、衆議院議員選舉法
改正調査會委員、神社奉祀調査會委員被仰
付、又中央新聞社々長タリ、歐米ニ漫遊ス、
曩ニ文部大臣ニ任セララル○明治三十七八年
事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜旭日小綬章、
大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳三等賜瑞
寶章○衆議院議員ニ當選スルコト十一回、
三度衆議院議長ニ重任シ現ニ其職ニ在リ

副議長 濱田國松

三重縣郡部選出、立憲國民黨所屬
平民、勳三等、辯護士



明治元年六月宇治山田市ニ生ル、三重縣師範學校、東京法學院卒業○町會議員、郡會議員ニ選マル又神都瓦斯株式會社取締役タリ、大正七年五月視察團長トシテ朝鮮及支那ヲ視察ス○明治三十七八年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜旭日小綬章、大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳三等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト五回現ニ衆議院副議長タリ

伊東重

青森縣弘前市選出、立憲政友會所屬
士族、醫師



安政四年九月弘前市ニ生ル、東京醫料大學卒業○弘前市長ニ舉ケラル、又弘前公立病院長、青森公立病院長ト爲ル、支那及朝鮮ヲ視察セリ

伊東知也

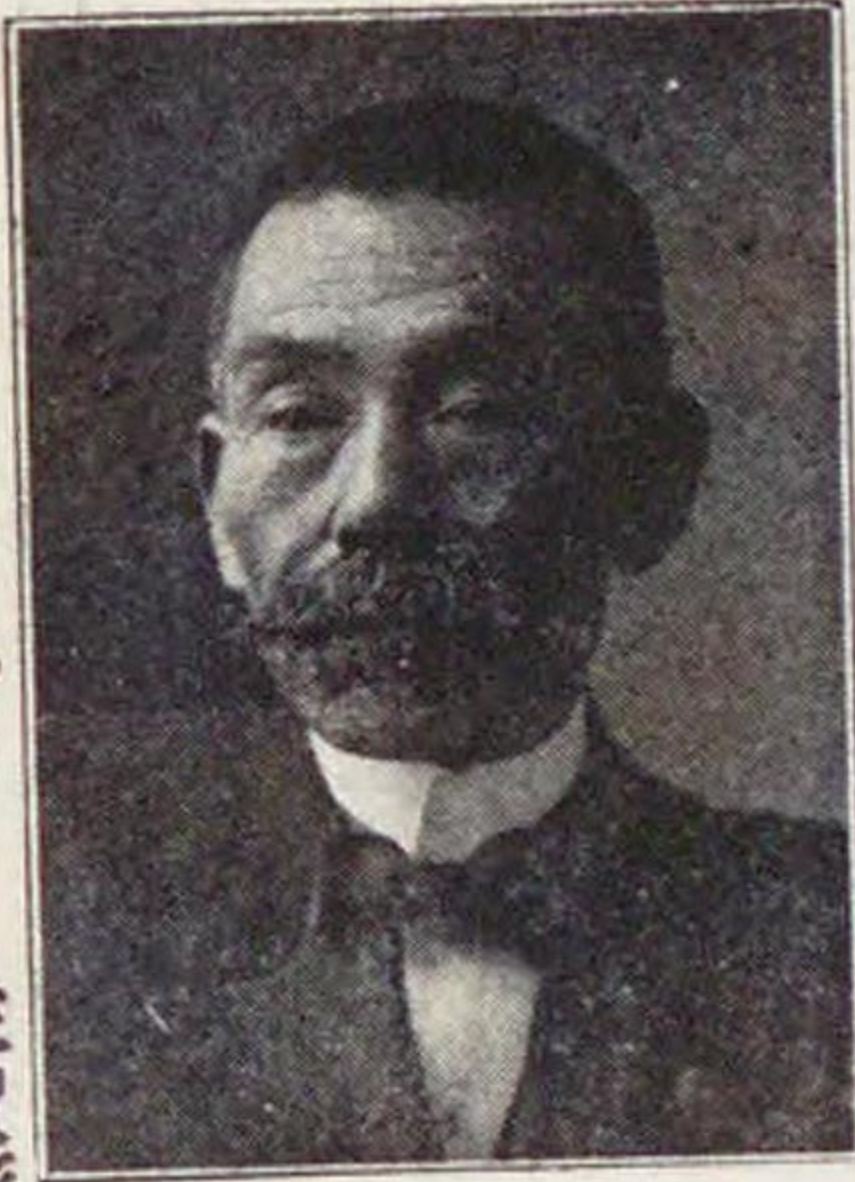
山形縣郡部選出、立憲國民黨所屬
士族、勳四等、雜誌記者



明治六年四月羽前國西田川郡鶴岡町ニ生ル、早稻田大學法科卒業○臺灣總督府舊慣調査會囑託ヲ命セラシ、後東部西伯利亞、南北滿洲及福建、廣東ノ各省ニ漫遊ス常ニ對支問題ニ盡瘁シテ支那、朝鮮ヲ往來スルコト十數回ニ及フ、現ニ雜誌日本及日本人記者タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト三回

井原百介

大阪府郡部選出、憲政會所屬
士族、正四位勳四等



萬延元年二月長門國阿武郡萩町ニ生ル、駒場農學校農學科及農
藝化學科卒業○農商務省御用係、山口農學校長、山口高等學校
教授、宮城農學校長、宮城縣技師、大阪府立農學校長、大阪府
技師ニ歷任ス、高等教育會評議員、米價調節調查會委員ニ選ハ
ル又明治四十三年官命ニ依リ歐米各國へ出張ス○大正三四年事
件ノ功ニ依リ賜旭日小綬章○衆議院議員ニ當選スルコト二回

井原喜代太郎

佐賀縣郡部選出、憲政會所屬
士族、勳四等、銀行重役



文久三年六月肥前國藤津郡鹿島町ニ生ル○曩ニ佐賀縣會議員、
同縣會議長ニ舉ケラル、社團法人鹿城會理事トシテ育英ノ業ニ
從フコト二十年、現ニ鹿島銀行頭取、祐德軌道株式會社々長タ
リ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議
員ニ當選スルコト二回

井戸文四郎

香川縣高松市選出、憲政會所屬
平民、辯護士



明治元年七月高松市ニ生ル、明治大學法律科卒業○大正七年臺
灣支那朝鮮ヲ視察セリ、現ニ辯護士タリ

井上敬之助

滋賀縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、勳四等、會社重役



慶應元年三月近江國甲賀郡石部村ニ生ル○曩ニ縣會議員、縣參
事會員、縣會議長タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等
賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト四回

井上角五郎

廣島縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、勳三等、會社重役



安政六年十月岡山市ニ生ル、慶應義塾卒業○曩ニ朝鮮國統理交涉通商事務衙門顧問兼博文局主宰トシテ同國政府ニ招聘セラレ時事新報大同新聞ノ記者トナル、農商工高等會議委員、臨時製鐵事業調査委員、日本大博覽會評議員、南滿洲鐵道株式會社創立委員、臨時治水調査會委員被仰付又北海道炭礦汽船株式會社專務取締役日本製鋼所社長タリ、現ニ日東製鋼株式會社取締役會長、其他數會社銀行ノ重役タリ○明治三十七八年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜旭日小綬章大正三年六月第一回帝國議會以來議員職ニ在リ其功勳カラス依テ被叙勳三等賜瑞寶章大正三十四年事件ノ功ニ依リ賜旭日中綬章○衆議院議員ニ當選スルコト十三回

井坂光暉

大阪府郡部選出、立憲政友會所屬
平民、勳四等、農



安政二年六月、和泉國泉南郡八木村ニ生ル○大阪府會議員、同常置委員ニ舉ケラル○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト三回

井島茂作

三重縣四日市市選出、憲政會所屬
平民、會社重役



安政二年八月四日市市ニ生ル、漢學數學ヲ修ム○曩ニ四日市商業會議所會頭、市會議員、市參事會員等ニ選マレ又四日市町立商業學校長、四日市市長等ニ就任セリ、現ニ養老鐵道株式會社取締役、揖斐川電力株式會社監査役タリ

井島義雄

熊本縣郡部選出、立憲政友會所屬
士族、辯護士



明治八年三月熊本市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○熊本市會議員、熊本縣會議員ニ選ハル

飯田 精一

山口縣郡部選出、新政會所屬
士族、正五位勳四等、會社重役



明治五年五月周防國玖珂郡岩國町ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○通信事務官、遞信書記官、一等郵便局長等ニ歷任ス、遞信省ヨリ郵便事業研究ノ爲獨逸留學ヲ命セラル又歐米諸國ヲ巡遊ス、臨時國民經濟調査會委員被仰付○衆議院議員ニ當選スルコト二回

岩佐 善太郎

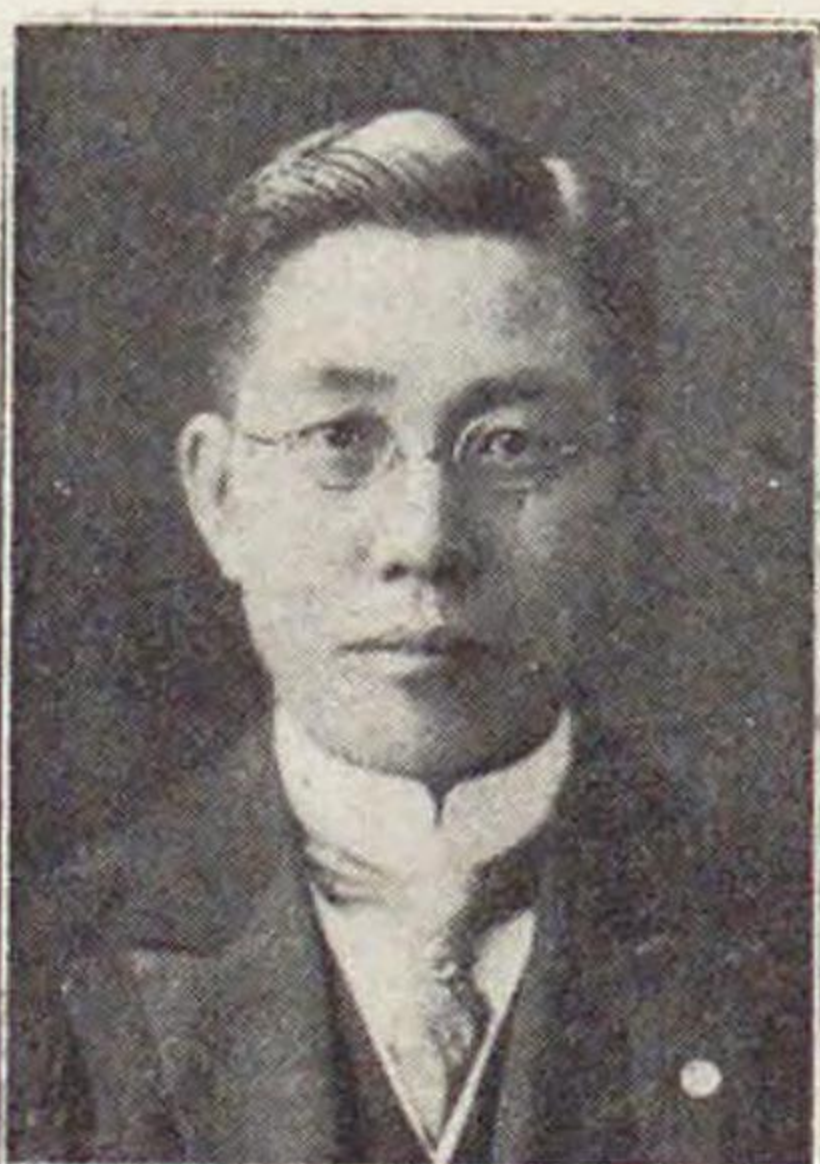
熊本縣郡部選出、憲政會所屬
士族、新聞記者



明治四年六月熊本市ニ生ル、東京專門學校英語政治科卒業○彙ニ日本新聞、憲政本黨々報、二六新報、萬朝報等ニ記者タリ

岩 崎 勳

静岡縣郡部選出、立憲政友會所屬
士族、勳四等、辯護士



明治十一年二月駿河國駿東郡清水村ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○明治三十六年文官高等試驗ニ及第ス又屢々東京辯護士會常務員、日本辯護士協會理事ニ舉ケラル又曾テ青年革新協會ヲ組織シ其主幹ト爲リ機關雜誌革新ノ主筆タリ、現ニ大日本養殖株式會社々長、ヒロネ鑛泉株式會社監查役タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト二回

岩崎 總十郎

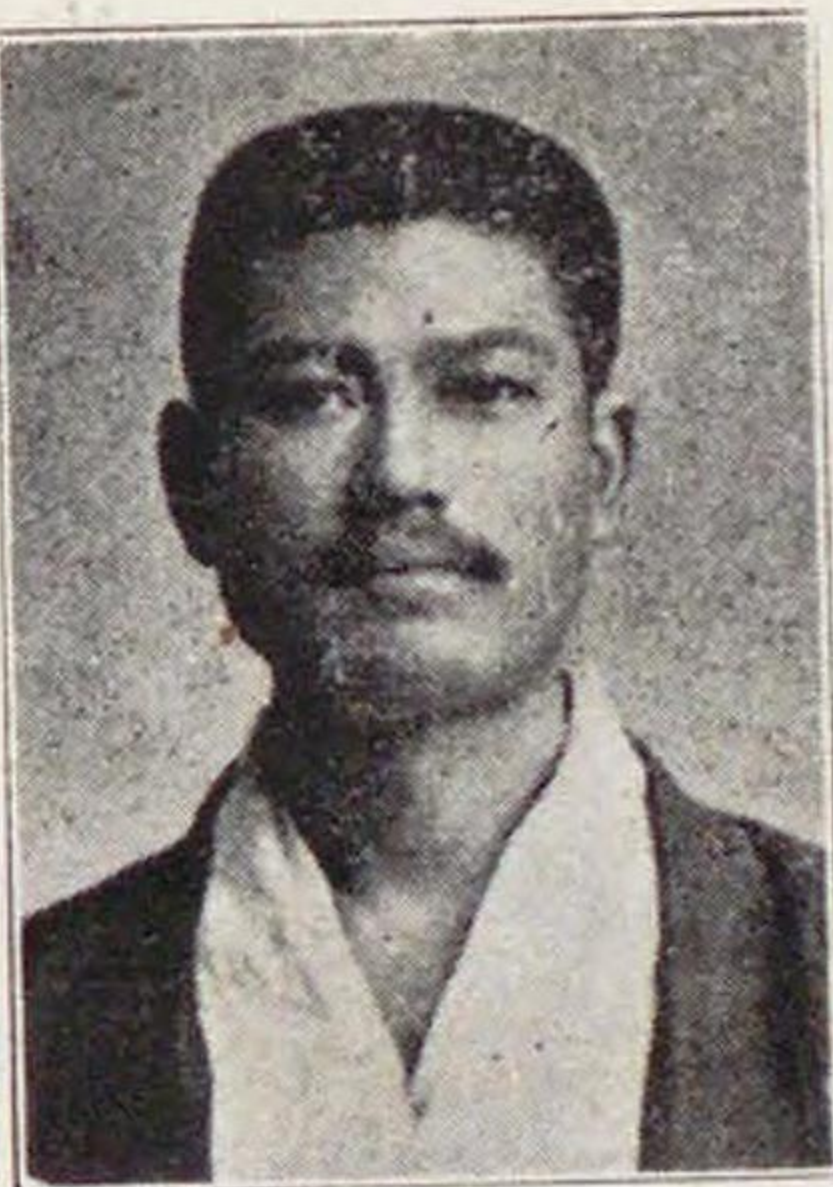
宮城縣仙臺市選出、立憲政友會所屬
士族、勳四等、辯護士



萬延元年十月仙臺市ニ生ル、東京專修學校、明治大學卒業○彙ニ大阪地方裁判所判事ニ任セララル、又仙臺市參事會員、宮城縣會議員タリ、現ニ鹽水港製糖拓殖株式會社、七十七銀行、仙臺瓦斯株式會社、古川水電株式會社ノ各監查役タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト二回

一宮房治郎

大分縣選出、立憲政友會所屬
平民、新聞社長



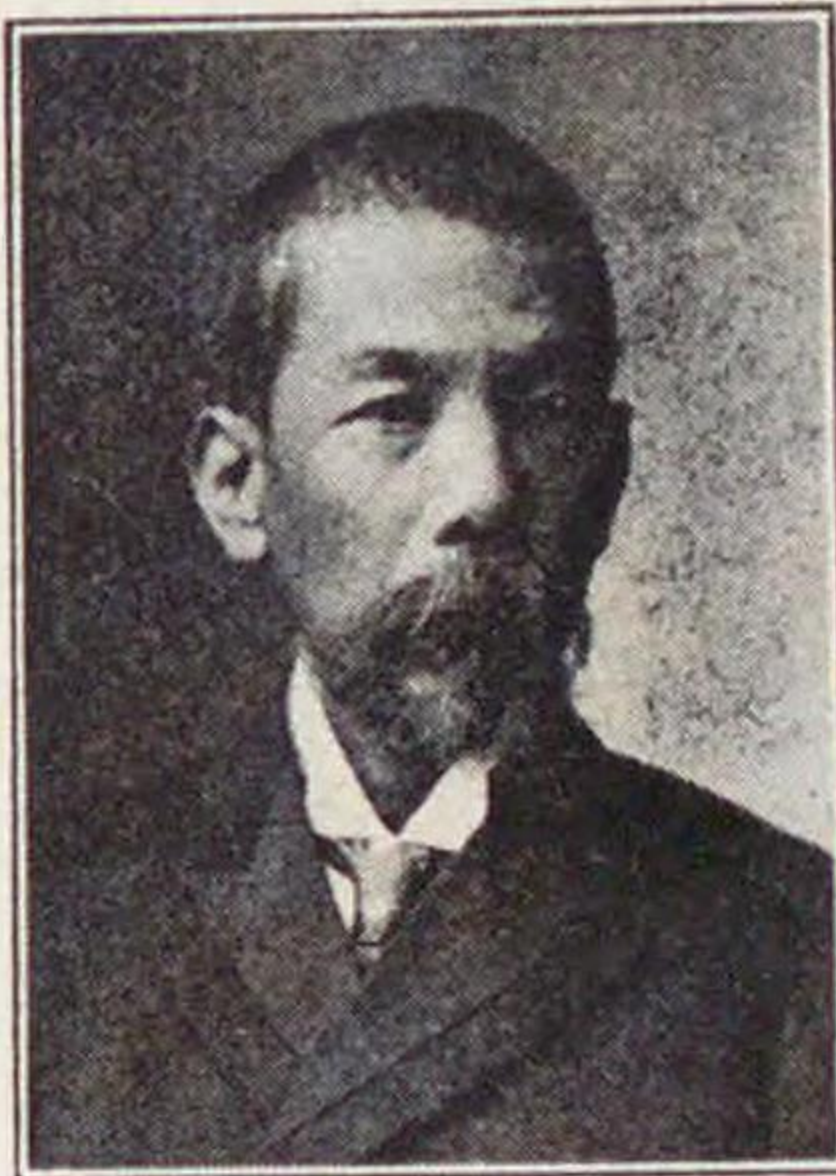
明治十七年九月豊後國速見郡豊岡町ニ生ル、上海東亞同文書院

卒業○嘗テ北京順天時報記者、盛京時報記者、朝日新聞記者、

外務省囑託タリ、現ニ奉天盛京時報副社長タリ

犬養毅

岡山縣郡部選出、立憲國民黨所屬
平民、正三位勳二等



安政二年四月備中國吉備郡庭瀨町ニ生ル、慶應義塾卒業、著書多シ○報知新聞記者、朝野新聞記者ト爲ル、東洋經濟雜誌ヲ發刊ス、東京府會議員、同常置委員ニ舉ケラル、又統計權少書記官ト爲リ後文部大臣ニ任セララル、現ニ臨時外交調査委員會委員被仰付特ニ國務大臣ノ禮遇ヲ賜ハル○明治三十七八年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜旭日小綬章、大正三年六月第一帝國議會以來議員ノ職ニ在リ其功カラス依テ被叙勳三等賜瑞寶章、大正四年十一月被叙勳二等賜瑞寶章、大正三四年事件ノ功ニ依リ賜旭日重光章○衆議院議員ニ當選スルコト十三回

犬飼源太郎

岡山縣郡部選出、立憲國民黨所屬
平民、勳四等、商



明治二年八月生ル、明治大學卒業○花筵製造輸出業ヲ經營ス、

現ニ岡山縣花筵同業組合長タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被

叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト三回

磯部尙

東京府東京市選出、立憲政友會所屬
士族、辯護士



明治八年十一月越前國福井市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒

業○曩ニ臺灣及支那ニ視察セリ、多年辯護士業ニ從事ス

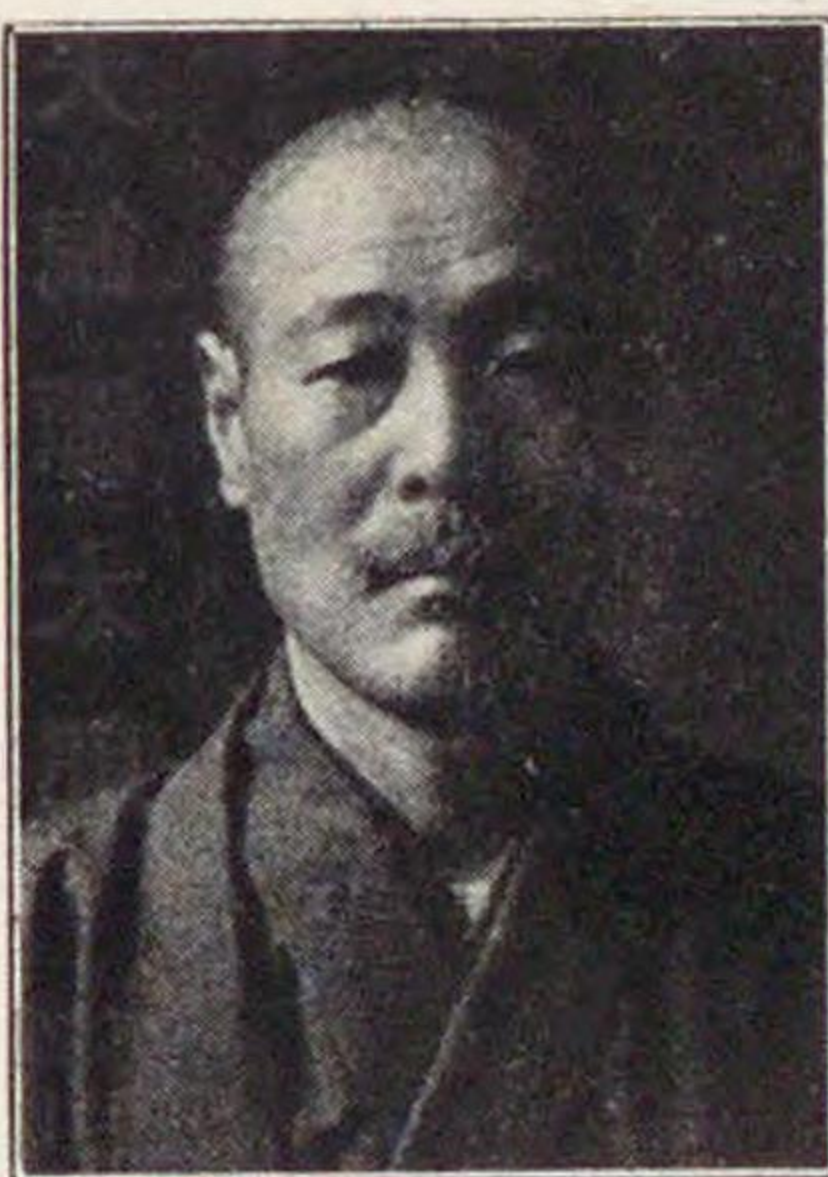
磯貝浩

愛知縣名古屋市選出、憲政會所屬
平民、勳四等、商



磯野敬

千葉縣選出、立憲政友會所屬
平民、林業



生田和平

德島縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、製絲業



今井嘉幸

大阪府大阪市選出
平民、正七位、法學博士、辯護士



元治元年八月三河國碧海郡大濱村ニ生ル○屢々縣會議員、同參事會員、市會議員、同參事會員ニ舉ケラル、現ニ海產業ニ從事シ諸會社銀行ノ重役タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト二回

明治元年五月上總國夷隅郡總野村ニ生ル、慶應義塾大學部理財科卒業○造林業ニ從事ス又日新護謨株式會社取締役ト爲ル○衆議院議員ニ當選スルコト二回

明治十年阿波國名西郡石井村ニ生ル○生絲製造業ニ從事ス、又阿南鐵道株式會社々長、釵山製藥株式會社々長、德島縣繭絲同業組合長ニ舉ケラル

明治十一年五月伊豫國周桑郡小松町ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○陸軍歩兵少尉ニ任セラル、東京地方裁判所判事ニ任セラレ明治四十一年帶官ノ儘支那政府ノ招聘ニ依リ天津北洋法政學堂ニ於テ司法制度ノ教育ニ從事シ大正三年任期滿チ歸朝ス後判事ヲ辭シ雲南軍政府ノ招聘ニ應シ中華民國軍務院顧問タリ現ニ辯護士業ニ從事ス

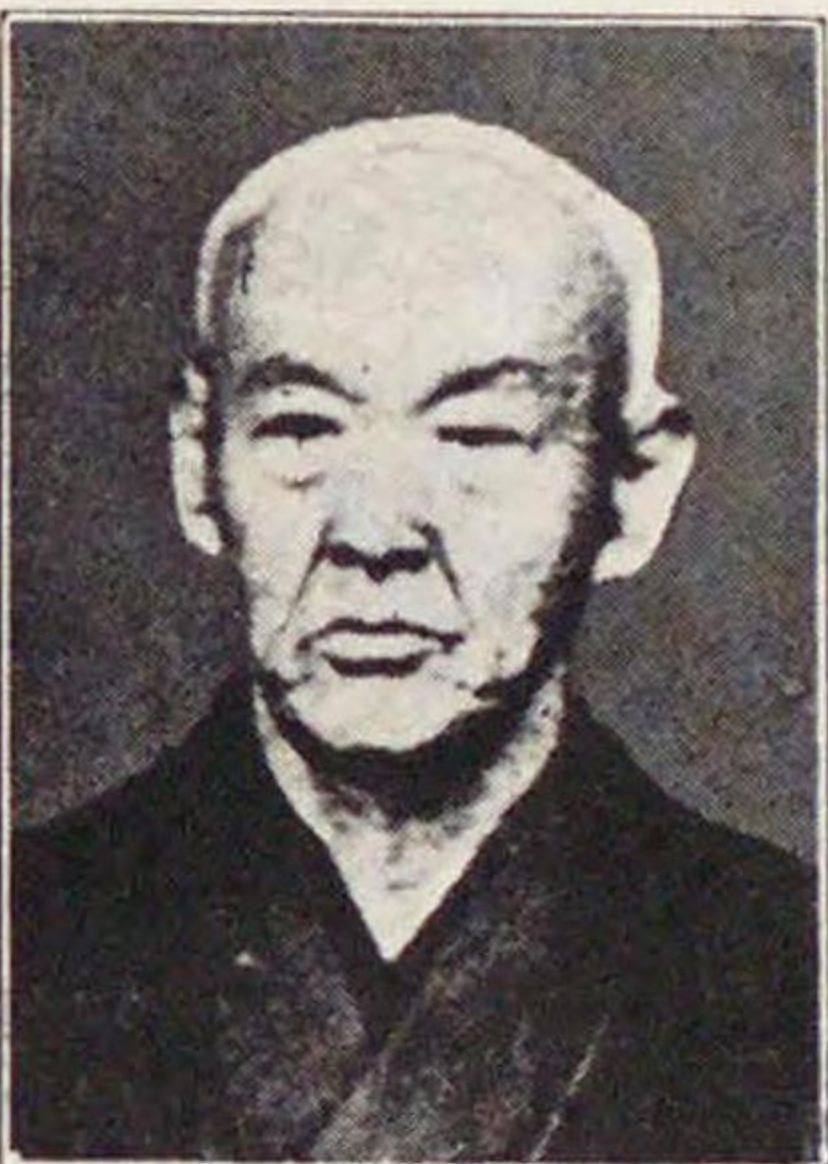
今井 今助

群馬縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、勳七等、會社重役



今村 勤三

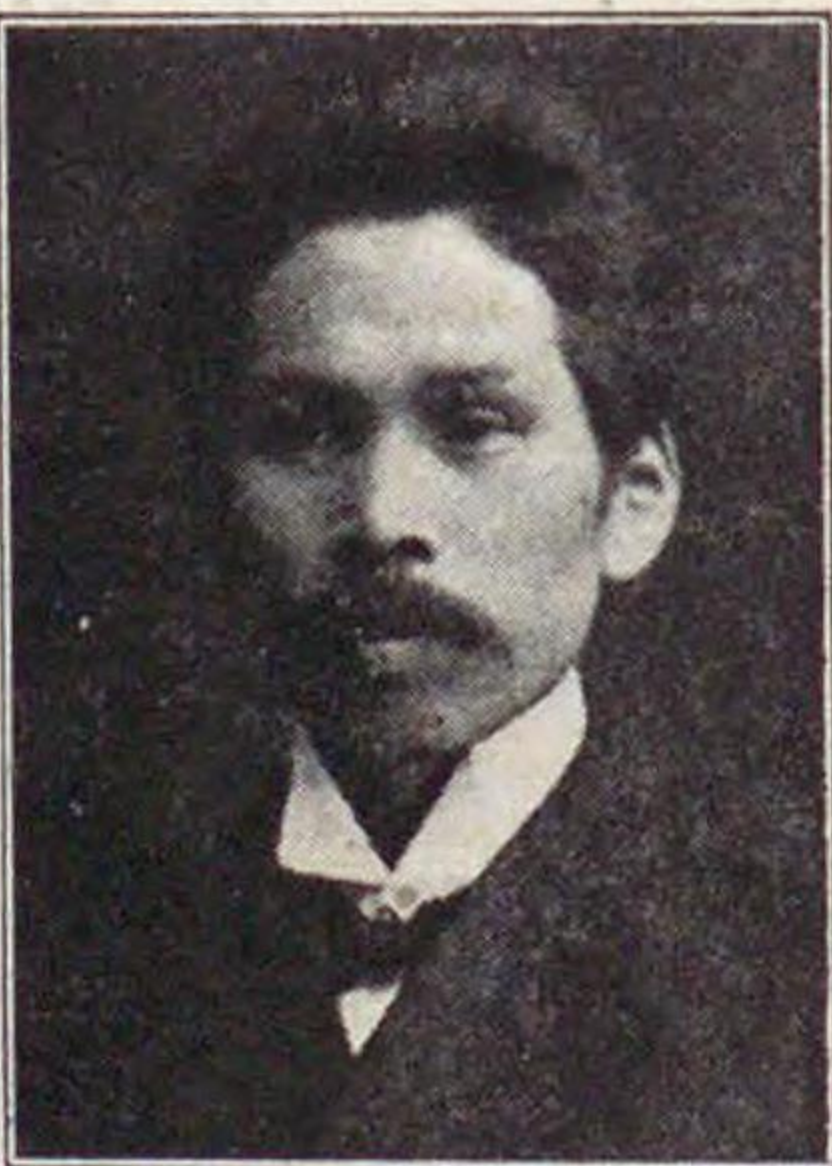
奈良縣郡部選出、立憲國民黨所屬
平民、農



嘉永五年二月生ル○衆議院議員ニ當選スルコト二回

今村 七平

福井縣郡部選出、憲政會所屬
平民、勳四等、農、會社重役



文久二年十二月越前國南條郡南日野村ニ生ル○曩ニ福井北日本新聞ヲ發刊シ現ニ株式會社福井新聞社專務取締役タリ又曾テ郡會議員、同議長、縣會議員、同參事會員、福井農工銀行取締役、第九十一銀行取締役頭取、其他數多會社ノ重役タリ、朝鮮、支那臺灣ヲ視察セリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト二回

池田 龜治

秋田縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、農兼銀行重役



慶應三年六月羽後國仙北郡刈和野町ニ生ル、漢學及國學ヲ修ム
○町會議員、郡會議員、縣會議員、縣參事會員ニ選ハル、農業ノ傍ラ合名會社池田銀行ヲ經營ス

石射文五郎

福島縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、農、鑛業



文久二年十二月磐城國西白河郡川崎村ニ生ル、英漢數學習得○
福島縣會議員、同常置委員ニ選ハル、農及鑛業ヲ營ム

石原正太郎

富山縣郡部選出、新政會所屬
平民、農



明治十一年二月越中國婦負郡百塚村ニ生ル、東京高等商業學校
卒業○現ニ四ツ屋合資會社々長、立山水力電氣株式會社、北海
曹達株式會社等ノ各取締役タリ、大正七年九月浦鹽派遣軍慰問
ノ爲メ西比利亞ニ派遣セラル

石川玄三

栃木縣郡部選出、清和俱樂部所屬
平民、從七位勳六等、農



慶應三年五月下野國河内郡豐郷村ニ生ル、和佛法律學校ニ學フ
○曩ニ一年志願兵トシテ入營、歩兵少尉、同中尉ニ任セラル日
清戰役ニ從軍セリ、又縣會議員、同參事會員、同副議長タリ

石川又八

佐賀縣郡部選出、憲政會所屬
士族、從七位勳六等功五級、農



明治十年六月肥前國佐賀郡久保田村ニ生ル、大阪市高等商業學
校ニ學フ○曩ニ陸軍歩兵中尉ニ任セラル日露戰役ニ從軍セリ、
又佐賀縣會議員タリ、明治三十六年以來佐賀郡會議員ニ選マレ
現ニ其任ニ在リ其他佐賀縣農工銀行、川上軌道會社、南洋貿易
會社ノ各取締役タリ

石田 孝吉

鳥根縣郡部選出、憲政會所屬
平民、勳三等、農



明治五年二月石見國通摩郡波積村ニ生ル、慶應義塾卒業○郡會議員、同議長、鳥根縣會議員ニ選ハル又株式會社石見銀行頭取ニ舉ケラル○明治三十七八年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜旭日小綬章、大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳三等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト六回

生原 忠右衛門

山梨縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、會社重役



明治元年二月甲斐國東山梨郡春日居村ニ生ル、村會議員、郡會議員、縣會議員ニ選ハル又所得稅調查委員ニ舉ケラル現ニ第十銀行取締役タリ

鳩山 一郎

東京府東京市選出、立憲政友會所屬
士族、勳四等、辯護士



明治十六年一月東京市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○現ニ東京市會議員タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト二回

八田 宗吉

福島縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、正七位勳五等、農



明治七年十月岩代國河沼郡日橋村ニ生ル○曩ニ陸軍歩兵大尉ニ任セラル、又村長、郡會議員、同參事會員、福島縣會議員、同參事會員、同縣河川道路調査會員、同縣地方森林會議員ト爲ル又會津育英會理事ニ舉ケラル

秦 豊 助

埼玉縣選出、立憲政友會所屬
平民、從四位勳四等



花 井 卓 藏

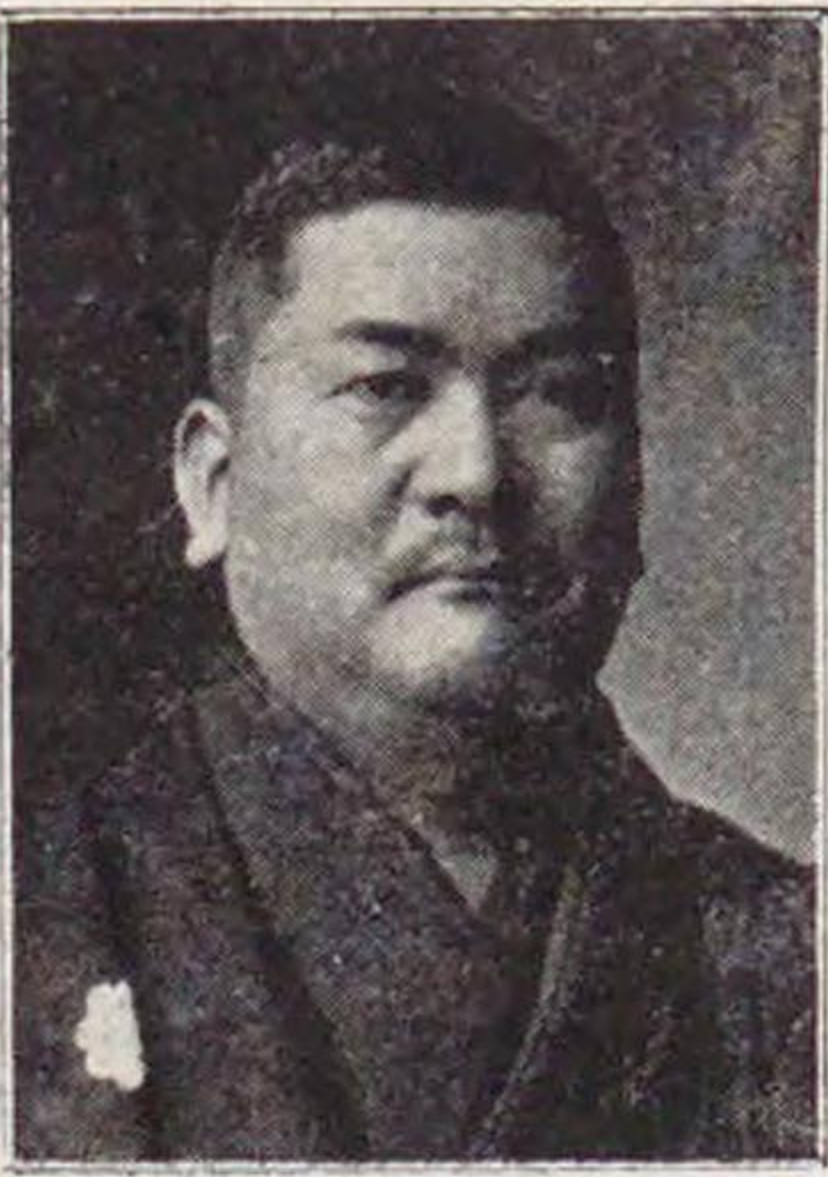
廣島縣郡部選出
平民、勳三等 法學博士、辯護士



明治元年六月備後國御調郡三原町ニ生ル、英吉利法律學校及東京法學院大學部卒業、刑法綜論、刑法俗論、人生ト犯罪其他數多ノ著書アリ○曾テ東京辯護士會常議員、同會々長ニ選マル又日本辯護士協會理事タリ、教育調查會員被仰付現ニ中央大學講師、法律取調委員會長タリ○明治三十七八年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜旭日小綬章、大正二年三月法律取調委員會員奉シ勳勞勲カヲサリニ依リ被叙勳三等賜瑞寶章、大正三年事件ノ功ニ依リ賜旭日中綬章○衆議院議員ニ當選スルコト七回、曩ニ衆議院副議長タリ

原 脩 次 郎

茨城縣郡部選出、憲政會所屬
平民、正七位勳四等、會社重役



明治四年五月丹波國何鹿郡綾部町ニ生ル、中央大學ニ學フ○臺南縣辨務署長、臺灣土地調查局事務官、臺灣總督府警視ニ歷任ス現ニ鹽水港製糖拓殖株式會社監查役、朝鮮皮革株式會社監查役タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト三回

原 敬

巖手縣盛岡市選出、立憲政友會所屬
平民、正三位勳一等、官吏



安政三年二月生ル、司法省法律學校ニ學フ○報知新聞記者、大阪毎日新聞社長トナル、又外務省通商局長、特命全權公使、外務次官、遞信大臣、内務大臣、鐵道院總裁等ニ歷任セリ、濟生會副會長、國勢調查準備委員會會長、臨時外交調查委員會委員被仰付特ニ國務大臣ノ禮遇ヲ賜ハル、現ニ内閣總理大臣兼司法大臣タリ○明治三十七八年事件ノ功ニ依リ被叙勳二等賜瑞寶章、大正三年四月被叙勳一等賜旭日大綬章、大正三四年事件ノ功ニ依リ賜金千五百圓○衆議院議員ニ當選スルコト七回

第二編 現在議員ノ履歷(はノ部)

原田十衛

熊本縣郡部選出、立憲政友會所屬
士族、正六位勳四等



文久元年十二月生ル○自由通信社主筆タリ又文部大臣秘書官、
司法大臣秘書官、大藏大臣秘書官ニ任セラル、曩ニ東京市助役
タリ、東京市區改正委員會委員、日本大博覽會理事官タリ○大
正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當
選スルコト四回

早速整爾

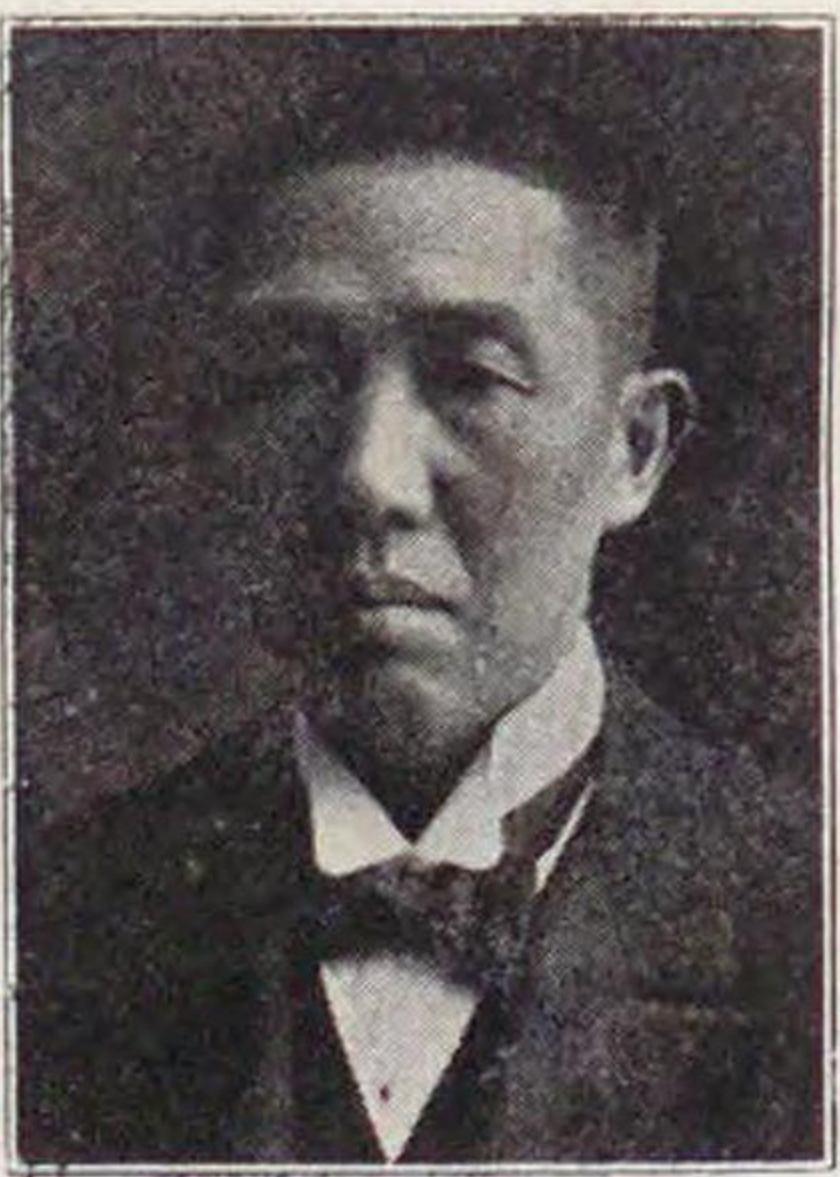
廣島縣廣島市選出、憲政會所屬
平民、正五位勳三等



明治元年十月安藝國安佐郡三篠村ニ生ル、早稻田大學卒業○市
會議員、同議長、縣會議員、同副議長、商業會議所議員、同會
頭、生産調査會委員、官業整理調査委員、經濟調査會委員、藝
備日日新聞社長、山口瓦斯會社長、廣島電氣會社、日清燐火會
社各取締役ト爲ル又海軍省參政官ニ任セラル○明治三十七八年
事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜旭日小綬章、大正三四年事件ノ功
ニ依リ被叙勳三等賜旭日中綬章及金千百圓○衆議院議員ニ當選
スルコト六回、曩ニ衆議院副議長タリ

林平四郎

山口縣下關市選出、新政會所屬
平民、勳四等、醬油釀造業



安政四年十一月下關市ニ生ル○曾テ山口縣會議員、下關市會議
員、同參事會員、商業會議所議員、同會頭等ニ選マル、現ニ關
門汽船株式會社、朝鮮勸農株式會社、長州鐵道株式會社、下關
米取引所等ノ各重役タリ又醬油、生蠟、油類ノ製造業ヲ營ム○
大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章、○衆議院議員
ニ當選スルコト二回

林毅陸

香川縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、勳四等、大學教授

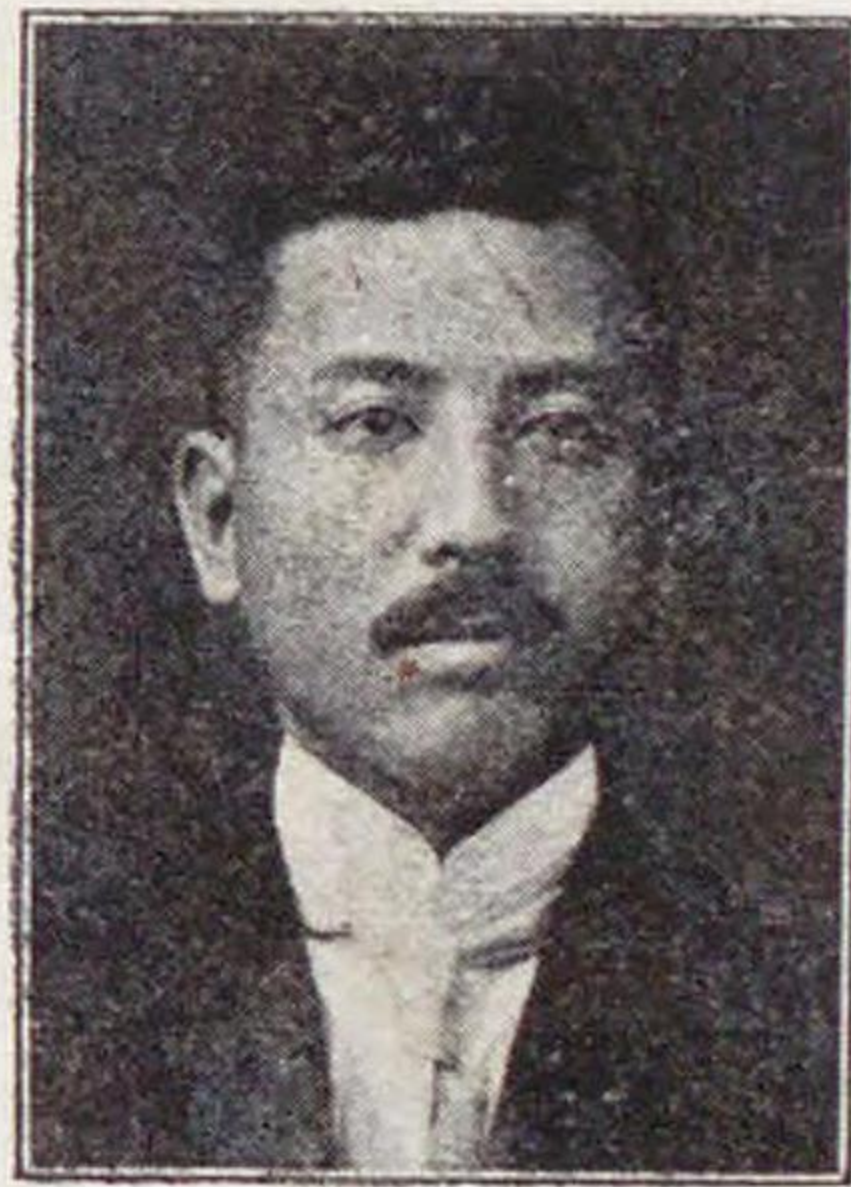


明治五年五月肥前國東松浦郡入野村ニ生ル、慶應義塾卒業、後
歐洲ニ留學シ主トシテ佛國ニ於テ外交史ヲ研究ス○現ニ慶應義
塾大學教授、東京高等商業學校講師タリ○大正三四年事件ノ功
ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト三回

林 爲 良

鹿兒島縣大島選出、立憲政友會所屬
士族、正八位、會社重役

百二十



明治十七年一月大隅國大島郡東天城村ニ生ル、早稻田大學商科
卒業○陸軍三等主計ニ任セラル又所得稅調查委員、相續稅審査
委員ヲ命セラル、現ニ農ヲ營ミ兼テ大島郡電氣株式會社取締役
タリ

萩 亮

鹿兒島縣郡部選出、立憲政友會所屬
士族、從五位勳五等、農



元治元年四月薩摩國薩摩郡樋脇村ニ生ル、明治法律學校卒業○
檢事ニ任セラレ鹿兒島、久留米、佐賀、宮崎、熊本等ノ各裁判
所ニ歷任シ後山形縣警察部長、青森縣、和歌山縣ノ各内務部長
ニ補セラル

橋 本 喜 造

長崎縣郡部選出、憲政會所屬
平民、海運業



明治五年十月長崎市ニ生ル、長崎外國語學校及商業學校ニ學フ
後海外ニ遊學スルコト數年○曩ニ縣會議員トナリ現ニ市會議員
タリ、又橋本汽船株式會社々長、朝鮮橋本合名會社代表社員、
橋本商事株式會社專務取締役、佐賀紡績株式會社、朝鮮黑石嶺
黑鉛株式會社各社長、大正窯業株式會社、日本海運株式會社各
取締役、其他銀行會社等ノ顧問タリ、其外遠洋航船ヲ有シ又造
船所ヲ設置經營ス

橋 本 太 吉

廣島縣尾道市選出
平民、勳四等、醸造業



明治五年六月尾道市ニ生ル、慶應義塾卒業○市會議員ニ舉ケラ
ル又尾道米鹽肥料取引所理事、尾道電燈株式會社々長タリ○大
正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當
選スルコト四回

第二編 現在議員ノ履歷(はノ部)

百二十一

半谷清壽

福島縣郡部選出、憲政會所屬
平民、勳四等、農



安政五年十一月磐城國相馬郡小高町ニ生ル○絹織物業並農業ニ
従事ス○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議
院議員ニ當選スルコト三回

西英太郎

佐賀縣郡部選出、憲政會所屬
士族、勳四等、銀行重役



元治元年九月肥前國小城郡多久村ニ生ル○郡會議員、縣會議員
同常置委員、同參事會員ニ舉ケラル又佐賀縣農工銀行頭取、肥
前電氣軌道株式會社取締役タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被
叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト三回

西川太治郎

滋賀縣大津市選出、憲政會所屬
平民、勳四等、新聞社長



元治元年五月近江國東淺井郡大郷村ニ生ル、東京專門學校政治
科卒業○曩ニ山梨日々、東京新報、大阪朝日新聞各記者タリ、
又大津市參事會員、大津商業會議所議員、同會頭、同會議所特
別議員、滋賀縣會議員、大津市長等ニ選ハル曾テ農商務省ノ囑
託ヲ兼ネ清國ヲ視察スルコト二回、現ニ近江新報社長タリ○大
正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當
選スルコト二回

西村正則

石川縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、勳四等、農



慶應二年四月加賀國石川郡出城村ニ生ル○曩ニ石川縣會議員、
縣參事會員タリ、現ニ帝國農會議員タリ○大正三四年事件ノ功
ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト三回

西村丹治郎

岡山縣郡部選出、立憲國民黨所屬
平民、勳三等



慶應二年十月岡山縣吉備郡秦村ニ生ル、東京專門學校卒業、後
歐米ニ遊學シ政治經濟學ヲ修ム○新聞記者タルコト數年、列國
議會同盟會議ニ參列ス、臨時國民經濟調查會委員被仰付○明治
三十七八年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜旭日小綬章、大正三四
年事件ノ功ニ依リ被叙勳三等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スル
コト七回

西村種禮

鹿兒島縣郡部選出、立憲政友會所屬
士族、農



明治二年十月薩摩國出水郡阿久根村ニ生ル、慶應義塾大學ニ學
フ○阿久根村長、鹿兒島縣會議員、同參事會員、同副議長ニ舉
ケラル、又地方森林會議員ヲ命セラル、農業ノ傍漁業ヲ營ム

堀尾茂助

愛知縣郡部選出、清和俱樂部所屬
平民、農



文久元年九月尾張國東春日井郡篠木村ニ生ル、劍法及漢學ヲ學
フ○郡會議員、郡會議長、郡農會長、愛知縣會議員、縣參事會
員、尾張葉煙草聯合組合長、米價調節調查會委員等ニ舉ケラル
現ニ村農會長、縣農會副會長、尾三信用組合聯合會長、愛知縣
山林會副會頭、小牧銀行取締役タリ、臨時國民經濟調查會委員
被仰付○衆議院議員ニ當選スルコト三回

堀川美哉

三重縣郡部選出、立憲國民黨所屬
平民、正八位



明治十六年五月伊賀國名賀郡比奈知村ニ生ル、早稻田大學政治
經濟科卒業、後米國「コロンビヤ」大學及英國倫敦大學ニ留學ス
○曩ニ一年志願兵トシテ入營陸軍三等主計ニ任セラル、又東京
日日新聞記者タリ、大正七年九月浦鹽派遣軍慰問ノ爲メ西比利
亞ニ派遣セララル

堀切善兵衛

福島縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、從五位勳四等、大學教授、官吏



本田恒之

長崎縣郡部選出、憲政會所屬
平民、勳四等、辯護士

明治十五年五月岩代國信夫郡飯坂町ニ生ル、慶應義塾卒業後米國、英國及獨逸ニ留學シ主トシテ經濟財政學ヲ研究ス○時事新報記者ト爲ル又列國議會同盟會議ニ列席ス現ニ慶應義塾大學教授、官有財産調査會委員、大藏大臣祕書官タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト三回



本間三郎

群馬縣郡部選出、憲政會所屬
士族、勳四等、農



安政六年三月上野國佐波郡赤堀村ニ生ル、傳來ノ念流劍術ヲ修ム、○村會議員、郡會議員、同參事會員ニ舉ケラル、大日本武德會劍道教士、群馬縣伊勢崎警察署、群馬縣立工業學校劍道授囑託タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト二回

戸井嘉作

神奈川縣郡部選出、憲政會所屬
平民、勳四等、會社重役



文久二年一月甲斐國西山梨郡山城村ニ生ル、國學漢學ヲ修ム、横濱市會議員、市參事會員ニ舉ケラレ現ニ其職ニ在リ又横濱商品倉庫會社ヲ創立シテ其重役トナリ、株式會社横濱可鍛鐵製作所ヲ創立シテ專務取締役タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト二回

戸狩權之助

山形縣山形市選出、立憲政友會所屬
士族、勳四等



嘉永六年三月米澤市ニ生ル、○市會議員、同議長、山形縣會議員、同參事會員ニ舉ケラル、山形運輸株式會社專務取締役、山形商業會議所會頭、山形米穀生絲株式取引所理事長ニ選ハル、衆議院議員選舉法改正調査會委員被仰付○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト六回

戸水寬人

石川縣郡部選出、立憲政友會所屬
士族、從四位勳四等、法學博士、辯護士



文久元年六月金澤市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業、後歐洲ニ留學シ英國倫敦「ミッドル、テムブル」ニ於テ「パリストルアトロー」ノ學位ヲ受ク○判事ニ任セラル、後東京帝國大學法科大學教授ニ任セラル○大正三四年事件ノ功ニ依リ賜旭日小綬章○衆議院議員ニ當選スルコト四回

土井權大

兵庫縣郡部選出、立憲國民黨所屬
平民、會社重役



明治十二年十一月播磨國揖保郡石海村ニ生ル、早稻田大學英語政治科卒業○兵庫縣會議員ニ舉ケラル、又海外移民業ニ從事シ明治四十二年ヨリ南米「ブラジル」ニ對スル移民業ヲ開始ス現ニ石海産業組合長、播州素麵同業組合副組長タリ

床次竹二郎

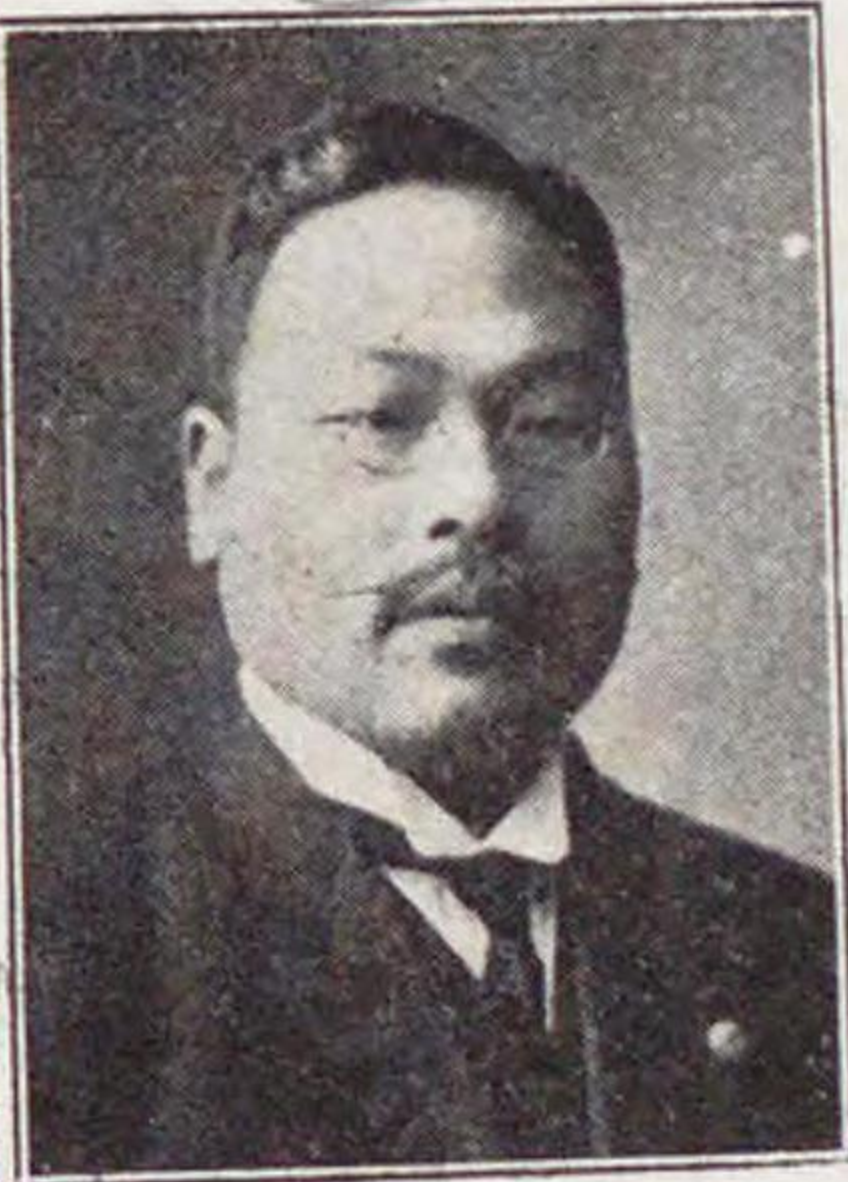
鹿兒島縣鹿兒島市選出、立憲政友會所屬
士族、正四位勳二等、官吏



慶應二年十二月鹿兒島市ニ生ル、東京帝國大學政治科卒業○大藏書記官、府縣警部長、書記官、知事、内務省地方局長、内務次官、鐵道院總裁等ニ歷任セリ、衆議院議員選舉法改正調査會委員被仰付、現ニ内務大臣兼鐵道院總裁タリ○大正三年六月被叙勳二等賜瑞寶章、大正三四年事件ノ功ニ依リ賜旭日重光章○衆議院議員ニ當選スルコト三回

富田幸次郎

高知縣郡部選出、憲政會所屬
平民、勳四、等會社重役



明治五年十月土佐國安藝郡川北村ニ生ル○曩ニ清韓ニ歷遊セリ
高知新聞ヲ創刊シ其社長タリ、現ニ日本高速度鋼株式會社々長
タリ、衆議院議員選舉法改正調査會委員被仰付○大正三四年事
件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト
四回

富島暢夫

廣島縣郡部選出、清和俱樂部所屬
平民、從七位勳四等、辯護士



文久二年十一月吳市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○大阪
始審裁判所判事、松江地方裁判所判事、橫濱地方裁判所判事ニ
歷任ス、廣島市會議員、同市會議長、廣島辯護士會長タリ、現ニ
廣島瓦斯電軌株式會社監査役タリ○明治三十七八年事件ノ功ニ
依リ被叙勳四等賜旭日小綬章○衆議院議員ニ當選スルコト五回

友枝梅次郎

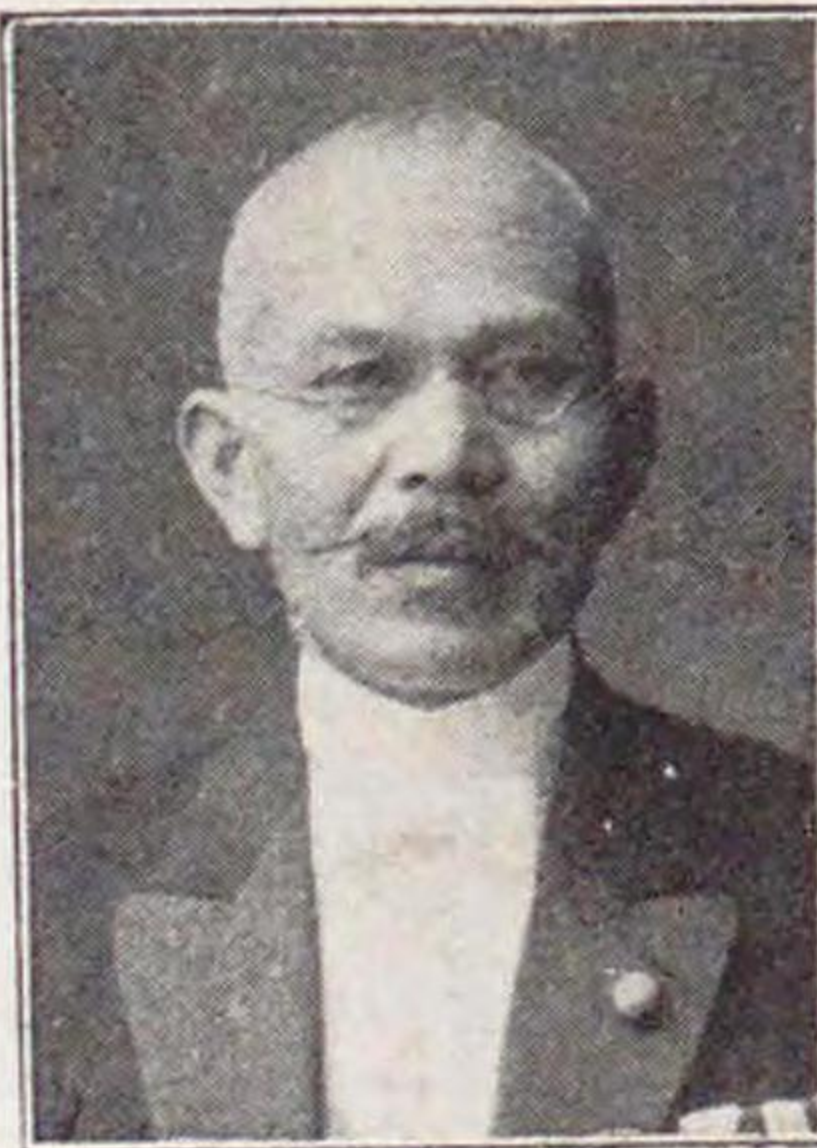
福岡縣小倉市選出、立憲政友會所屬
平民、勳四等、鑛業



萬延元年二月豐前國筑上郡八屋村ニ生ル、漢學英學ヲ學フ○村
會議員、筑豐鑛業組合會常議員ニ舉ケラル、筑豐炭鑛株式會社
取締役ト爲ル、現ニ小倉鐵道株式會社取締役、宇ノ島鐵道株式
會社取締役タリ、又炭山三、銅山一、金山一ヶ所ヲ採掘經營セ
リ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議
員ニ當選スルコト二回

陣軍吉

宮崎縣選出、立憲政友會所屬
士族、從六位勳六等、鑛業



明治二年二月日向國西諸縣郡小林町ニ生ル○宮崎縣警視ニ任セ
ラレ在官ノ儘韓國政府ノ招聘ニ應シ黃海道、咸鏡北道ノ各警察
部長ニ補セララル、後靜岡縣磐田郡長、大分縣大野郡長ニ任セラ
ル、現ニ大分縣馬上金山鑛業所重役、高嶺金山鑛業所經理部長
タリ

小川郷太郎

京都府京都市選出、新政會所屬
平民、從五位、法學博士、大學教授



明治九年六月備中國淺口郡里庄村ニ生ル、東京帝國大學法科大
學卒業○京都商業會議所特別議員ニ舉ケラル、曩ニカーネギー
平和財團ノ歴史經濟部ノ萬國會議ニ再度列席ス、高等試験臨時
委員被仰付、現ニ京都帝國大學法科大学教授兼第三高等學校講
師タリ

小川寅六

長崎縣長崎市選出
平民、辯護士



慶應二年六月長崎市ニ生ル、東京專門學校卒業後、米人ニ就キ
英學ヲ修ム○長崎縣教育會評議員ニ選ハル又破産管財人ヲ命セ
ラル、辯護士ノ登録ハ之アルモ其職ヲ執ラス專ラ松尾鐵工場相
談役トシテ現ニ其業務ニ從事ス

小川平吉

長野縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、勳三等、辯護士



明治二年信濃國諏訪郡富士見村ニ生ル、東京帝國大學法科大学
卒業○多年辯護士業ニ從事ス、東洋拓殖株式會社設立委員、日英
博覽會評議員、法律取調委員會委員、衆議院議員選舉法改正調査
會委員被仰付、又列國議會同盟會議ニ參列セリ○明治三十七八
年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜旭日小綬章、大正三四年事件ノ
功ニ依リ被叙勳三等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト六回

小川藏次郎

島根縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、勳四等、漁業



慶應元年八月出雲國八束郡野波村ニ生ル、漢學ヲ修ム○野波村
長ト爲ル、又郡會議員、郡會議長、島根縣會議員、同參事會員
水産同業組合頭取ニ舉ケラル、現ニ八束郡外海水産組合長、島
根縣水産組合聯合會副組長タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被
叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト二回

小田切 磐太郎

長野縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、從四位勳三等、辯護士



明治二年十月信濃國上高井郡須坂町ニ生ル、東京帝國大學法科

大學卒業○山形縣、沖繩縣ノ各知事ニ歷任ス

小山 溫

愛知縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、正四位勳三等、法學博士、辯護士



慶應元年八月三河國碧海郡小山村ニ生ル、東京帝國大學法科大
學法律科卒業○判事、檢事、司法省監獄局長、司法省刑事局長、
司法次官等ニ歷任セリ、現ニ錦鷄間祇候、法律取調委員、臨時
國民經濟調查會委員タリ

小山 東助

宮城縣郡部選出、憲政會所屬
平民、勳四等、新聞記者



明治十二年十一月陸前國本吉郡氣仙沼町ニ生ル、東京帝國大學
哲學科卒業○東京毎日新聞記者、早稻田大學講師、關西學院文
科長、橫濱貿易新報主筆等トナル○大正三四年事件ノ功ニ依リ
被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト二回

小山田 信藏

茨城縣水戸市選出、立憲政友會所屬
士族、勳三等、會社重役



明治三年十月生ル○太田鐵道株式會社、豆相鐵道株式會社、隅
田川倉庫株式會社各社長、水戸商業銀行頭取、北海道炭鐵株式
會社監查役ニ選ハル○明治三十七八年事件ノ功ニ依リ被叙勳四
等賜旭日小綬章、大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳三等賜瑞寶
章○衆議院議員ニ當選スルニト四回

尾崎行雄

三重縣郡部選出、憲政會所屬士族、正三位勳一等



安政六年十一月生ル、慶應義塾卒業著書多シ、統計權少書記官外務省參事官、文部大臣、司法大臣ニ歴任ス、東京市長ニ擧ケラル又新潟新聞、報知新聞、朝野新聞ノ各記者ト爲ル、日本大博覽會評議員被仰付、歐米ニ漫遊ス又列國議會同盟會議ニ參列ス○明治三十七八年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜旭日小綬章、大正三年六月第一帝國議會以來議員ノ職ニ在リ其功尠カラズ依テ被叙勳三等賜瑞寶章、大正四年六月被叙勳二等賜瑞寶章、大正五年七月被叙勳一等賜旭日大綬章及金三千五百圓○衆議院議員ニ當選スルコト十三回

尾崎元次郎

静岡縣静岡市選出、平民、正七位勳四等、商



明治三年九月静岡市ニ生ル○陸軍歩兵大尉ニ任セラル日清、日露ノ戰役ニ從軍セリ、林業及茶業ヲ經營ス○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト三回

尾崎敬義

愛媛縣松山市選出、清和俱樂部所屬士族、會社重役



明治十年七月松山市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○中日實業株式會社專務取締役、中日銀行、東洋鹽業株式會社、東洋運鑛株式會社等ノ各取締役ニ舉ケラル

尾見濱五郎

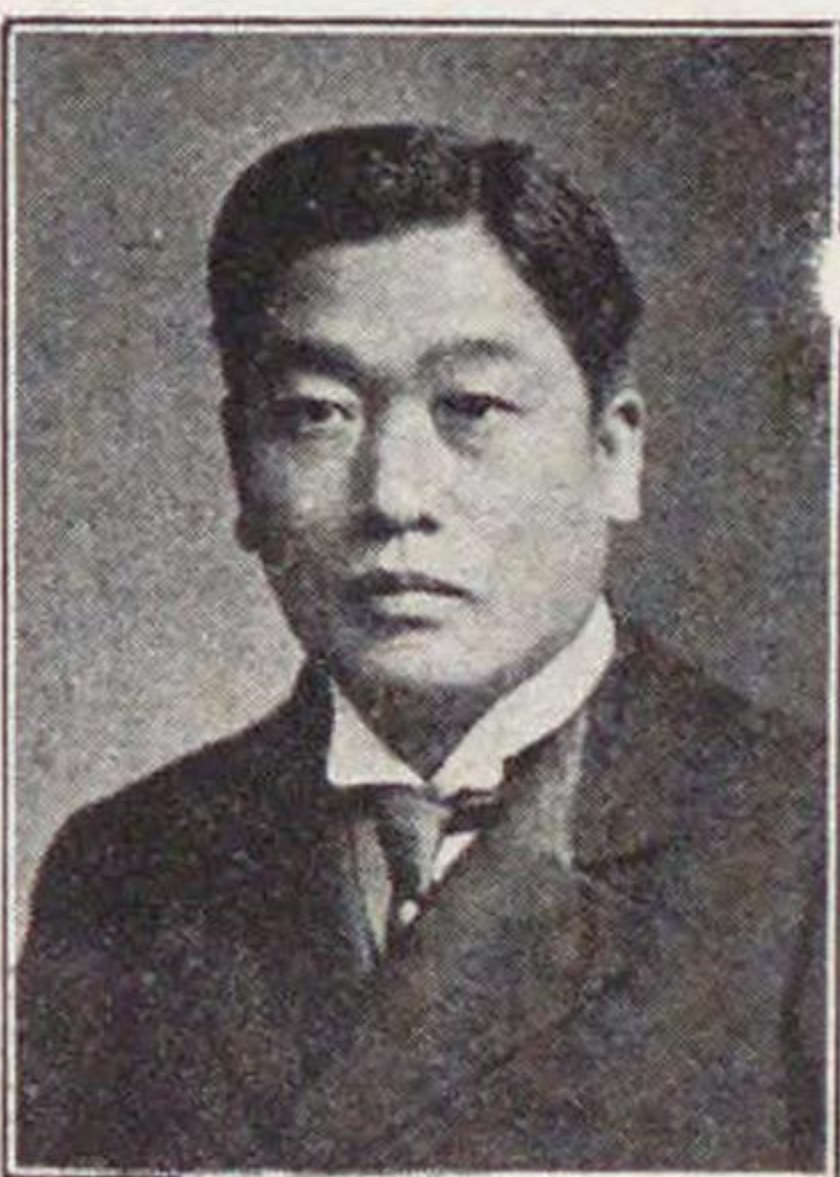
茨城縣郡部選出、立憲政友會所屬平民、勳四等、農



慶應元年五月常陸國眞壁郡村田村ニ生ル○村會議員、村長、高等小學校組合長、郡會議員、郡農會名譽會員、同郡農會長、縣農會評議員ニ選ハル○明治三十七八年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜旭日小綬章○衆議院議員ニ當選スルコト二回

大石五郎

山形縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、新聞記者



明治七年四月山形市ニ生ル、東京法學院卒業後米國ニ於テ英學
ヲ修ム○山形新聞記者、同主筆ト爲ル又東北經濟雜誌ヲ發刊ス、
現ニ山形市會議員タリ

大林森次郎

香川縣郡部選出、清和俱樂部所屬
平民、醫師



慶應三年八月讚岐國綾歌郡富熊村ニ生ル、第三高等中學校醫學
部卒業○曾テ郡會議員、郡參事會員、縣會議員、縣參事會員ニ
舉ケラル又縣醫師會副會長、縣醫師會長タリ、現ニ綾歌郡醫師
會長タリ

大堀孝

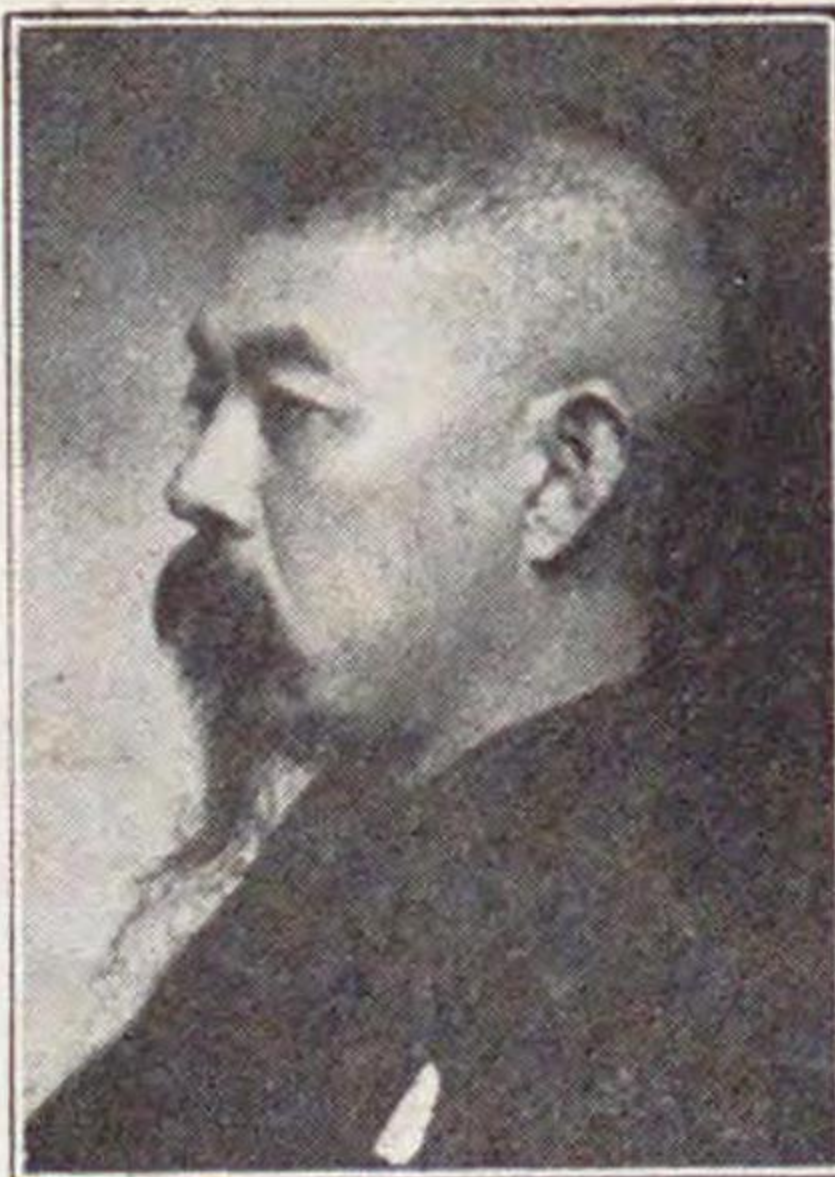
和歌山縣和歌山市選出、立憲國民黨所屬
士族、勳四等



明治十三年七月和歌山市ニ生ル、東京法學院卒業○曩ニ新聞記
者タリ又和歌山市會議員、市會副議長等ニ舉ケラル○大正三四
年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スル
コト二回

大竹貫一

新潟縣郡部選出、憲政會所屬
平民、勳三等、農



萬延元年三月生ル○新潟縣會議員、同常置委員ニ舉ケラル、議
院建築準備委員會委員被仰付○明治三十七八年事件ノ功ニ依リ
被叙勳四等賜旭日小綬章、大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳三
等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト十回

大谷高寛

熊本縣郡部選出、憲政會所屬
平民、會社重役



嘉永二年十月肥後國天草郡本渡町ニ生ル、漢學ヲ修ム○屢々熊本縣會議員ニ選マレ其間縣參事會員、同副議長、同議長等ニ舉ケラル、又曾テ關東州水産組合長ニ舉ケラル、現ニ九州汽船株式會社常務取締役タリ

大津淳一郎

茨城縣郡部選出、憲政會所屬
平民、正五位勳三等



安政三年十二月常陸國多賀郡豐浦町ニ生ル○茨城縣會議員ニ選ハル又茨城日日新聞ヲ發刊ス曩ニ大藏省副參政官、文部省參政官ニ任セララル、臺灣及支那ヲ視察セリ、現ニ臨時教育會議委員タリ○明治三十七八年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜旭日小綬章大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳三等賜旭日中綬章及金千百圓○衆議院議員ニ當選スルコト十一回

大内暢三

福岡縣郡部選出、立憲國民黨所屬
士族、勳四等、農



明治七年三月筑後國八女郡白木村ニ生ル、東京專門學校及米國「コロンビヤ」大學ニ於テ政治學及憲法學ヲ專攻ス○近衛公爵ニ隨テ歐米ニ漫遊ス、現ニ朝鮮ニ於テ農業及殖民事業ヲ經營ス○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト三回

大口喜六

愛知縣郡部選出、立憲國民黨所屬
平民、勳四等、會社重役



明治三年五月豐橋市ニ生ル、東京藥學校及東京帝國大學醫科大學藥學科選科ニ學ヒ藥劑師ト爲ル○市會議員、郡會議員、縣會議員ト爲ル、又豐橋市長ニ舉ケラル、支那及朝鮮ヲ視察セリ、現ニ東京化學工業株式會社社長、豐橋電氣株式會社取締役タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト二回

大藪房次郎

福岡縣久留米市選出、清和俱樂部所屬
平民、會社重役



嘉永五年一月久留米市ニ生ル○曩ニ久留米市會議員、市參事會
員ニ舉ケラレ又國立六十一銀行取締役、久留米紡績會社々長ト
爲ル、現ニ筑後水力電氣、大川鐵道株式會社ノ顧問タリ

大森興三次

兵庫縣姫路市選出、憲政會所屬
平民、勳四等、會社重役



安政六年一月播磨國飾磨郡花田村ニ生ル、漢學ヲ修ム○姫路市
會議員、市會議長、兵庫縣會議員、姫路市米穀取引所理事ニ舉
ケラル、現ニ姫路市米穀取引所理事長、姫路市倉庫會社取締役
タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院
議員ニ當選スルコト二回

岡部次郎

長野縣郡部選出、憲政會所屬
平民、正五位、勳四等、會社重役



元治元年二月信濃國北佐久郡春日村ニ生ル、同人社ニ學ヒ後米
國「カルホルニヤ」大學卒業、「シカゴ」大學ニ於テ「エム、エー」
ノ學位ヲ受ケ、又英獨佛ノ各大學ニ學フ○布哇王國政府ニ聘セ
ラレ、又外務省翻譯官、北海タイムス主筆ト爲ル、日露戰役ニ
從軍シテ外國通信員監督ヲ命セラレ後營口軍政署外交課長ト爲
リ營口居留民團長、同行政委員會議長タリ又日清合辦會社正隆
銀行取締役、同營口水道電氣會社監査役、滿洲新報社長ニ舉ケ
ラル、官業整理調査委員被仰付、曩ニ海軍省參政會タリ○大正
三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選
スルコト三回

岡田榮

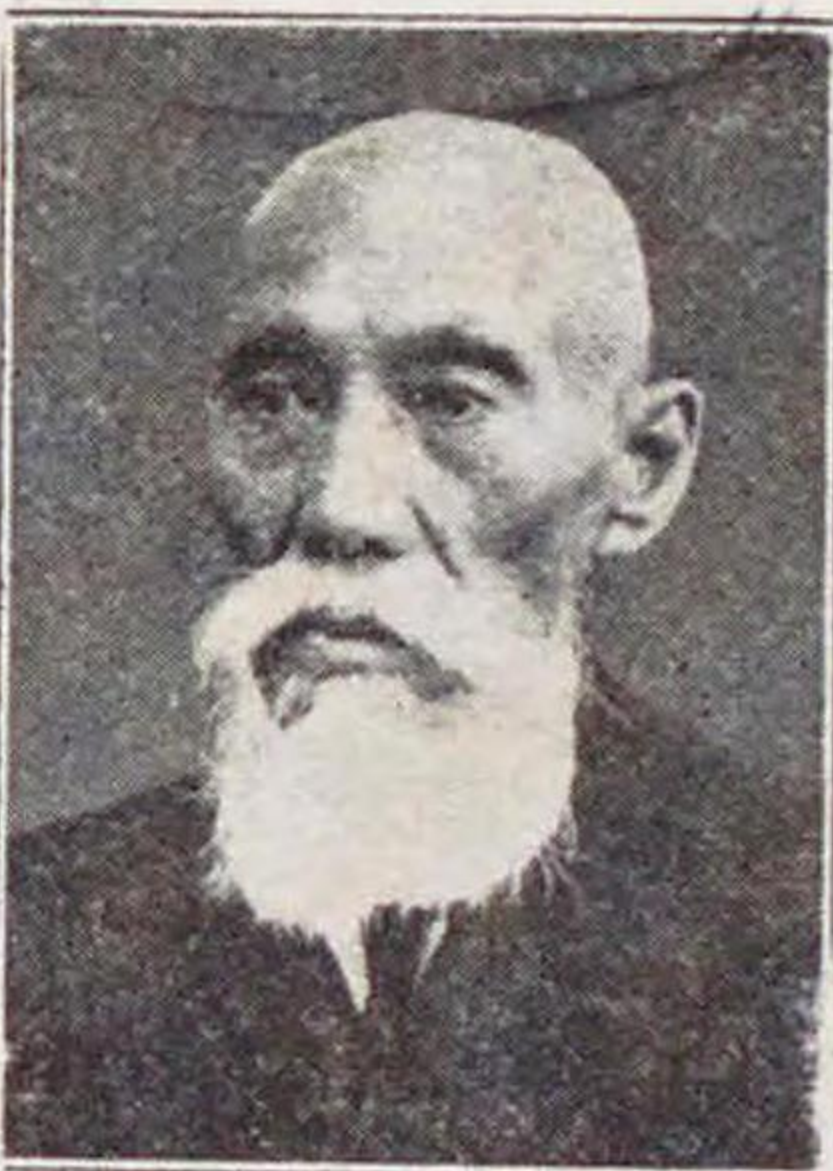
高知縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、正七位、勳四等、辯護士



明治六年一月土佐國高岡郡松葉川村ニ生ル、中央大學卒業○神
戶、大阪等ノ裁判所判事、關東都督府判官、舊韓國政府法務補
佐官ニ歷任セリ、後辭シテ辯護士事務ニ從事ス、現ニ農場ヲ經
營ス○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院
議員ニ當選スルコト二回

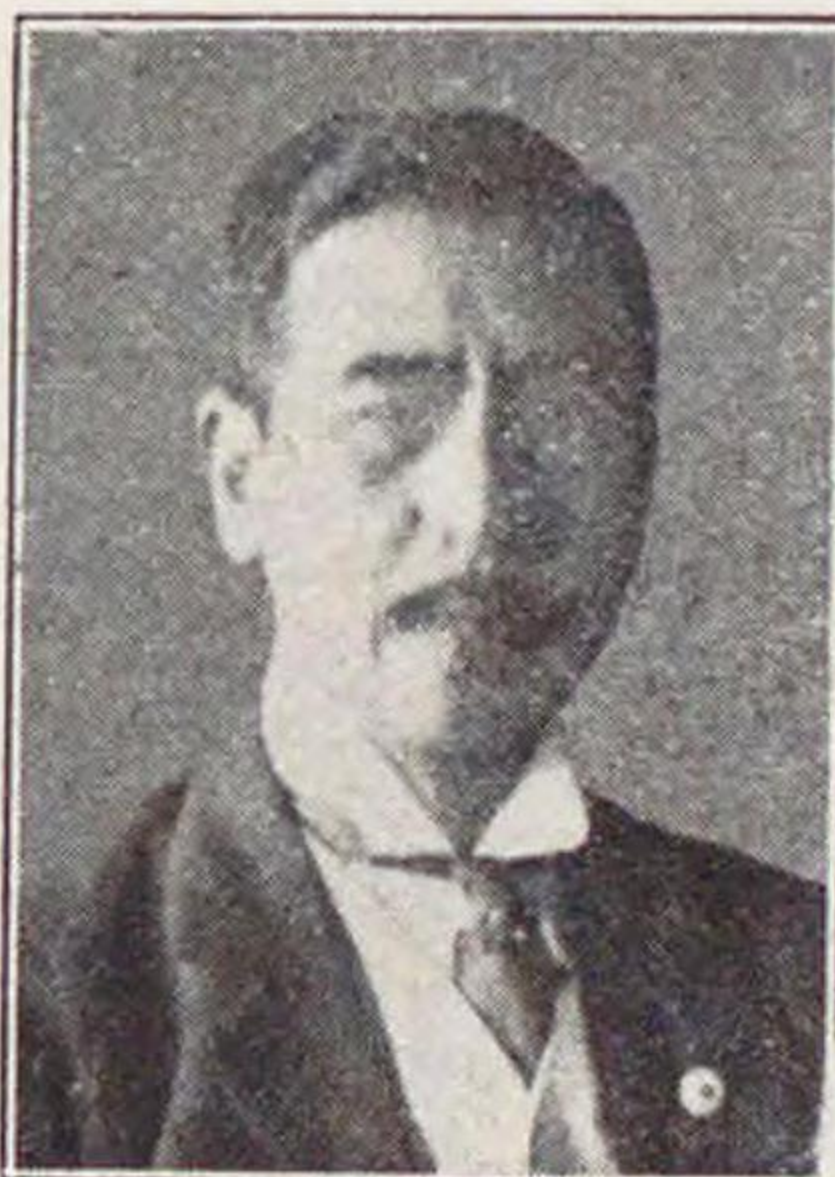
岡崎運兵衛

鳥根縣松江市選出、憲政會所屬
平民、勳四等、銀行重役



岡崎邦輔

和歌山縣郡部選出、立憲政友會所屬
士族、正五位、勳四等、會社重役



嘉永三年六月出雲國簸川郡神原村ニ生ル、曩ニ松江法律學校名譽校長タリ明治十四年貧民救済ノ目的ヲ以テ松江市ニ惠愛社ヲ起シ現ニ其社長タリ又山陰新報、松江日報ヲ發刊シ次テ松陽新報ヲ發刊シ現ニ其社長タリ曾テ鳥根縣會議員、同副議長、同議長、市會議員、同議長、商業會議所特別會員、米穀取引所理事長タリ、日本大博覽會評議員被仰付現ニ鳥根縣農工銀行頭取其他數會社銀行ノ重役タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト七回

安政元年三月和歌山市ニ生ル、米國ニ留學ス○遞信省官房長ニ任セラル又生産調査會委員、軍需評議會評議員被仰付、現ニ古河鑛業會社理事、京阪電氣鐵道株式會社取締役タリ、清韓ニ漫遊ス○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト八回

奥田龜造

鳥取縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、水産業



明治五年三月因幡國岩美郡大岩村ニ生ル、中學校卒業後特ニ皇漢學ヲ修ム○専ラ水産業ニ従事シ率先シテ「オツター、トロール」業ヲ開始ス、朝鮮海岸ニ大敷網漁場二十數ヶ所ヲ設ケ又太平洋ニ於テ鮪漁業ニ従事セリ現ニ角輪組社長タリ

奥田柳藏

鳥取縣郡部選出、憲政會所屬
平民、勳四等、農



明治元年十一月因幡國氣高郡大和村ニ生ル○郡會議員、鳥取縣會議員、因伯米輸同業組合議員ニ舉ケラル、現ニ鳥取農工銀行取締役タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト四回

奥田榮之進

鹿兒島縣郡部選出、立憲政友會所屬
士族、勳四等、會社重役



元治元年二月薩摩國日置郡串木野村ニ生ル○縣會議員、同參事
會員、同副議長、同議長ニ舉ケラル現ニ南薩鐵道株式會社及川
宮鐵道株式會社取締役タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳
四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト四回

奥村三樹之助

愛知縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、會社重役



明治八年一月尾張國愛知郡荒子村ニ生ル、東京法學院卒業○現
ニ機濱燃料株式會社、名古屋コークス株式會社、橫濱綿布染色
株式會社各取締役社長タリ、又橫濱石炭同業組合副組長ニ選ハ
ル

長田桃藏

京都府郡部選出、立憲政友會所屬
士族、公吏



明治三年八月丹後國與謝郡宮津町ニ生ル、日本法律學校卒業○
現ニ京都府久世郡淀町々長タリ

押川方義

愛媛縣郡部選出
士族、鑛業



嘉永二年十二月松山市ニ生ル、普通及高等教育ヲ受ケ○曩ニ學
校長タリシカ現今鑛業ニ從事セリ

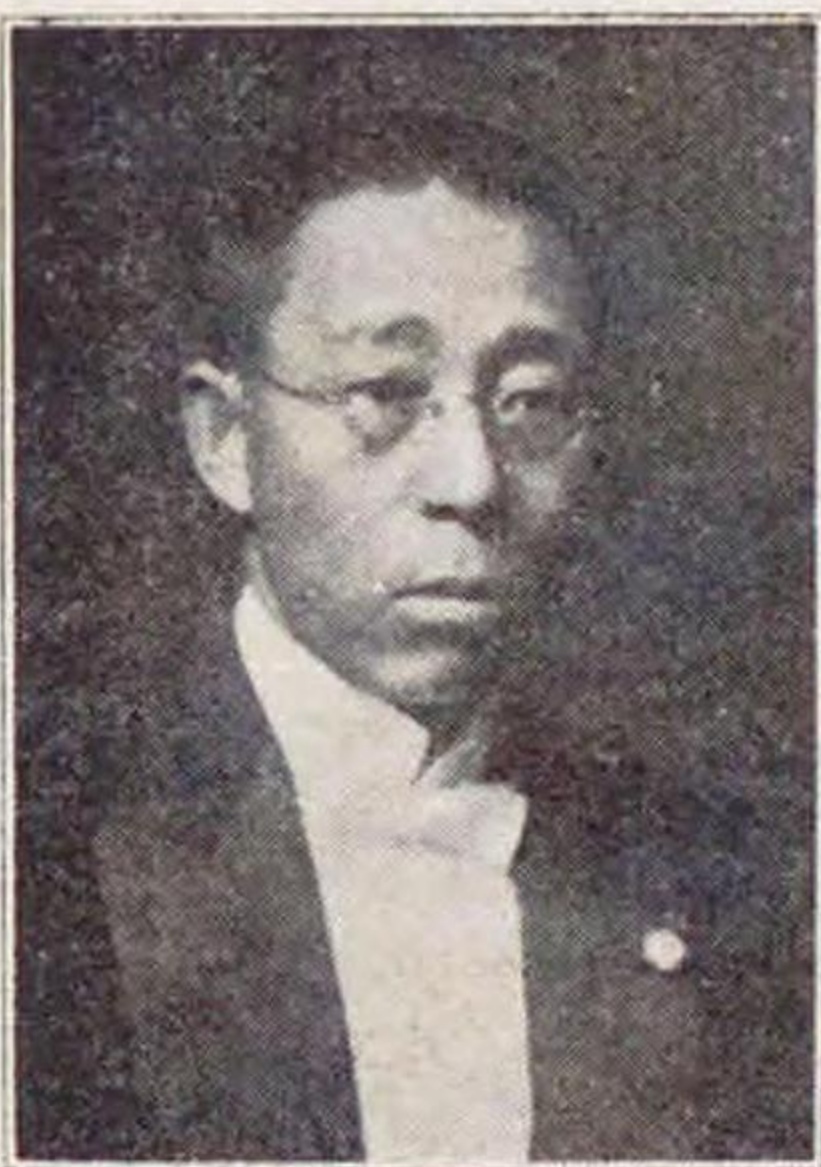
若尾 幾造

神奈川縣橫濱市選出、立憲政友會所屬
平民、正六位勳四等、商



若尾 璋八

山梨縣甲府市選出、清和俱樂部所屬
平民、會社重役

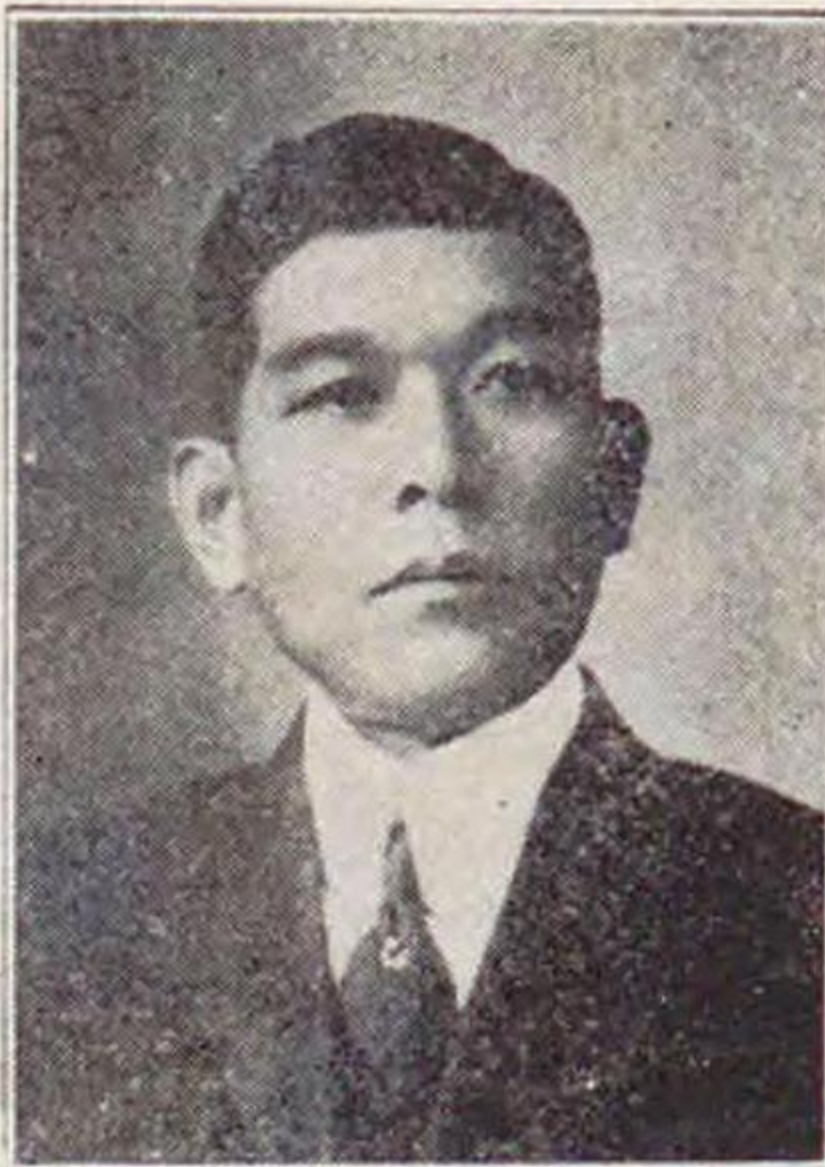


安政四年十二月甲斐國中巨摩郡在家塚村ニ生ル○貴族院議員ニ
任セラル、又横濱市參事會員、同市瓦斯局長タリ、生絲院議員ニ
商議員、東京拓殖會社設立委員被仰付、又横濱商業會議所常議
員、神奈川縣蠶絲貿易商同業組合頭長、横濱蠶絲外四品取引所
理事長タリ、現ニ横濱若尾銀行頭取、横濱火災海上運送信用保
險株式會社、横濱電氣株式會社、東京電燈株式會社、日清紡績
株式會社、横濱鐵道株式會社各取締役ヲ始メ其他數會社ノ重役
タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院
議員ニ當選スルコト二回

明治六年七月甲斐國東山梨郡七里村ニ生ル、中央大學卒業○現
ニ東京電燈株式會社常務取締役、ボルネオ殖産株式會社々長、
若尾貯蓄銀行、東京絹毛紡織株式會社各取締役、其他數會社ノ
重役タリ、軍需評議會評議員被仰付

互理胤正

宮城縣郡部選出、憲政會所屬
士族、勳四等、農



明治十一年四月陸前國遠田郡元涌谷ニ生ル、米國大學ニ畜産學
ヲ專攻シ兼テ政治學ヲ研究ス○農事改良子弟育英ノ事ニ盡瘁シ
テ屢表彰セラル○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶
章○衆議院議員ニ當選スルコト二回

渡邊 昭

京都府京都市選出、立憲國民黨所屬
平民、勳四等、辯護士



慶應二年五月磐城國田村郡三春町ニ生ル、英吉利法律學校卒業
○京都府會議員、府參事會員、京都市會議員、市會議長等ニ舉
ケラル又京都市學務委員、京都市教育會評議員、破産管財人京
都辯護士會々長タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜
瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト二回

渡邊 陳平

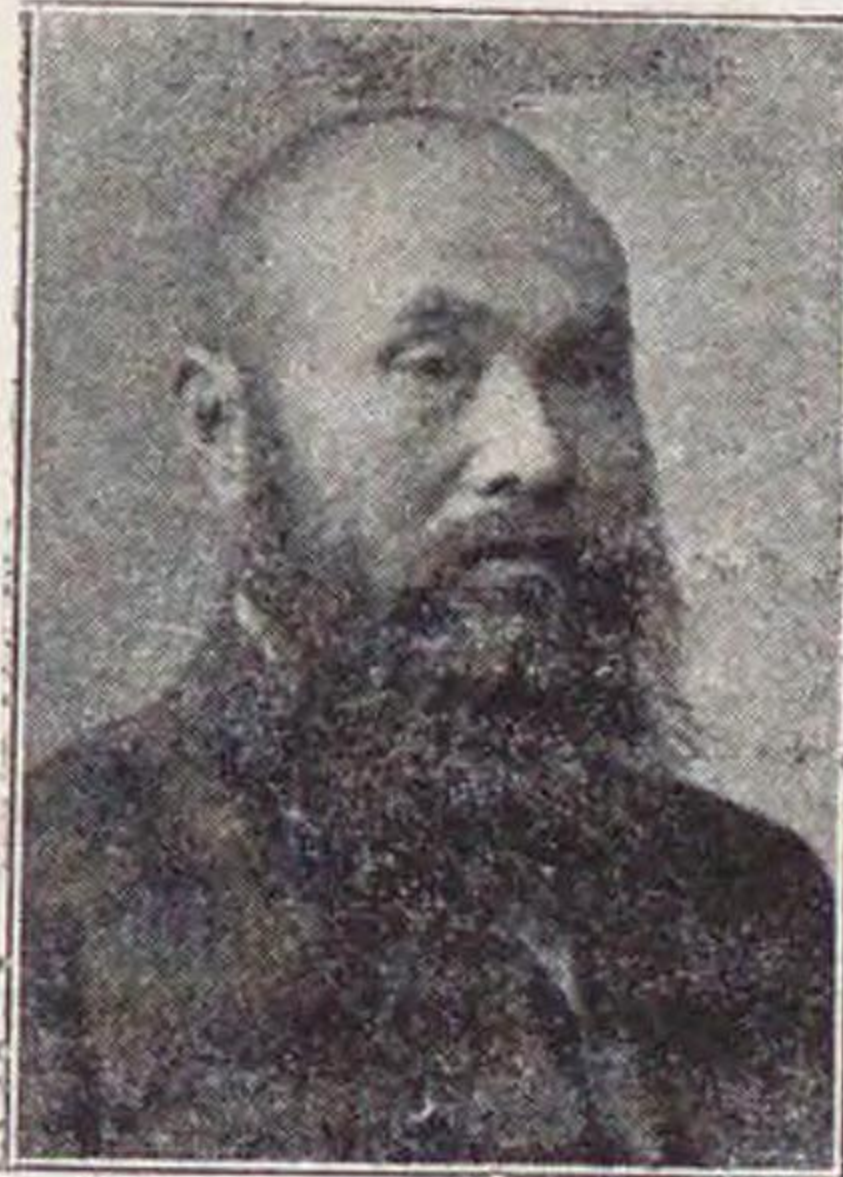
栃木縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、會社重役



明治四年六月下野國河内郡城山村ニ生ル、英、漢、數學習得○
城山村長、同村會議員、栃木縣會議員、同參事會員、營業稅調
査委員、治水會員、山林會評議員ニ選ハル、又下野中學創立者
下野電力株式會社監査役、下野毎日新聞社相談役、宇都宮電球
株式會社取締役、下野大谷石材採掘販賣組合長ト爲ル

渡邊 祐策

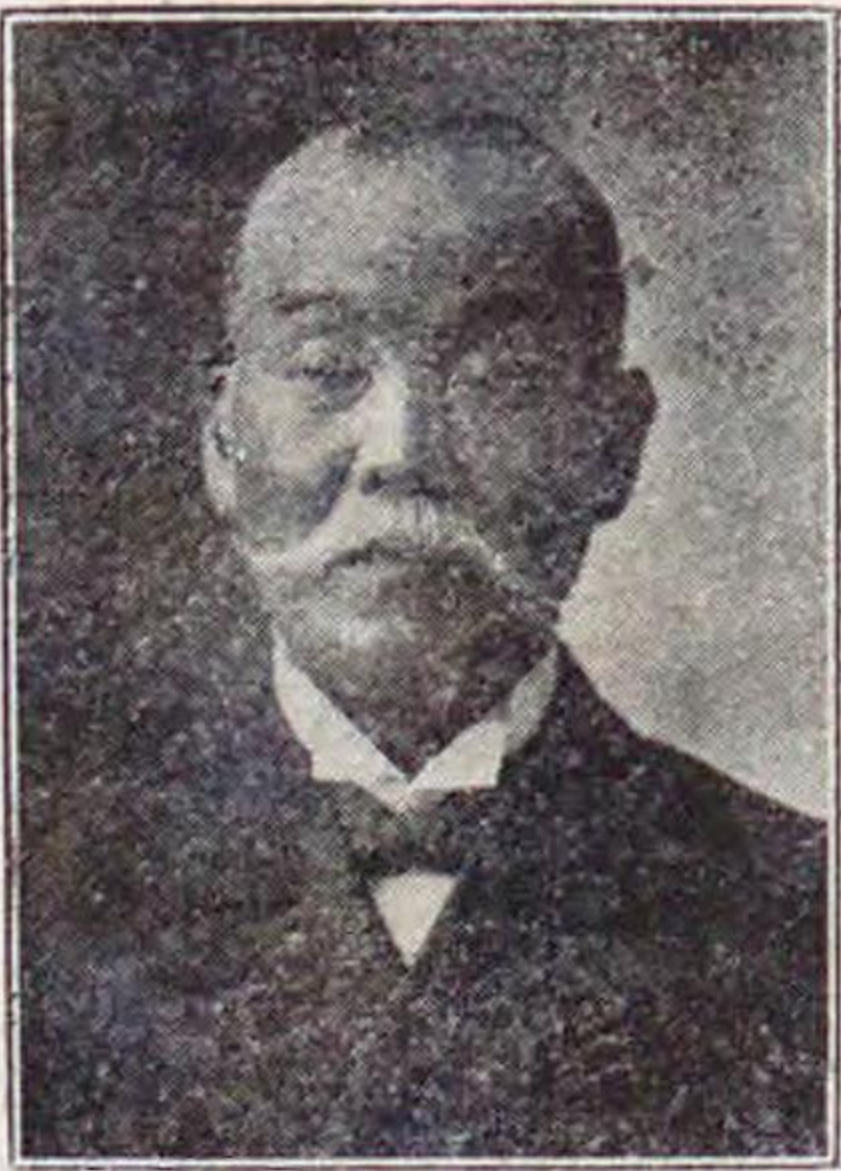
山口縣郡部選出、立憲政友會所屬
士族、勳四等、鑲業



元治元年六月長門國厚狹郡宇部村ニ生ル、漢學ヲ修ム○村會議
員、宇部村助役ニ舉ケラル又宇部徒弟學校、濟美實科高等女學
校ヲ設立セリ、現ニ宇部電氣會社取締役社長、宇部輕便鐵道會
社、宇部銀行各取締役、宇部北川鐵工所理事長タリ○大正三四
年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スル
コト二回

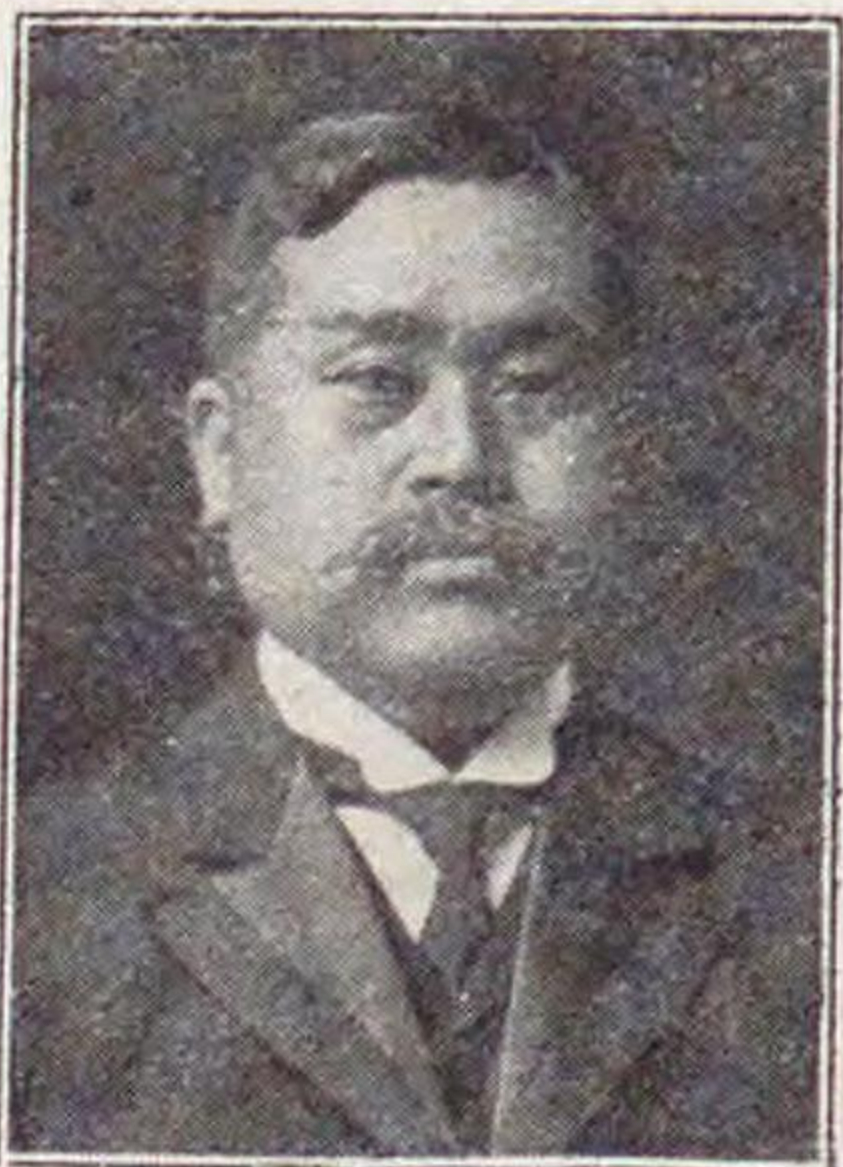
加藤 政之助

埼玉縣選出、憲政會所屬
平民、正五位勳三等



加藤 定吉

静岡縣郡部選出、憲政會所屬
平民、勳四等、商



安政元年七月武藏國北足立郡馬室村ニ生ル、慶應義塾ニ英學ヲ
修ム○縣會議員、同議長ニ舉ケラル大阪新報主幹、北海新聞主
幹、報知新聞記者ト爲ル、又函館馬車鐵道株式會社、臨時治水調
査會、大博覽會評議員、東洋殖産株式會社、米價調節會、臨時
委員、官業整理調査會委員、軍需株式會社、被仰付、東上鐵道株
式會社、經濟調查會委員、東京畜市場株式會社、長タリ、曩ニ大藏省參
政官タリ○明治三十七八年事件ノ功ニ依リ被叙勳三等賜旭日中
綬章、大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜旭日中綬章及金
千百圓○衆議院議員ニ當選スルコト十一回

明治三年十二月遠江國小笠郡土方村ニ生ル、慶應義塾卒業○現

ニ北支那及滿洲ニ於テ貿易業ニ從事ス○大正三四年事件ノ功ニ

依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト二回

加治壽衛吉

香川縣丸龜市選出、憲政會所屬
士族、勳四等、鑛山業



明治元年八月生ル○東京通信社主幹ト爲ル○大正三四年事件ノ
功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト三回

我如古樂一郎

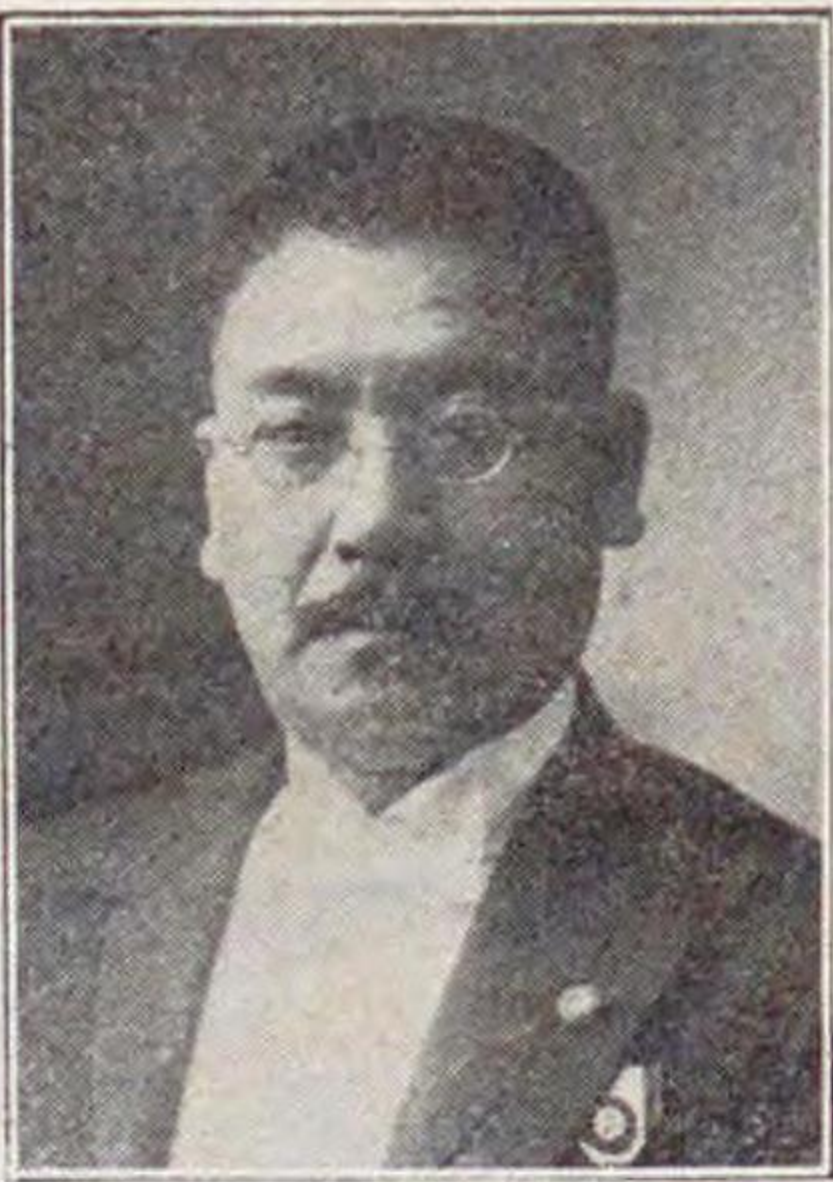
沖繩縣選出、新政會所屬
平民、醫師



明治五年一月琉球國島尻郡東風平村ニ生ル、沖繩縣病院醫生教
習所、東京醫科大學國家醫學講習科卒業○現ニ産業組合理事、
沖繩實業銀行取締役タリ

川原茂輔

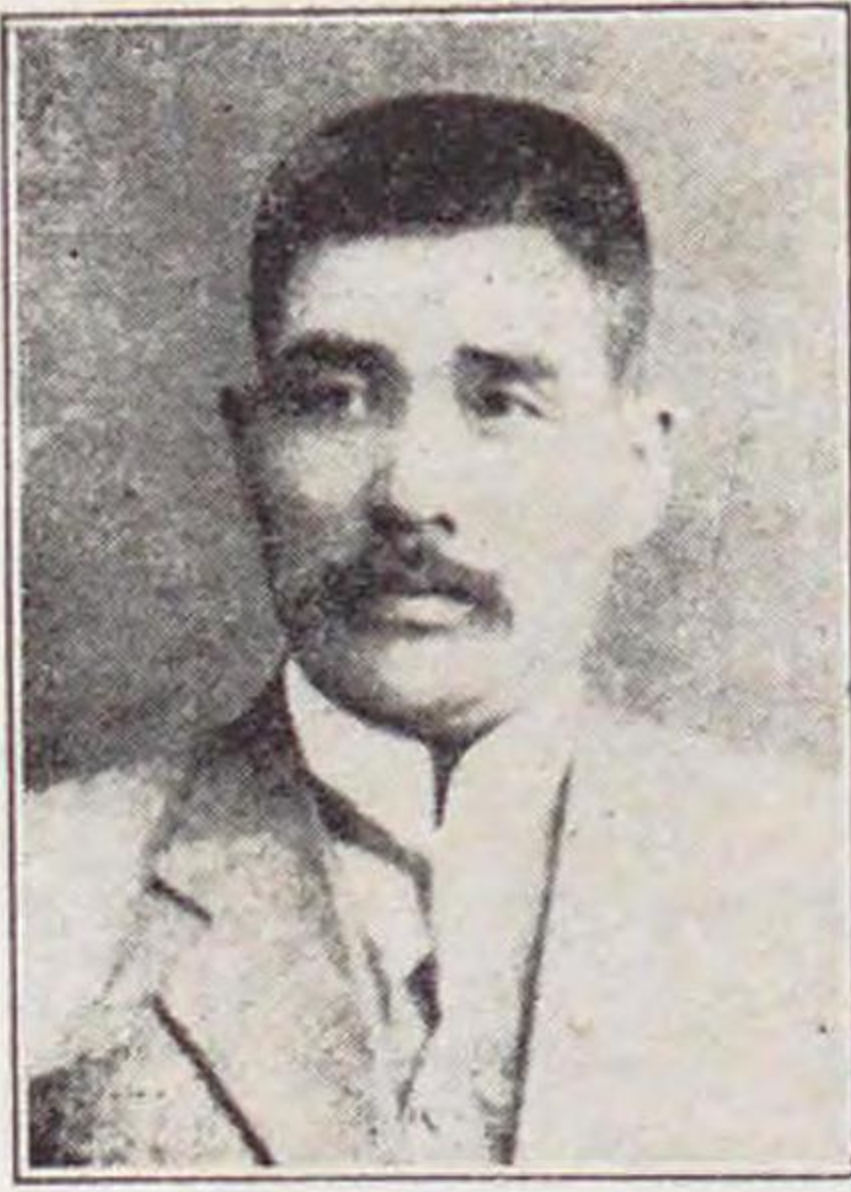
賀佐縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、勳三等、農



安政六年九月肥前國西松浦郡大川内村ニ生ル○縣會議員、同議
長、縣參事會員、國勢調査準備委員會委員、廣軌鐵道改築準備
委員會委員、臨時國民經濟調査會委員被仰付、又伊万里鐵道株
式會社監査役、船越鐵道株式會社及日本電燈株式會社取締役、
佐賀日々新聞社長タリ清韓ニ漫遊ス、出征軍慰問ノ爲メ青島ニ
派遣セラル○明治三十七八年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜旭日
小綬章、大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳三等賜瑞寶章○衆議
院議員ニ當選スルコト八回

川村惇

茨城縣郡部選出、憲政會所屬
平民、勳四等、會社重役



文久元年十二月常陸國稻敷郡太田村ニ生ル、慶應義塾卒業○富
山縣師範學校校長兼女子師範學校校長ニ任セラル又静岡大務新聞主
筆、福陵新報主筆、朝野新聞主筆兼社長、臺灣鐵道會社常務委
員ニ舉ケラル現ニ山林、鑛山、活動寫眞等ノ株式會社ノ重役タ
リ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議
員ニ當選スルコト三回

川村精之

岩手縣郡部選出、憲政會所屬
平民、勳七等、農



明治元年十一月陸中國稗貫郡龜ヶ森村ニ生ル、岩手縣尋常師範
學校卒業○多年小學校長、龜ヶ森村長及郡會議員タリ、又縣會
議員ニ選ハレ、現ニ郡產馬畜産組合長タリ

川口木七郎

兵庫縣郡部選出、立憲國民黨所屬
平民、勳四等、會社重役



明治三年四月播磨國飾磨郡曾左村ニ生ル○郡會議員、縣會議員
所得稅調查委員ト爲ル現ニ山易正油株式會社取締役社長、神榮
株式會社、信託會社、姫路三十八銀行、姫路銀行、飾磨銀行ノ
各取締役タリ、曩ニ歐米並ニ臺灣、支那ヲ視察セリ○大正三四
年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スル
コト四回

川崎安之助

京都府郡部選出、憲政會所屬
平民、勳四等、農



慶應三年四月山城國乙訓郡大山崎ニ生ル○曩ニ府會議員、府參
事會員、府會副議長、府會郡部會議長、府農會副會長等ニ舉ケ
ラル、現ニ府農會長トシテ農ヲ本業トシ兼テ銀行取締役、電氣
軌道會社監査役等タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等
賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト三回

川崎克

三重縣郡部選出、憲政會所屬
平民、勳四等、著述業



明治十三年十二月伊賀國阿山郡上野町ニ生ル、日本法律學校卒
業後外國語學校ニテ佛語ヲ專攻ス○東京市吏員ト爲ル後朝鮮元
山民團長代理助役、同民團長ニ任セラル又日本新聞記者、元山
時事新報主幹兼主筆ト爲ル又支那ニ視察セリ○大正三四年事件
ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト二
回

河上哲太

愛媛縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民



明治十四年十月伊豫國周桑郡國安村ニ生ル、東京高等商業學校

卒業○曩ニ國民新聞社經濟部長タリ

河波荒次郎

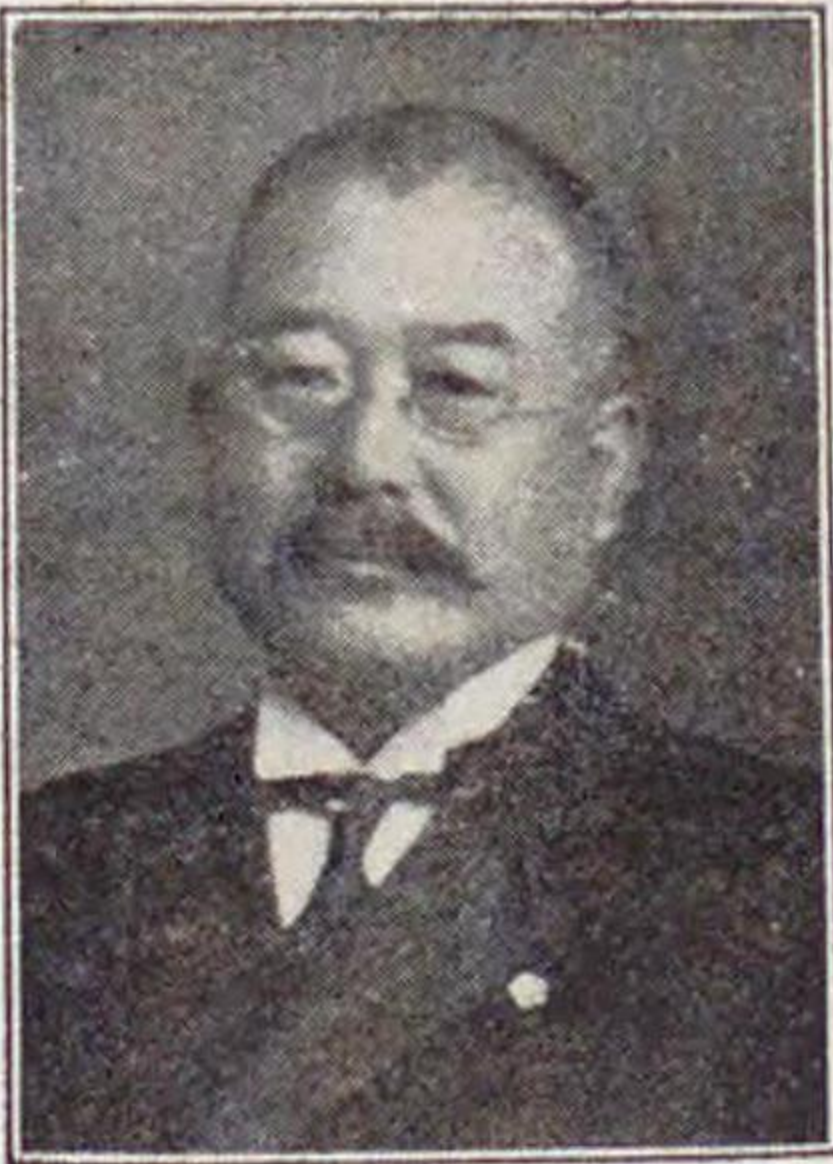
福岡縣郡部選出、憲政會所屬
平民、農



慶應元年八月筑前國筑紫郡大野村ニ生ル、早稻田大學法科卒業
○曩ニ村會議員、郡會議長、縣會議員等ニ選マル

河野徹志

大阪府大阪市選出、清和俱樂部所屬
士族、醫師



慶應元年一月薩摩國薩摩郡高江村ニ生ル、大阪府立醫學學校卒業
後北米合衆國「ペンシルヴァニア」大學ヲ卒ヘ「ドクトル」オブ
「メヂシン」ノ學位ヲ受ケ引續キ「ホプキンス」大學及「ウキン」大
學ニ於テ主トシテ産科婦人科小兒科學ヲ專修ス○大阪府立醫學
校助教諭私立吉田病院副院長、大阪市醫師會議員、同議長、大
阪醫學會幹事、大阪府衛生會評議員、大阪市會議員等ト爲ル
支那朝鮮ヲ視察ス、現ニ私立河野病院々長タリ

河野正義

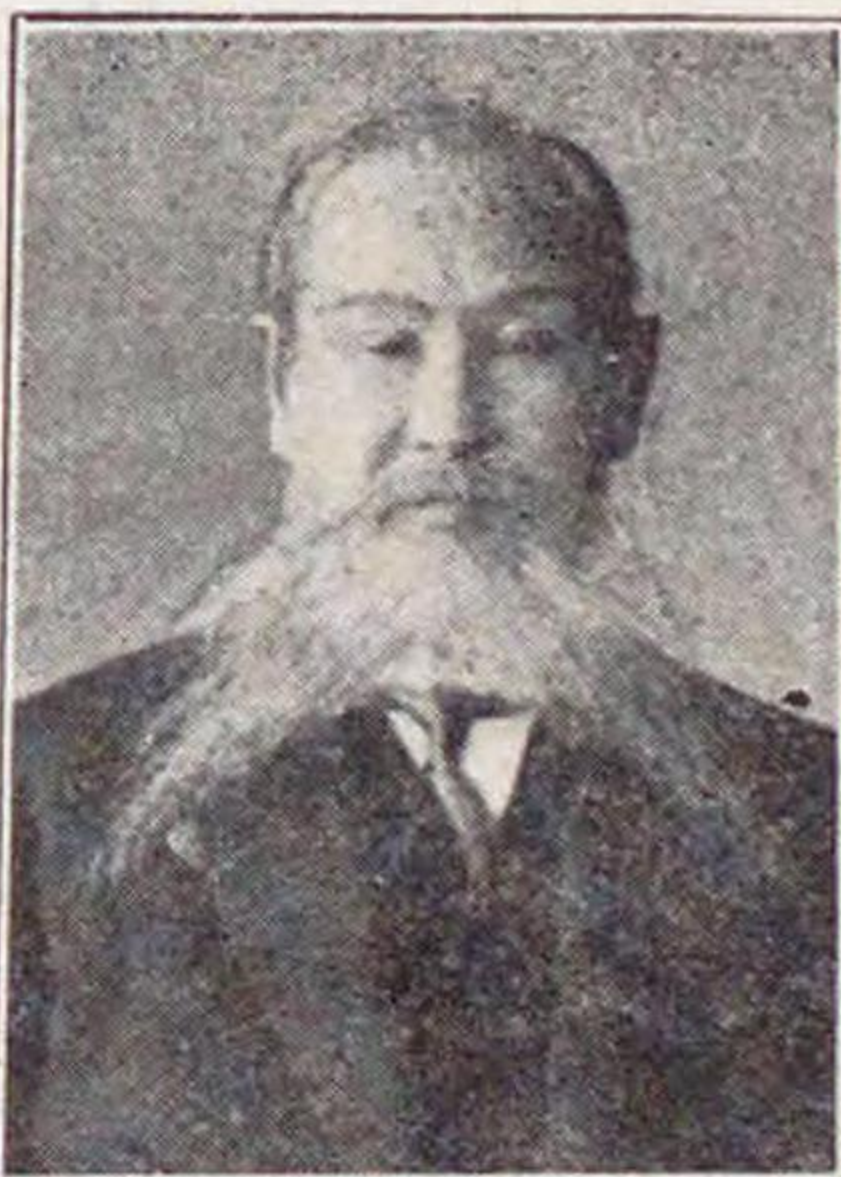
茨城縣郡部選出、憲政會所屬
平民、勳四等、著述業



明治十二年七月常陸國行方郡武田村ニ生ル○三等郵便局長ニ任
セラル又日本養魚株式會社監査役ニ舉ケラル、現ニ通信教授大
日本國民中學會主事タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四
等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト二回

河野 廣中

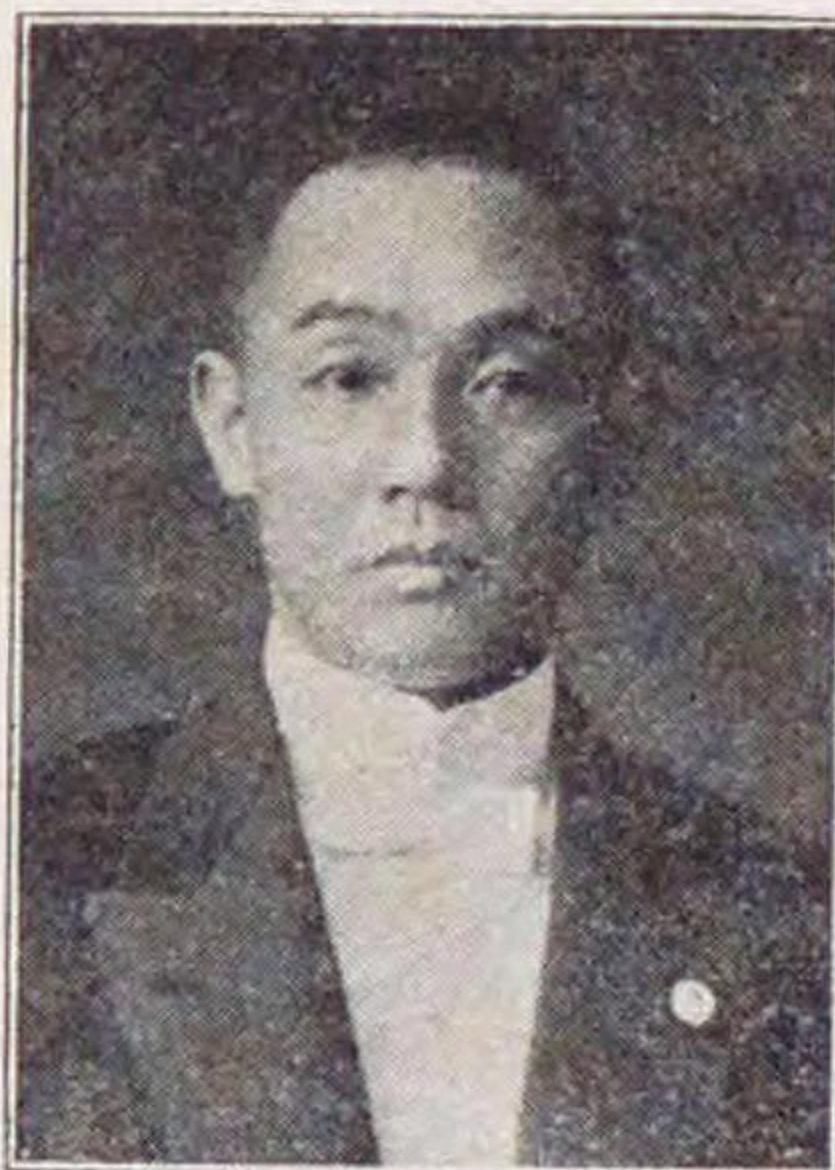
福島縣郡部選出、憲政會所屬
平民、正四位勳一等



嘉永二年七月生ル○農商務大臣ニ任セラル○明治三十七八年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜旭日小綬章、大正三年六月第一帝國議會以來議員ノ職ニ在リ其功尠カラス依テ被叙勳三等賜瑞寶章大正五年一月被叙勳二等賜瑞寶章、同五月賜旭日重光章同七月被叙勳一等賜旭日大綬章及金三千圓○衆議院議員ニ當選スルコト十三回曩ニ衆議院議長タリ

河西 豊太郎

山梨縣郡部選出、憲政會所屬
平民、農、銀行重役



明治七年二月甲斐國中巨摩郡三惠村ニ生ル、私立成器學舎卒業○曩ニ村長、所得稅調査委員、宅地價賃貸價格調査委員等タリ現ニ銀行ノ重役タリ

河崎 助太郎

岐阜縣岐阜市選出、清和俱樂部所屬
平民、勳四等、商



明治六年一月岐阜市ニ生ル、神戸英學塾卒業○綿糸絹布毛織物貿易業、モスリン紡織株式會社、日華紡績株式會社、日本絹紬株式會社、東洋毛糸株式會社各取締役、京都土地建物株式會社花屋敷土地建物株式會社各社長タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト二回

片岡 直温

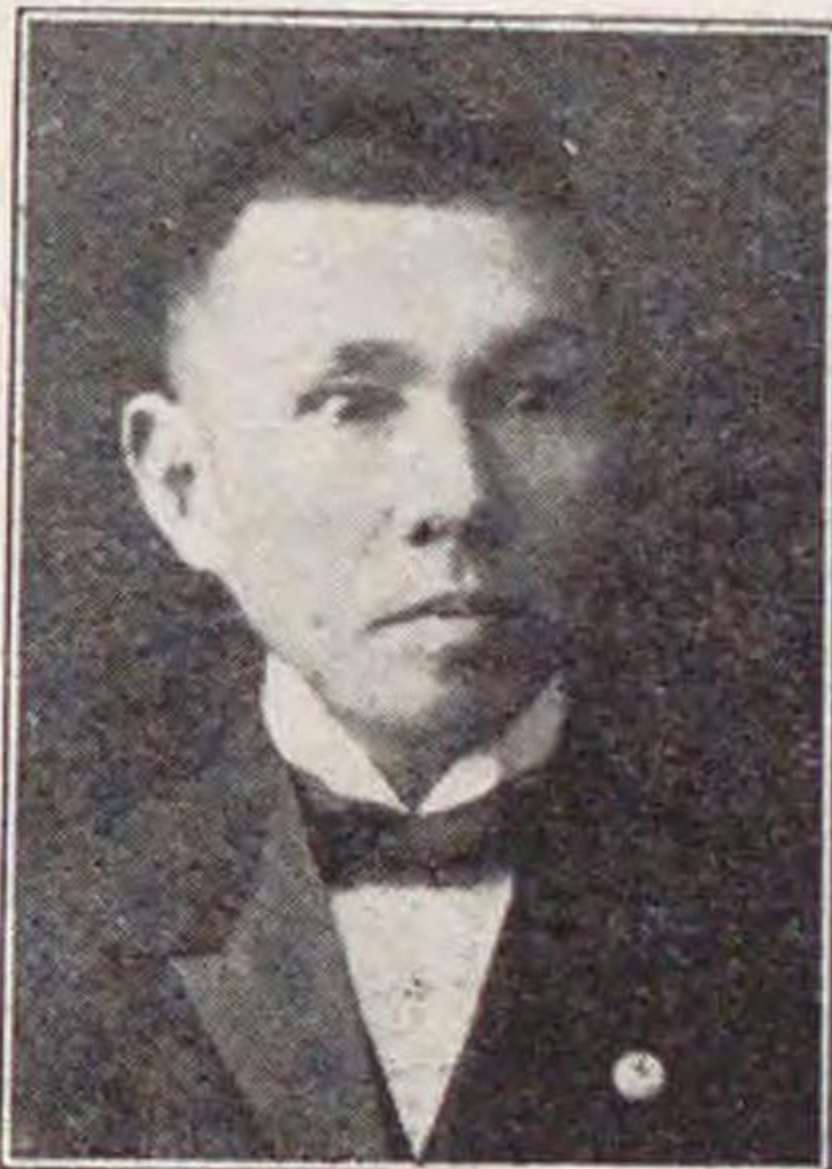
京都府郡部選出、憲政會所屬
平民、從七位勳三等、會社重役



安政六年九月土佐國高岡郡下半山村ニ生ル○警部長ニ任セラル日本海陸保險株式會社社長其他數會社ノ重役ニ選ハル、生産調査會委員、經濟調査會委員被仰付○歐米各國ヲ巡遊シテ保險事業ヲ視察ス、又第五回萬國保險學會ニ參列シ名譽副議長ニ推薦セラル現ニ日本生命保險株式會社々長タリ○大正五年一月被叙勳四等賜旭日小綬章、大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳三等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト六回

片木政治郎

大阪府郡部選出、憲政會所屬
平民、農



明治九年一月和泉國泉南郡北信達村ニ生ル、漢學ヲ修ム○屢々大阪府會議員、府參事會員ニ舉ケラル、又郡農會副會長、郡教育會副會長タリ、現ニ農業酒造業ニ從事シ又尾崎銀行取締役、泉州織物會社取締役、雄信織物會社々長タリ

金澤仁作

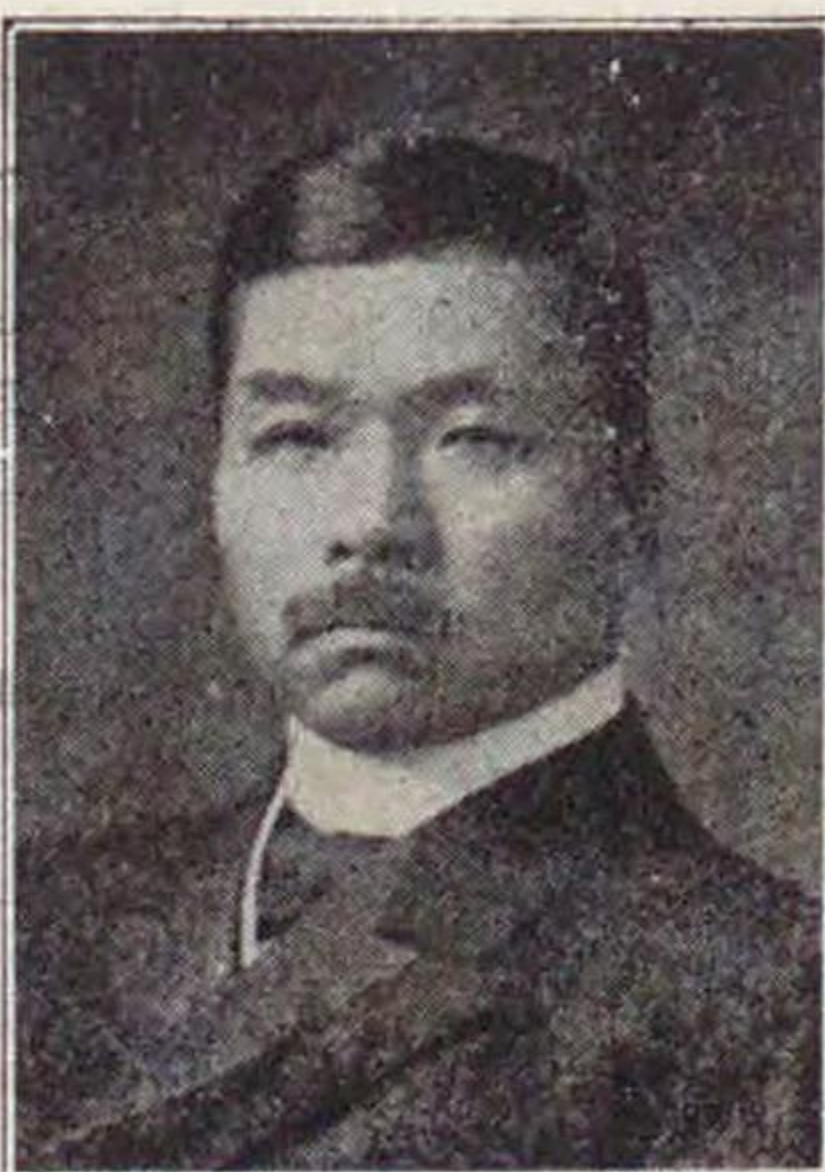
大阪府大阪市選出、清和俱樂部所屬
平民、勳四等、會社重役



文久元年十一月大阪市ニ生ル○曩ニ第四十二國立銀行創立ニ干與シ次テ平野紡績株式會社取締役社長、攝津紡績株式會社取締役、大日本紡績株式會社取締役トナル、嘗テ大阪府會議員ニ舉ケラル、經濟調査會委員、官有財産調査會委員被仰付、現ニ海外海上保險株式會社、日本絹毛紡績株式會社、朝鮮無煙炭鑛株式會社、内外貿易株式會社等ノ各監査役タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章、又經濟調査會委員トシテ盡力勲カラス賜金杯一個○衆議院議員ニ當選スルコト二回

金杉英五郎

東京府東京市選出、清和俱樂部所屬
平民、醫學博士、醫師



慶應元年七月下總國香取郡鐮木村ニ生ル、東京醫科大學別課卒業後獨逸、埃太利等ニ留學○獨逸國大學ニテドクトル試験ニ合格、ドクトル、メジチー子ノ學位ヲ受ク、曩ニ學會ノ代表者トシテ渡歐二回、佛、埃、白、獨、諸國ノ耳鼻咽喉科學會優遇員萬國咽喉科學會名譽會頭ニ選ハル、現ニ中央衛生會委員、大日本私立萬國衛生會理事長、日本耳鼻咽喉科學會名譽會頭、慈惠會醫院醫學專門學校名譽教授、日本結核豫防協會總務理事東京市醫師會々長、神田區醫師會々長、神田區衛生會々長タリ

唐端清太郎

兵庫縣郡部選出、憲政會所屬
平民、勳七等、會社重役



文久二年四月播磨國飾磨郡谷外村ニ生ル、東京專修學校及東奧義塾ニ學フ○曩ニ青森新報記者タリ多年赤穂郡相生村長相生町長ニ就任シ又赤穂郡教育會會長同郡會議員、兵庫縣農會議員、同評議員、帝國農會議員、兵庫縣會議員、縣會議長ニ選マル、會テ播磨漁業組合聯合會理事長、兵庫縣朝鮮海通漁業組合長、遠洋漁業會社長、播磨船渠株式會社取締役、神港肥料株式會社長等タリ、現ニ郡水産組合長、郡漁業組合聯合會理事長、神戸海陸運輸會社取締役タリ

神川長久

鹿兒島縣郡部選出、立憲政友會所屬
士族、農、商



明治三年六月大隅國肝屬郡大根占村ニ生ル、慶應義塾卒業○縣
會議員、同參事會員ニ選ハル

神谷卓男

京都府郡部選出、立憲國民黨所屬
士族、從六位



明治四年十二月丹後國與謝郡宮津町ニ生ル、京都同志社卒業後
米國スタンフォード大學及コロンビヤ大學ニ留學ス○韓國政府
ニ傭聘セラレ財務官、道書記官ト爲ル日韓併合後朝鮮總督府道
事務官ト爲リ平安北道内務部長ニ補セラル又名古屋市高級助役
タリシコトアリ

柏原文太郎

千葉縣選出、立憲國民黨所屬
平民、勳四等、貿易商



明治二年二月下總國印旛郡成田町ニ生ル、同人社及東京專門學
校卒業○東亞商業學校、清華學校、東亞同文書院及目白中學校
ノ設立者ト爲リ東亞同文會幹事、橫濱華商會議所顧問タリ、又
支那各地及南洋諸島ヲ視察ス○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙
勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト四回

粕谷義三

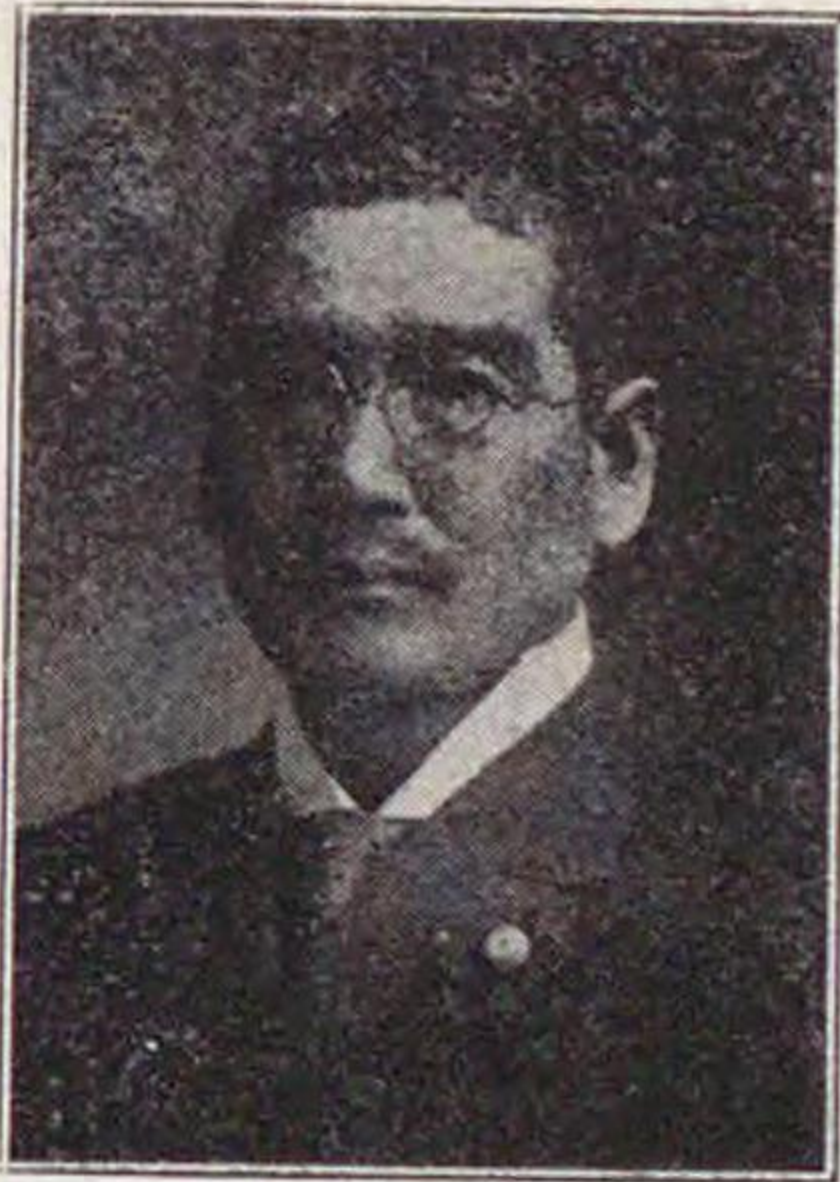
埼玉縣選出、立憲政友會所屬
平民、勳三等、農



慶應二年八月武藏國入間郡藤澤村ニ生ル、「ミシガン」大學ヲ卒
業シ「バチラーオブ、ロース」ノ學位ヲ受ク○埼玉縣會議員、同
副議長、同參事會員ニ舉ケラル、國勢調査準備委員會委員、臨
時博覽會評議員、國勢調査評議會評議員被仰付、巴奈馬太平洋
萬國博覽會評議員囑託タリ、又自由新聞ヲ發刊ス、現ニ蓬來生
命保險相互會社取締役、株式會社黑須銀行監査役タリ○明治三
十七八年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜旭日小綬章、大正三四年
事件ノ功ニ依リ被叙勳三等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコ
ト八回

米田 穰

石川縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、勳四等、新聞記者



元治元年一月加賀國石川郡松任町ニ生ル○町會議員ニ舉ケラル
加能新聞社長、大阪新報主幹ト爲ル、鐵道會議員被仰付、
現ニ松任町長タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞
寶章○衆議院議員ニ當選スルコト三回

横井藤四郎

福井縣郡部選出、清和俱樂部所屬
平民、勳七等、會社重役



元治元年二月若狹國遠敷郡三宅村ニ生ル、漢、數、英學ヲ修ム
○曩ニ中立砂糖株式會社監查役、ユニオン硝子株式會社取締役
タリ、現ニ共立物産株式會社取締役、沖臺拓殖製糖株式會社取
締役タリ

横田孝史

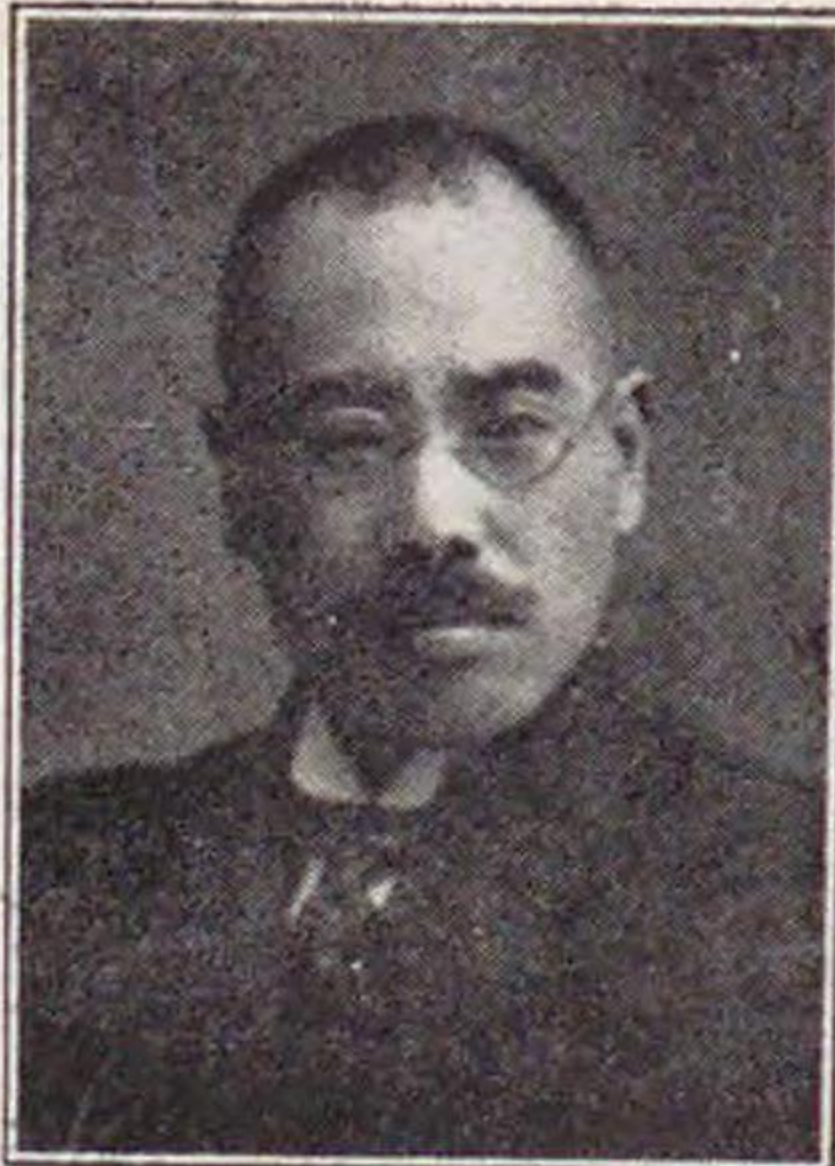
兵庫縣郡部選出、憲政會所屬
平民、勳四等、藥劑師



安政三年七月播磨國加西郡賀茂村ニ生ル、姫路師範學校卒業後
醫學學ヲ修ム○神戸商業會議所理事、同常議員、他方森林會員
市會議員、同議長、縣會議員、同副議長、同參事會員、神戸瓦
斯株式會社、神戸電氣鐵道株式會社外數會社ノ重役ニ舉ケラル
現ニ臨時神戸港設備委員、兵庫縣藥劑師會頭、神戸藥業組合長
タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院
議員ニ當選スルコト三回

横田千之助

栃木縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、正五位勳四等、官吏



明治三年八月下野國足利郡足利町ニ生ル、中央大學卒業○多年
辯護士業ニ従事ス、國勢調査評議會副會長、臨時教育會議委員
聯合國經濟會議決議實施委員、文官高等懲戒委員、官有財産調
査會委員、明治神宮造營局評議委員被仰付、高等捕獲審檢所評
定官ニ補セラル、現ニ法政局長官兼内閣恩給局長タリ○大正三
四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選ス
ルコト三回

横山勝太郎

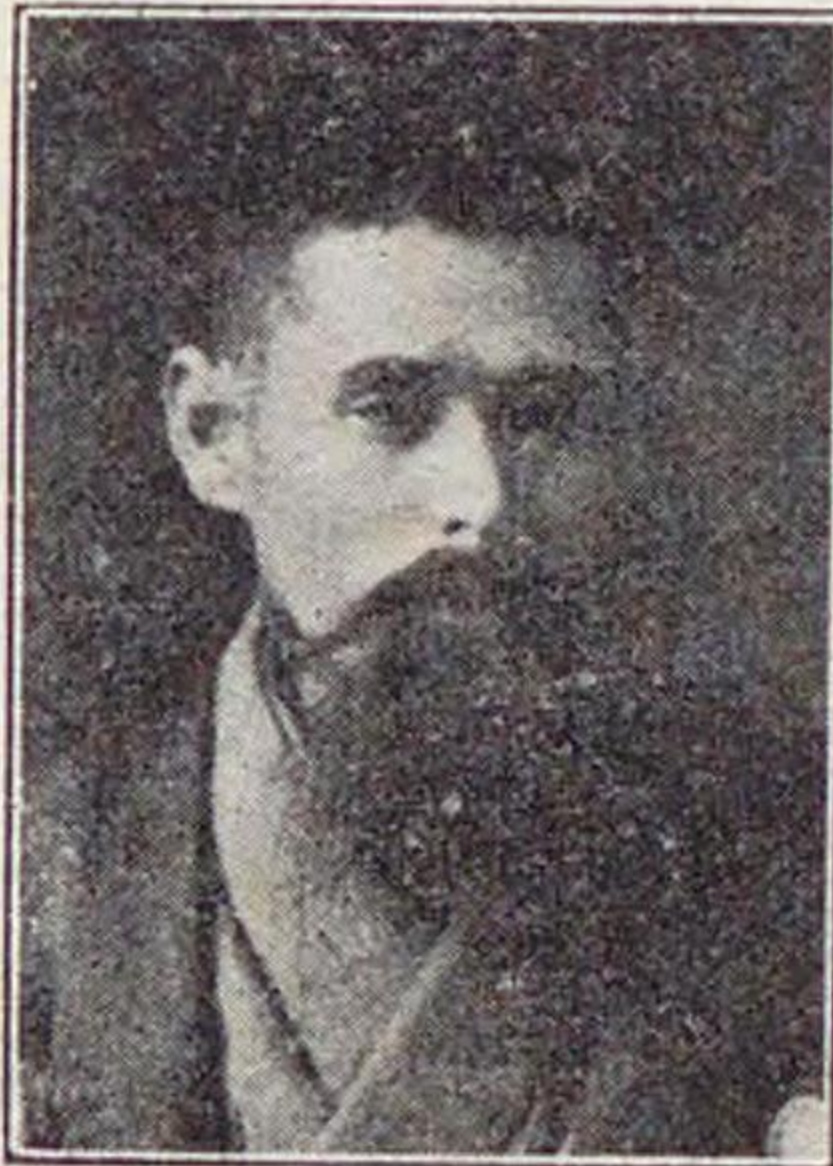
東京府東京市選出、憲政會所屬
平民、辯護士



明治十年十一月備後國比婆郡東城町ニ生ル、日本大學卒業○明
治三十五年判事檢事登用試験及辯護士試験ニ合格シ司法官試補
ニ任セラレ後辭シテ辯護士トナル、現ニ東京市會議員タリ

横山金太郎

廣島縣郡部選出、憲政會所屬
平民、正七位勳四等、辯護士



明治元年十一月備後國比婆郡東城町ニ生ル、中央大學卒業○松
山地方裁判所判事、臺灣總督府法院判官ニ任セラル、廣島市會
議員、同議長、廣島縣會議員、同副議長ニ選ハル現ニ廣島辯護
士會長タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○
衆議院議員ニ當選スルコト三回

吉原正隆

福岡縣郡部選出、立憲政友會所屬
士族、從五位勳四等、官吏



明治十四年十一月筑後國三潯郡大川町ニ生ル、京都帝國大學法
科大學經濟科卒業後大學院ニ於テ殖民政策ヲ專攻ス、出征軍慰
問ノ爲メ青島ニ派遣セラレ、臺灣及支那ヲ視察セリ、現ニ遞信
大臣祕書官タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶
章○衆議院議員ニ當選スルコト三回

吉田羊治郎

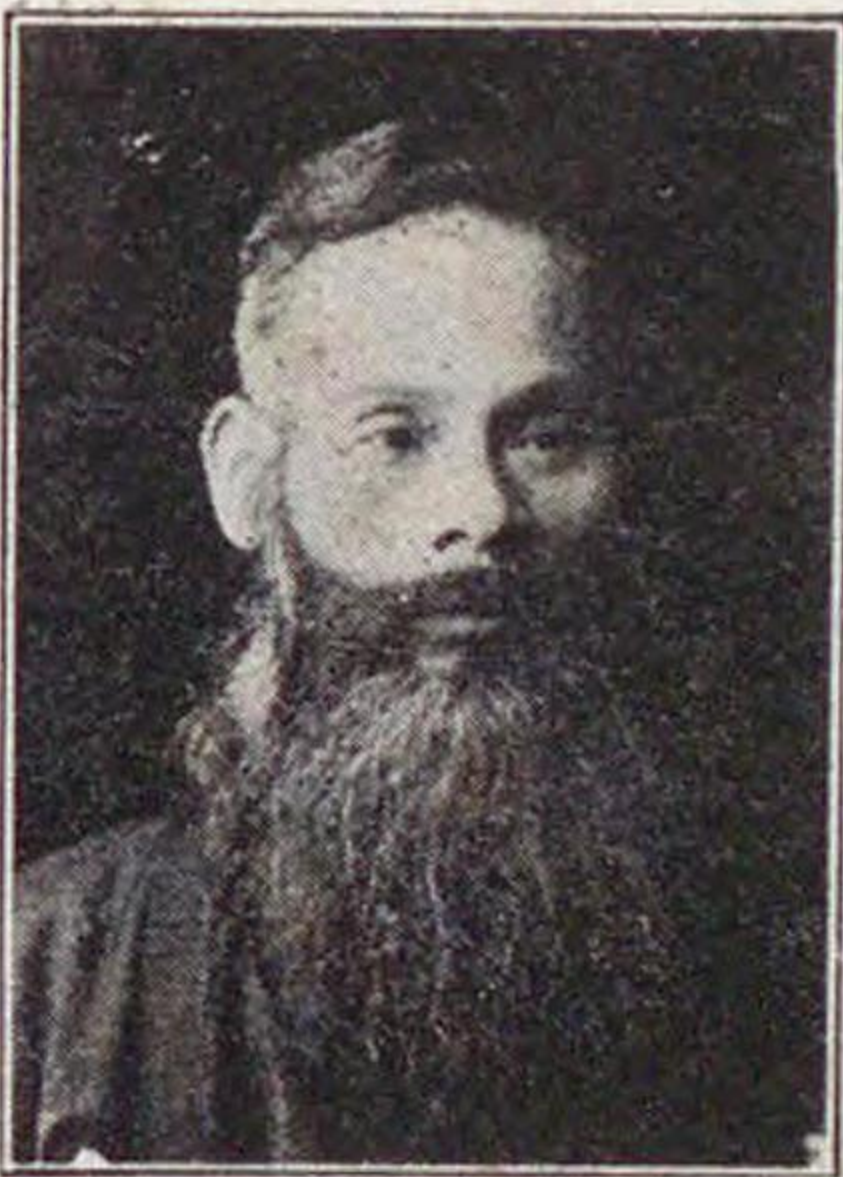
滋賀縣郡部選出
平民、農



明治四年二月近江國犬上郡高宮町ニ生ル、滋賀縣立商業學校卒
業○曾テ高宮町長、縣會議員、同參事會員、所得稅調查委員等
ニ選ハル

吉田 中

廣島縣郡部選出、清和俱樂部所屬
平民、農



明治二年十一月備後國深安郡上岩成村ニ生ル○曩ニ廣島縣會議員縣參事會員ニ舉ケラル又備後新市織物株式會社社長、西備織物同業組合長、兩備輕便鐵道株式會社監查役等タリ現ニ株式會社苜品銀行頭取タリ

吉植庄一郎

千疊縣選出、立憲政友會所屬
平民、勳三等、新聞社長



慶應元年九月下總國印旛郡埜原村ニ生ル○北海道ニ於テ開墾業ヲ營ム、北海道時事新聞社長、北海タイムス社理事、中央新聞社理事ト爲ル、智利共和國ニ航シ殖民制度ヲ調査ス又廣軌鐵道改築準備委員會委員被仰付現ニ大阪新報及中央新聞ヲ經營ス○明治三十七八年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜旭日小綬章、大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳三等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト六回

田邊熊一

新潟縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、勳四等、會社重役



明治七年一月越後國西蒲原郡卷町ニ生ル、中央大學卒業○卷町長、新潟縣會議員ニ舉ケラル、軍需評議會評議員被仰付、現ニ日清紡績株式會社、日本絹布株式會社、滿洲製粉株式會社ヲ始メ其他數多會社ノ重役タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト四回

田口萬逸

大阪府郡部選出、憲政會所屬
平民、著述業



明治十五年九月河内國南河内郡富田林町ニ生ル、大阪府立農學校及早稻田大學ニ學フ○皇后之栞、雲上祕錄、京都御所等ノ著アリ多年報知新聞記者タリ○衆議院議員ニ當選スルコト二回

田中善立

愛知縣郡部選出、憲政會所屬
平民、正五位勳四等



明治七年十一月尾張國愛知郡常磐村ニ生ル、東京哲學館卒業後
清國ニ遊學ス○中學校教員、東洋大學講師在福建彰化學堂々々長
ト爲ル、支那各地ヲ視察セリ大正七年九月浦鹽派遣軍慰問ノ爲
メ西比利亞ニ派遣セララル曩ニ海軍省副參政官タリ○大正三四年
事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜旭日小綬章及金千圓○衆議院議員
ニ當選スルコト三回

田中隆三

利田縣利田市選出、立憲政友會所屬
士族、從四位勳三等、會社重役



元治元年十一月秋田市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○農
商務省特許局審判官、同省參事官、鑛山監督官、衆議院書記官
法制局參事官、長崎縣書記官、農商務省鑛山局長、行政裁判所
評定官ニ歷任ス、又合名會社藤田組社員ト爲ル、現ニ大阪商船
株式會社取締役、日本輕銀製造株式會社々々長、大阪亞鉛鑛業株
式會社專務取締役タリ○大正三四年事件ノ功ニ依リ賜旭日中綬
章○衆議院議員ニ當選スルコト二回

田村順之助

栃木縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、勳三等、農



安政五年八月下野國下都賀郡水代村ニ生ル○縣會議員、同常置
委員、同副議長ニ選ハル○明治三十七八年事件ノ功ニ依リ被叙
勳四等賜旭日小綬章、大正三四年事件ノ功ニ依リ被叙勳三等賜
瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコト十回

田島達策

群馬縣郡部選出、清和俱樂部所屬
平民、運送業



安政五年五月上野國多野郡美九里村ニ生ル、專修大學卒業○現
ニ三鱗合資會社々々長、西上電氣株式會社々々長タリ

高橋光威

新潟縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、正五位勳四等官吏



慶應三年十二月越後國北蒲原郡菅谷村ニ生ル、慶應義塾大學法
律科卒業後英米ニ遊學ス○福岡日々新聞主筆、大阪新報主筆、
博多商業會議所特別會員ニ舉ケラル又内務大臣秘書官内務省勅
任參事官ニ任セラル又蓬來生命保險相互會社重役タリ、臨時教
育會議委員、聯合國經濟會議決議實施委員、臨時外交調査委員
會幹事、軍需局參與被仰付現ニ内閣書記官長タリ○大正三四年
事件ノ功ニ依リ被叙勳四等賜瑞寶章○衆議院議員ニ當選スルコ
ト四回

高橋嘉太郎

巖手縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、新聞社長



嘉永五年二月陸中國和賀郡二子村ニ生ル、漢學數學ヲ修ム○巖
手縣會議員同常置委員ニ舉ケラル、現ニ巖手毎日新聞社長タリ
○衆議院議員ニ當選スルコト二回

高橋辰二

山形縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、勳八等、會社重役



明治元年二月羽前國西置賜郡豐田村ニ生ル、山形縣師範學校卒
業○村長、縣會議員、地方森林會議員、相續稅審査委員等ト爲
ル又第二百二十五銀行取締役、宮内製絲株式會社々長ニ舉ケラル

高橋本吉

秋田縣郡部選出、立憲政友會所屬
平民、從六位、會社員



明治六年二月羽後國北秋田郡綴子村ニ生ル、東京高等師範學校
卒業後北米合衆國「プリンスストン」大學ニ於テ「マスター」オブ
「アーツ」ノ學位ヲ受ク○關東都督府秘書官、關東都督府經濟調
査囑託、農商務省海外實業練習生ト爲ル又南滿鐵道會社文書係
主任、ジャデン、マゼソン商會大連出張所主任ト爲ル